

第79回国民スポーツ大会 冬季大会

スケート競技会(ショートトラック・フィギュア)・アイスホッケー競技会

報告書



第79回国民スポーツ大会 冬季大会 スケート競技会[ショートトラック・フィギュア]・アイスホッケー競技会

2025.1.26(日) - 2.5(水)

岡山市 岡山国際スケートリンク

倉敷市 ヘルスピア倉敷アイスアリーナ

[主催]公益財団法人日本スポーツ協会・文部科学省・岡山県・公益財団法人日本スケート連盟・公益財団法人日本アイスホッケー連盟・岡山市・倉敷市



国民スポーツ大会マーク（JAPAN GAMES マーク）



国民体育大会の名称が「国民スポーツ大会」に変わる第78回大会に合わせて制定されました。

JとGのアルファベットモチーフで構成したシンボルは、地球を示す球体をあしらっており、一人ひとりの意志が旋を描いて混じり合い、地域住民と「JAPAN GAMES」が共にスポーツ文化を築いていくという想いが込められています。

スポーツを行う者の心得（「日本スポーツ協会スポーツ憲章」抜粋）

- ・スポーツを愛し、楽しむために、自発的に行う。
- ・競技規則はもとより、自ら属する団体の規則を尊重し、フェアプレーの精神を尊重する。
- ・常に相手を尊重しつつ、自己の最善を尽くす。
- ・アンチ・ドーピングに関する規定を遵守する。

テーマ

晴れて輝け！おokayama国スポ

岡山県らしさがあふれる言葉ということで、晴れという言葉と、選手たちが氷上で競技を行っている姿をイメージしたときに、氷の輝きと選手の奮闘している姿が頭に浮かんだとして、この言葉で表現されています。

スローガン



それぞれの競技で、今まで鍛練してきた選手たちは、国スポ大会で最も輝いて、その花を咲かせる活躍を見せてくれるだろうという気持ちが込められています。

シンボルマーク



桃色で実、黄緑色で葉を描き、桃から岡山を連想させています。橙色は太陽で、晴れの国岡山をイメージしています。青色は水で、桃が流れる様子と、スケート競技の氷と桃の葉、太陽を点対称になる様にし、漢字の「岡山」が左右対称であることと掛けています。桃で開催地と開催年、国民体育大会マークを囲み、心が熱くなる大会になることを祈っていることを表しています。

目 次

◆開始式	
開始宣言、日本スポーツ協会あいさつ	1
スポーツ庁あいさつ、中央競技団体あいさつ	2
歓迎のことば（岡山県議会議長、岡山市長、倉敷市長）	3
選手代表宣誓	4
◆表彰式	
（スケート競技会）	
中央競技団体あいさつ、会場地あいさつ	5
終了宣言	6
（アイスホッケー競技会）	
中央競技団体あいさつ	6
会場地あいさつ（岡山県知事、岡山市長、倉敷市長）	7
終了宣言	8
◆写真	
開始式	10
ショートトラック競技	12
フィギュア競技	14
アイスホッケー競技	16
表彰式	18
スナップ	20
制作物等	22
「競技会日程・会場一覧」 「諸会議日程」	26
◆式典	
開始式・表彰式次第	28
開始式・表彰式参加にあたっての留意事項	30
開始式出演者等一覧	32
開始式会場周辺図、会場図	33
開始式座席エリア図	34
スケート表彰式会場周辺図、会場図、座席エリア図	36
アイスホッケー表彰式会場周辺図、会場図、座席エリア図	39
◆競技会場	
岡山市会場位置図	42
倉敷市会場位置図	43
ショートトラック競技会場図	44
フィギュア競技会場図	46
アイスホッケー競技会場図	48
大会関係者駐車場	52
◆競技記録	
都道府県別総合成績一覧表	56

◆スケート競技会	
スケート競技会総合成績一覧表	58
ショートトラック競技日程	60
ショートトラック競技入賞者	62
フィギュア競技日程	66
フィギュア競技入賞者	67
◆アイスホッケー競技会	
アイスホッケー競技会総合成績一覧	70
アイスホッケー競技トーナメント表（成年）	72
アイスホッケー競技得点表（成年）	73
アイスホッケー競技トーナメント表（少年）	75
アイスホッケー競技得点表（少年）	76
◆役員	
招待者の範囲	80
大会役員	81
大会役員編成基準	84
スケート（ショートトラック・フィギュア）競技会役員	85
スケート競技会役員編成基準	87
アイスホッケー競技会役員	88
アイスホッケー競技会役員編成基準	89
ショートトラック競技役員	90
フィギュア競技役員	91
アイスホッケー競技役員	92
◆資料	
参加人員一覧表	94
大会参加者数	95
実施要項総則	97
競技実施要項	117
宿泊要項	128
宿泊実績、弁当実績	132
輸送交通要項	133
輸送交通実績	135
医療救護要項	136
医療救護実績	137
ホームページ・SNS・国スポチャンネル実績	138
岡山県合同実行委員会名簿	139
岡山県合同実行委員会会則	140
岡山県合同実行委員会事務局規程	144
開催基本方針	148
標章等使用取扱規程	149
開催経過概要	154

開 始 式

競技会開始宣言

岡山県知事 伊原木 隆太

全国各地から選手、役員をはじめ多くの皆さまをお迎えし、第79回国民スポーツ大会冬季大会「晴れて輝け！おかやま国スポ」を開催できますことは大変喜ばしく、岡山県民を代表して心から歓迎申し上げます。

また、スケート・アイスホッケー競技会として、西日本での開催は初めてとなるこの大会が、ここ岡山の地で開催できますことは、大変意義深いものであると考えております。

近年、国際舞台における日本人スポーツ選手の活躍には目覚ましいものがあります。ここ岡山の地からも昨年のパリオリンピックで金メダリストが誕生し、多くの方が、喜び、夢、感動を分かち合い、改めてスポーツの持つ大きな力を実感したところです。

選手の皆さまには、温暖な気候に恵まれた晴れの国おかやまにおいて、日頃の練習の成果をいかに発揮され、「輝く君は氷上の華」というスローガンのとおり、華麗に輝き、その花を咲かせる活躍を見せてくださることを心から祈念し、ここに第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会 ショートトラック・フィギュア、アイスホッケー競技会の開始を宣言いたします。

日本スポーツ協会あいさつ

公益財団法人日本スポーツ協会会長 遠藤 利明

ここ「晴れの国」岡山県において、第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会、及びアイスホッケー競技会が開催されますことは、誠に喜ばしい限りです。

長い歴史がある国民スポーツ大会において、西日本でスケート競技会・アイスホッケー競技会が開催されるのはここ岡山県が初めてとなります。

本競技会は、「晴れて輝け！おかやま国スポ」というテーマのもと開催いたします。

栄えある郷土の代表として参加される選手の皆さんは、世界を代表する選手・メダリストが多く輩出されている岡山県で日頃鍛えた「力と技」を存分発揮し、この地での輝きから、世界での輝きに繋がる大会になることを期待しております。

結びに、冬季大会の開催地選定が大変厳しく、準備期間が短い中、初めての冬季大会の開催をお引き受けくださいました岡山県および岡山市、倉敷市はもとより、大会開催にあたり多大なご支援を賜りました、日本スポーツ振興センターや JKA 及びミズノスポーツ振興財団をはじめ多くのご関係の方々のご理解とご尽力に対しまして、心から感謝の意を表し、併せて大会の成功を祈念申し上げ、あいさつといたします。

スポーツ庁あいさつ

スポーツ庁長官 室伏 広治

第七十九回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会、並びにアイスホッケー競技会が開催されるにあたり、一言御挨拶申し上げます。

選手の皆さん、栄えある郷土の代表として、「晴れて輝け！おかやま国スポ」に出場されますこと、誠におめでとうございます。

これまで積み重ねてこられた練習の成果を遺憾なく発揮されるとともに、本大会から将来、世界の舞台へ羽ばたくアスリートが数多く輩出されることを期待しています。

ここ岡山県において、西日本で初めてとなるスケート・アイスホッケー競技会が「輝く君は氷上の華」のスローガンのもと開催され、全国から集う選手たちが、美しさ、速さ、強さを競い合うことで、国民に夢と感動を与えるとともに、ウィンタースポーツの魅力为全国に発信し、スケート競技・アイスホッケー競技の更なる発展に寄与するものと確信しております。

スポーツ庁としましては、スポーツが国民の皆様を元気づけ、生活や心を豊かにし、心身の健康の保持増進につながるよう、関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、大会開催にあたり御尽力いただきました地元岡山県並びに岡山市、倉敷市をはじめ関係の皆様方の御支援・御協力に対し、心から感謝の意を表しまして、挨拶といたします。

中央競技団体あいさつ

公益財団法人日本アイスホッケー連盟専務理事 服部 昌樹

皆様、ただいまご紹介頂きました日本アイスホッケー連盟の服部でございます。

この度は第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会を岡山県岡山市と倉敷市におかれまして開催頂きまして誠にありがとうございます。

また、開催におかれましてご尽力頂きました関係者の皆様にお礼申し上げます。

選手の皆さん、これまでの努力と練習の成果を発揮する素晴らしい機会がやって参りました。競技会場に響く歓声、そして感動の瞬間を共有するために、我々も一丸となって競技会場を盛り上げたいと思っております。

大会を通じて、地域や国全体がスポーツの素晴らしさを共有し、交流を深める場となりますよう願っております。スポーツの力は、人々を結び付け、困難を乗り越える力を与えてくれます。それが今大会のスローガンでもあります<晴れて輝け！>であります。

最後になりますが、安全で健康的な大会を遂行する為、選手の皆さんはもちろん、関係者の皆様も十分ご注意くださいとご協力をお願い申し上げます。

さあ選手の皆さん、第79回国民スポーツ大会冬季大会が開幕します。

皆さんの競技の魅力をも共有し素晴らしい瞬間を共に味わいましょう。

本日はありがとうございました。

歓迎のことば

岡山県議会議長 久徳 大輔

本日、全国各地から多くの選手・役員及び関係者の皆様方をお迎えし、第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会が、西日本で初めて本県で開催されますことは大変喜ばしく、岡山県議会を代表して皆様を心から歓迎申し上げます。

本県からはこれまで、高橋大輔選手や田中刑事選手、小松原美里選手といったオリンピックたちを輩出してまいりました。これらの選手たちが、競技人生の第一歩を踏み出し、技を磨くために懸命に練習を重ねたリンクこそ、本大会の競技会場です。オリンピックの足跡が残されたリンクで、全国からお集まりいただいた選手の皆様が、「氷上の華」として躍動されるお姿を、県民一同楽しみにしているところです。

さて、本大会のテーマであります「晴れて輝け！おかやま国スポ」にもありますとおり、降水量が少なく、日照時間の長い「晴れの国」である本県は、白桃やマスカットといった高品質なフルーツ栽培が盛んに行われています。また、水産資源の豊富な瀬戸内海では、多種多様な魚介類が獲れ、食卓に彩を与えてくれます。ちょうど今は牡蠣のシーズンですので、御来県の皆様には、本大会の思い出の一つとして、本県の味覚を大いに味わっていただきたいと存じます。また、競技が行われる岡山市、倉敷市には、日本三名園の一つである「後樂園」や、白壁の蔵屋敷や柳並木など、趣ある景観が楽しめる「倉敷美観地区」といった本県を代表する観光スポットもございますので、この機会に是非お立ち寄りいただき、本県の歴史や文化を体感いただけましたら幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり、多大な御尽力を賜りました関係者の皆様方に感謝申し上げ、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば

岡山市長 大森 雅夫

全国各地から多くの選手、役員、大会関係者の皆様をお迎えし、第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会を、ここ岡山市並びに倉敷市で開催できますことを、大変嬉しく思います。開催地を代表いたしまして、心より歓迎申し上げます。

本市での冬季大会の開催は初めてのことであり、また、スケート・アイスホッケー競技会は、西日本で初めての開催であります。記念すべき本大会が、参加されるすべての皆様の心に残る大会となるよう、準備を進めてまいりました。一昨年オープンした岡山芸術創造劇場「ハレノワ」での開始式に、このように全国から多くの皆様をお迎えし、いよいよ大会が始まるという喜びを実感しているところです。

選手の皆様には、栄えある郷土の代表として、日ごろの鍛錬の成果を遺憾なく発揮され、今大会のスローガンのとおり、この大会で最も輝いて、氷上の華を咲かせていただきますとともに、全国から集まった選手や地元市民との交流を深めていただきたいと存じます。また、選手の皆様が繰り広げる熱戦が、次代を担う子どもたちに大きな夢を与える機会となることを期待しております。

岡山市には、岡山城や日本三名園のひとつ岡山後樂園、日本遺産「桃太郎伝説の生まれたまち おかやま」の構成文化財がある吉備路エリアなどの豊富な歴史・文化遺産のほか、豊かな自然に恵まれた季節のフルーツや瀬戸内の山海の幸など、多彩な魅力があふれております。ぜひこの機会に「桃太郎のまち岡山」の魅力に触れていただければ幸いです。

最後になりましたが、本大会の開催にご尽力いただきました関係者の皆様に改めて厚くお礼申し上げますとともに、本大会の成功と皆様の益々のご活躍を祈念いたしまして、歓迎の御挨拶といたします。

歓迎のことば

倉敷市長 伊東 香織

第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会に出場される全国各地からの選手の皆様、関係者の皆様に心から歓迎いたします。

西日本初開催となる本大会が、倉敷市も会場となって開催されることは、大変名誉なことであり、また、西日本で冬季スポーツへの関心も大いに高まるものと期待しています。

倉敷市では、倉敷芸術科学大学のスポーツ施設である、ヘルスピア倉敷のアイスアリーナで、フィギュアスケート競技とアイスホッケー競技が開催されますが、このリンクは、フィギュアスケートのオリンピックである高橋大輔選手、田中刑事選手、小松原美里選手をはじめ、多くの素晴らしい選手が育ってきたリンクです。どうぞ選手の皆様には、日頃の練習の成果を存分に発揮される素晴らしい大会となることを願っております。

また、倉敷市は、白壁のまちなみが美しい倉敷美観地区、国産ジーンズ発祥の地である児島地区、昭和レトロな風景を残す玉島地区など、多くの観光資源がある「文化観光都市」でもあります。ぜひその魅力にもふれていただきたいと思います。

結びに、本大会の開催にご尽力いただきました、関係者の皆様に心より感謝申し上げ、選手の皆様の御健闘、御活躍を心より願ひまして、倉敷市長の歓迎のことばといたします。

選手代表宣誓

令和7年1月26日 岡山県選手団 フィギュアスケート競技 宣誓者 三宅 星南
アイスホッケー競技 旗手 片山 健人

第79回国民スポーツ大会冬季大会「晴れて輝け！おかやま国スポ」がスケート競技会、アイスホッケー競技会としては西日本で初めて、ここ岡山の地で開催されることに大きな喜びを感じるとともに、大会の開催に向けてご尽力いただいた多くの方への感謝を忘れず、郷土の代表としての誇りを胸に、全国の方々に夢・勇気・感動を届けることができるよう、全力で競技することを誓います。

表彰式

スケート競技会 中央競技団体あいさつ

公益財団法人日本スケート連盟専務理事 風谷 英隆

第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会が、群馬県渋川市ならびに国スポ冬季大会初開催となる岡山県岡山市、そしてここ倉敷市において、全国から多くの若い選手たちが集い、成功裏に終了されましたことに心から感謝を申し上げます。

選手の皆さまには、ふるさとの代表として、氷上で自らの夢の実現に向け熱い戦いを繰り広げていただきました。また、この機会に全国の仲間たちとの交流を深め、楽しく有意義な時間を過ごされたことと思っております。

さて、パリ夏季オリンピックにおける日本選手団の大活躍は記憶に新しいところですが、冬季競技においても、いよいよミラノ・コルティナオリンピックまであと1年となり、機運は徐々に高まりを見せており、日本選手の活躍に大きな期待が寄せられています。私ども日本スケート連盟では、このオリンピックも見据え、2029年にスケート連盟創立100周年を迎えるにあたり、「スケート王国、ニッポンの樹立」というビジョンを掲げ、その実行にあたっているところです。競技力の向上、普及・振興に向け、スケートをする人、見る人、支える人の輪を大きくし、多くの方々にスケートを楽しんでいただくことで、人々に元気を与え、地域社会を活性化させ、豊かな社会づくりの推進に資するよう努力を重ねてまいり所存です。皆さまには、我が国スケート文化の一層の向上に向け、引き続きのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、大会の開催にあたり、多大なるご尽力を賜りました公益財団法人日本スポーツ協会、文部科学省、ならびに岡山県、岡山市、倉敷市、岡山県スケート連盟、および群馬県、渋川市、群馬県スケート連盟をはじめとする関係の皆さまに心から感謝を申し上げますとともに、選手の皆さまの今後益々のご活躍を祈念申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

スケート競技会 会場地あいさつ

倉敷市長 伊東 香織

「第79回国民スポーツ大会スケート競技会」の閉幕を迎えるにあたり、会場地を代表いたしまして一言御挨拶を申し上げます。

全国各地からお越しいただきました、選手、役員の皆様、5日間にわたり大変お疲れさまでした。先ほど表彰されました各選手団の皆様におかれましては、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げますとともに、皆さまのこれまでの努力の賜物であると敬意を表します。

西日本初開催の会場地として、競技が滞りなく終了し、無事に本日を迎えられましたのも、選手、監督をはじめ大会関係者の皆様の御理解、御協力によるものであり、厚くお礼を申し上げます。

郷土の誇りを胸に熱戦を繰り広げられた選手の皆様の勇姿は、多くの市民の皆様にも元気と感動を届けていただくとともに、本市における冬季スポーツの興味や関心の高まりにつながり、競技力の向上に寄与したものと感じております。本市としましても、本大会を契機としてより一層スポーツの振興に努め、まちの活性化に取り組んで参りたいと存じますので、引き続き、御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本大会の開催に御尽力賜りました、大会関係者の皆様に改めて感謝申し上げますとともに、各競技団体の益々の御盛栄と選手の皆様のさらなる御活躍を心より祈念いたしまして、会場地を代表しての挨拶といたします。

スケート競技会 競技会終了宣言

岡山県教育委員会教育長 中村 正芳

「輝く君は氷上の華」をスローガンのもと、5日間にわたり開催された「晴れて輝け！おかやま国スポ」スケート競技会は、本日、無事、全ての日程を終了いたしました。

岡山県での国民スポーツ大会冬季大会は、初開催であり、各都道府県を代表する選手の皆様が、自らの限界に果敢に挑戦する姿は、多くの岡山県民に勇気と感動を与え、スポーツの素晴らしさを伝えてくれました。

本競技会の開催に御尽力いただきました大会役員並びに関係者の皆様に、心から感謝申し上げますとともに、選手の皆様の今後益々の御活躍を心より祈念申し上げ、ここに、第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会の終了を宣言します。

アイスホッケー競技会 中央競技団体あいさつ

公益財団法人日本アイスホッケー連盟副会長 江守 秀次

皆さまお疲れ様です。選手の皆さんが思う存分力を発揮し活躍できるよう、大会運営に取り組んで頂いた結果、無事に終了できましたことは本当に選手、チームスタッフはもちろんですが、第79回国民スポーツ大会冬季大会 岡山県実行委員会 アイスホッケー競技会事務局の皆さま、並びに、日本スポーツ協会、文部科学省、岡山県、岡山市、倉敷市、岡山県アイスホッケー連盟、他関係者、すべての皆さまの努力の賜物だと思います。深く感謝を申し上げます。

国民スポーツ大会は全国にアイスホッケーを普及し、全国でアイスホッケーを楽しむ方が目標とする大会であります。今日、ここに優秀な成績でお残りになられた方も、すでにお帰りになられたチームも含めて、地元に戻られましたらさらにアイスホッケーの普及に尽力していただきますよう、心から願うものであります。

昨今、少子化による競技人口の減少とともに、また競技が盛んな地域でも経済の低迷が要因となり、予算の減額やスケートリンクの閉鎖が相次ぎ、社会問題となっております。

このような状況を打破するには、日本アイスホッケー連盟が中心となり、世界に通用する競技力の向上と各地域の環境に応じた競技の普及を進めて参りたいと存じます。全国が協力できる事業プラン、将来プランを作成し、未来志向で考えをまとめて参ります。

明日からは、来年イタリアのミラノ・コルティナで開催される第25回オリンピック冬季競技大会の出場をかけ、女子アイスホッケー最終予選グループGが、中国、フランス、ポーランド、日本が参加し、北海道苫小牧市で開催されます。この大会で1位となったチームは来年の第25回オリンピック冬季競技大会（2026/ミラノ・コルティナ）の出場権を獲得いたします。日本は1998年の長野オリンピック、2014年のソチオリンピック、2018年の平昌オリンピック、2022年の北京オリンピックに出場しており、4大会連続5回目の出場を目指します。

最後になりますが、重ねて関係者、関係団体の皆さま、本当に神経を使った特別な大会をここまでやっ

ていただきましたことに、改めて御礼を申し上げまして私のあいさつといたします。どうもありがとうございました。

アイスホッケー競技会 会場地あいさつ

岡山県知事 伊原木 隆太

第79回国民スポーツ大会冬季大会アイスホッケー競技会の閉幕にあたり、開催県を代表いたしまして一言ごあいさつを申し上げます。

まずは、全国各地からお越しいただいた選手、監督をはじめ大会関係者の皆さま、5日間にわたり大変お疲れさまでございました。

また、先ほど表彰を受けられました各選手団の皆さま、誠におめでとうございます。これまで積み重ねてこられたご努力に敬意を表しますとともに、心よりお祝いを申し上げます。

さて、本日のアイスホッケー競技会の表彰式をもちまして、11日間にわたって開催された「晴れて輝け！おかやま国スポ」が閉幕となりますが、初開催という不慣れな中であって、無事に本日を迎えることができたことは、ひとえに皆さまのご理解、ご協力の賜物と深く感謝を申し上げます。

本県での開催が、今後の国民スポーツ大会冬季大会の全国展開に向けた先鞭をつける一つのモデルケースとして、今後の冬季大会開催の一助になれば幸いです。

開催県といたしましても、この大会が、県民の「する」「みる」「ささえる」というさまざまな形でスポーツの楽しさや感動を分かち合える機会の創出に大きく貢献したものと考えており、本大会開催の成果を「スポーツ立県おかやま」宣言に謳う「夢、勇氣、感動を創出できる岡山の実現」につなげてまいりたいと存じます。

結びに、本大会の開催にあたり、ご指導、ご協力、またご尽力賜りました関係団体、関係者の皆さまに、あらためて深く感謝を申し上げますとともに、参加された皆さまの今後ますますのご健勝とご活躍を祈念しまして、あいさつとさせていただきます。

アイスホッケー競技会 会場地あいさつ

岡山市長 大森 雅夫

第79回国民スポーツ大会冬季大会アイスホッケー競技会の閉会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

全国各地からお越しいただいた多くの選手、役員、大会関係者の皆様、5日間にわたり大変お疲れさまでした。また、先ほど表彰を受けられました各都道府県の代表選手の皆様、誠におめでとうございます。皆様の不断の練習の成果と競技に懸ける思いが、この晴れの舞台で大きな華を咲かせたものと思います。

「晴れて輝け！おかやま国スポ」を大会テーマとし、選手の皆様が氷上で繰り広げた熱いプレーや華麗な演技、ひたむきな姿は、観戦した多くの皆様に、大きな夢と感動を与えるとともに、冬季スポーツの魅力をも十分に伝えてくれました。

本大会は、本市で初開催となる冬季大会であり、また、スケート・アイスホッケー競技会は、西日本で初めての開催でありました。こうした初めて尽くしの大会が、大盛況のうちに全日程を無事終了することができましたのも、ひとえに、選手、役員の皆様をはじめ、大会関係者の皆様、会場を盛り上げていただいた観客の皆様、協賛いただいた企業の皆様、競技団体の皆様など、多くの皆様のご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

岡山市といたしましても、本大会を契機に、より一層スポーツの振興と、スポーツを通じたまちの活性化を進めてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、本大会の開催にあたりご支援、ご協力をいただいた、すべての皆様に、改めて深く感謝を申し上げますとともに、皆様の今後ますますのご健勝とご活躍を祈念いたしまして、閉会に当たっての御挨拶とさせていただきます。

アイスホッケー競技会 会場地あいさつ

倉敷市長 伊東 香織

「第79回国民スポーツ大会アイスホッケー競技会」の閉幕を迎えるにあたり、会場地を代表いたしまして一言御挨拶を申し上げます。

まず初めに、先ほど表彰されました選手団の皆様におかれましては、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げますとともに、皆様のこれまでの努力の賜物であると敬意を表します。

全国各地から多数の選手並びに役員の皆様をお迎えし、「輝く君は氷上の華」のスローガンのもと、2月1日から5日間にわたり、熱い戦いが繰り広げられたアイスホッケー競技会を無事終了することができました。これもひとえに、選手、監督をはじめ大会関係者の皆様の御理解、御協力によるものであり、厚くお礼を申し上げます。

郷土の代表として皆様がチーム一丸となって試合に臨む姿は、多くの市民の皆様に元気と感動を届けていただくとともに、本市における冬季スポーツの興味や関心の高まりにつながり、競技力の向上に寄与したものと感じております。本市としましても、本大会を契機としてより一層スポーツの振興と普及を図り、まちの活性化に取り組んで参りたいと存じますので、今後ともお力添えをいただけますと幸いです。

結びに、本大会の開催に御尽力賜りました、大会関係者の皆様に改めて感謝申し上げますとともに、各競技団体の益々の御盛栄と選手の皆様のさらなる御活躍を心より祈念いたしまして、会場地を代表しての挨拶といたします。

アイスホッケー競技会 競技会終了宣言

公益財団法人岡山県スポーツ協会会長 越宗 孝昌

「輝く君は氷上の華」のスローガンのもと、岡山、倉敷の地で5日間にわたり開催されました「晴れて輝け！おかやま国スポ」アイスホッケー競技会は、本日をもちまして無事すべての日程を終了いたしました。

都道府県を代表する選手の皆さんが、郷土の期待を背負い全力で競技に向かわれる姿に、多くの人々が勇気と感動を覚え、スポーツの楽しさ、すばらしさを実感されたことと思います。改めて選手の皆さんに深い敬意と感謝を表す次第です。

冬季大会の西日本地域での開催は今回の岡山県が初めてでありました。岡山大会が契機となり、冬季スポーツのさらなる振興、発展につながることを期待しています。

最後に、大会開催にあたりご尽力いただきました関係各位に心から御礼申し上げますとともに、選手の皆さんの今後ますますのご活躍を祈念し、ここに「第79回国民スポーツ大会冬季大会アイスホッケー競技会」の終了を宣言いたします。

写真



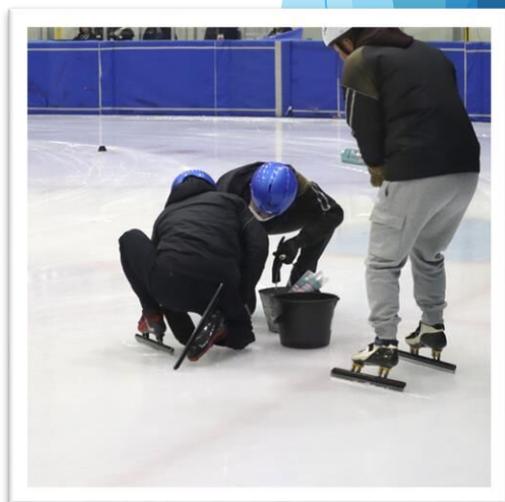
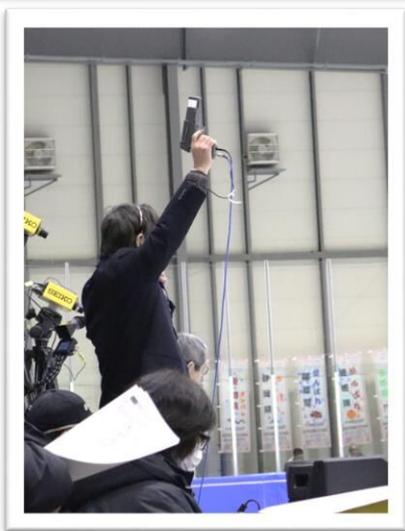
大会マスコット「ももち」

開始式



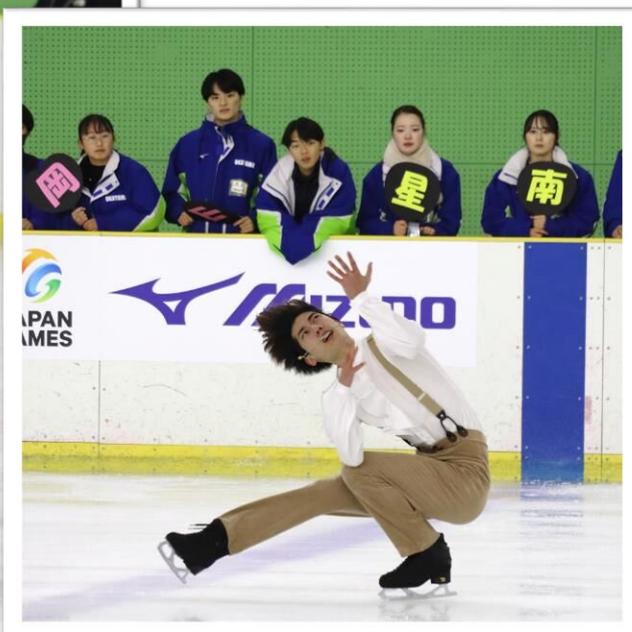
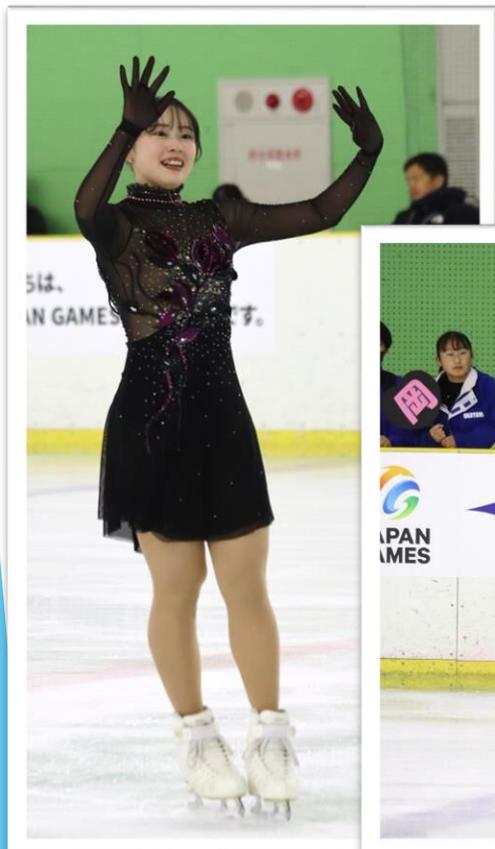
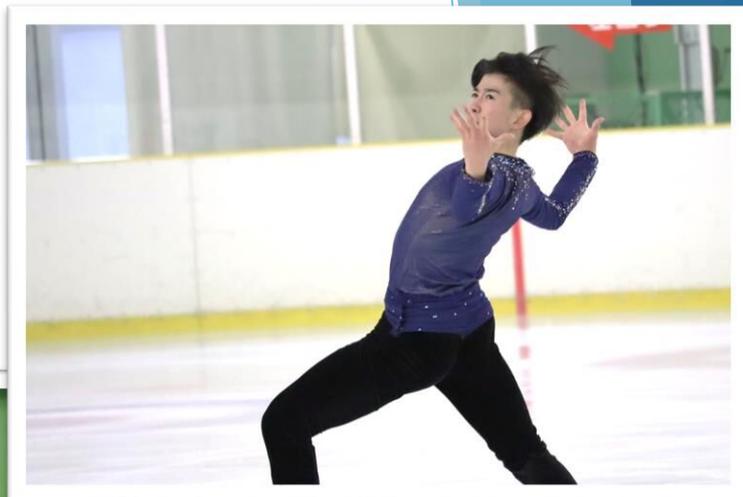
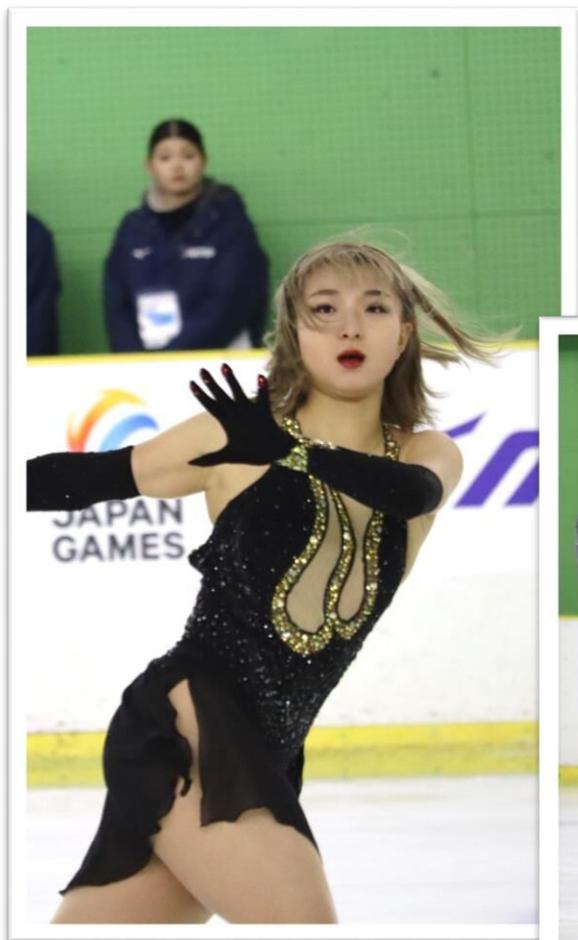


ショートトラック競技



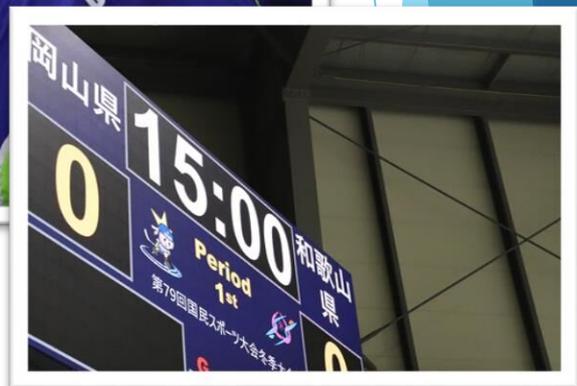


フィギュア競技





アイスホッケー競技





スケート競技会表彰式

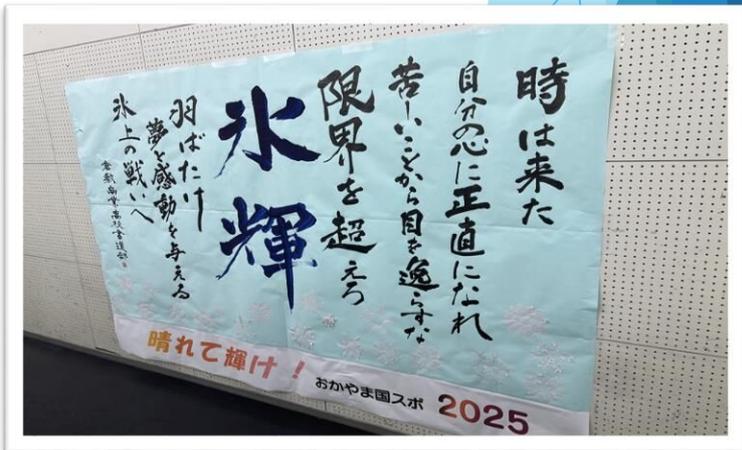


アイスホッケー競技会表彰式



スナップ





制作物等

●ポスター



●クリアファイル



●ももっち缶バッジ



●ランドリーバッグ



●大会のぼり



●観戦ガイドブック



●ももっち木製キーホルダー



●フルーツカラーゲンゼリー



●選手紹介パンフレット



●おもてなし

クーポンマップ



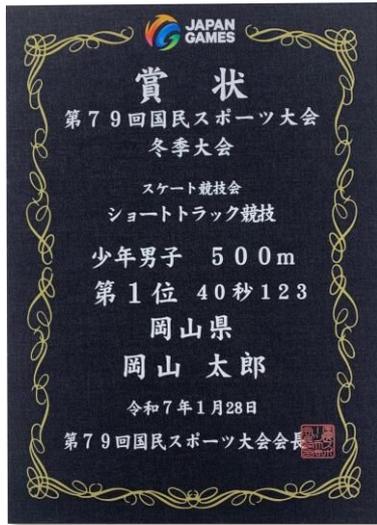
●大会PR動画



●横断幕、懸垂幕、バナーフラッグ



●賞状（県産デニム）、表彰状（県産ヒノキ、横野和紙）



●優勝者記念品（備前焼）
県立東備支援学校 制作



●花卉装飾（シクラメン）
県立瀬戸南高等学校 制作



●都道府県応援のぼり
競技会場周辺の小中学校、県内の特別支援学校 制作



- 都道府県旗用 旗スタンド
県立水島工業高等学校 制作



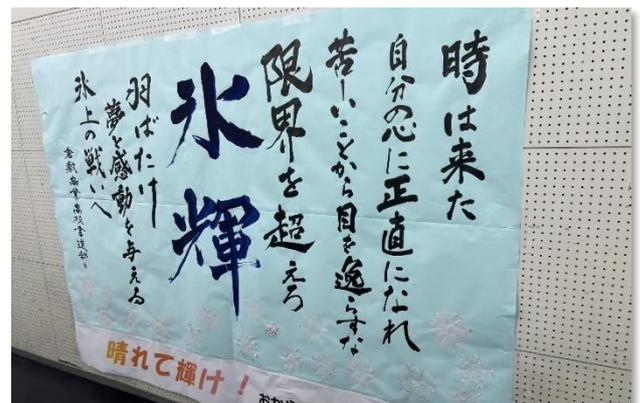
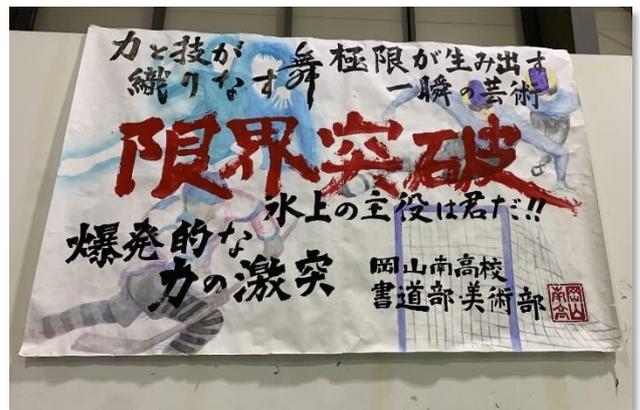
- ペナルティボックス
県立北部高等技術専門校 制作



- ゴールジャッジボックス
県立水島工業高等学校
県立津山工業高等学校 制作



- 書道応援メッセージ
県立岡山南高等学校
県立倉敷商業高等学校 製作



競技会日程と会場一覧表

【正式競技：スケート、アイスホッケー】

会場地	式典・競技	日 程										会 場 所 在 地	
		2025年1月					2月						
		26 (日)	27 (月)	28 (火)	29 (水)	30 (木)	31 (金)	1 (土)	2 (日)	3 (月)	4 (火)		5 (水)
岡山市	(※) 開始式	午後○											岡山芸術創造劇場ハレノワ 岡山市北区表町 3-11-50
倉敷市	(スケート) 表彰式					午後○							ヘルスピア倉敷 倉敷市連島町西之浦 4141
	(アイスホッケー) 表彰式											午後○	倉敷市芸文館 倉敷市中央 1-18-1
岡山市	スケート	ショートトラック	○	○									岡山国際スケートリンク 岡山市北区岡南町 2-3-30
倉敷市		フィギュア	○	○	○	午前○							ヘルスピア倉敷アイスアリーナ 倉敷市連島町西之浦 4141
岡山市	アイスホッケー						○	○	○	○	○		岡山国際スケートリンク 岡山市北区岡南町 2-3-30
倉敷市								○	○	○	○	○	ヘルスピア倉敷アイスアリーナ 倉敷市連島町西之浦 4141

(※) スケート (ショートトラック・フィギュア)・アイスホッケー

全国会議

全国代表者会議	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・会議資料を事前送付 ・質問は、メールで受け付け ・回答は、大会ホームページに掲載
全国報道員会議		

式典



大会マスコット「ももっち」

開始式・表彰式 次第

【第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（ショートトラック・フィギュア）・アイスホッケー競技会】

開始式

期 日 2025年1月26日（日）

場 所 岡山芸術創造劇場ハレノワ

順	次 第	時 刻
1	開場	15:30
2	役員・選手団集合開始	15:30
3	役員・選手団着席完了	16:25
4	歓迎アトラクション	16:30
5	参加都道府県選手団紹介	17:00
6	開式通告	17:15
7	競技会開始宣言	17:16
8	国旗儀礼	17:19
9	大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗儀礼	17:21
10	大会会長トロフィー返還	17:23
11	日本スポーツ協会あいさつ	17:27
12	スポーツ庁あいさつ	17:30
13	中央競技団体あいさつ	17:33
14	歓迎のことば	17:36
15	選手代表宣誓	17:42
16	閉式通告	17:46
17	役員・選手団解散	17:47

【第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会】

表 彰 式

期 日 2025年1月30日(木)

場 所 ヘルスピア倉敷

順	次 第	時 刻
1	開場	12:45
2	役員・選手団集合開始	12:45
3	役員・選手団着席完了	13:14
4	開式通告	13:15
5	成績発表	13:16
6	表彰状授与	13:19
7	大会会長トロフィー授与	13:32
8	中央競技団体あいさつ	13:34
9	会場地あいさつ	13:37
10	国旗儀礼	13:40
11	競技会終了宣言	13:42
12	閉式通告	13:44
13	役員・選手団解散	13:45

【第79回国民スポーツ大会冬季大会アイスホッケー競技会】

表 彰 式

期 日 2025年2月5日(水)

場 所 倉敷市芸文館

順	次 第	時 刻
1	開場	15:30
2	役員・選手団集合開始	15:30
3	役員・選手団着席完了	15:59
4	開式通告	16:00
5	成績発表	16:01
6	表彰状授与	16:04
7	大会会長トロフィー授与	16:17
8	中央競技団体あいさつ	16:19
9	会場地あいさつ	16:22
10	国旗儀礼	16:28
11	競技会終了宣言	16:30
12	閉式通告	16:32
13	役員・選手団解散	16:33

開始式・表彰式参加にあたっての留意事項

【開始式】

1 会場

開始式は、岡山芸術創造劇場ハレノワ大劇場で行います。

2 参加都道府県選手団について

(1) 全般

参加人数は各都道府県5名です。ただし、前回大会スケート競技会男女総合成績第1位の長野県と、アイスホッケー競技会総合成績第1位の北海道は6名、開催県の岡山県は7名です。

(2) 受付

ア 選手団の代表者は、15時30分から会場2階大劇場ホワイエにおいて受付を行ってください。受付の際には、ADカードを提示し、参加人数を伝えてください。

イ 受付は16時20分までに済ませ、16時25分までに指定された選手団席（大劇場1階）に着席してください。

ウ 大会会長トロフィー返還者には、係員が返還方法の説明を行いますので、16時までに指定された席についてください。

(3) 参加都道府県選手団紹介

ア 入場行進は行いません。また、旗手についても不要です。

※開始式の際に都道府県旗を持参する必要はありません。

イ 参加都道府県旗は、五十音順に愛知県から最後の開催県である岡山県まで画像をステージのスクリーンに投影し紹介します。

ウ 「都道府県名、〇〇〇〇団長、以下〇〇名の参加です。」と紹介されたら、当該選手団はその場で起立し、周囲に軽く手を振り、会釈をして着席してください。以下、これに続けてください。

(4) 選手代表宣誓及び宣誓時の旗手

選手代表宣誓は、岡山県選手団代表が行います。その際、各都道府県旗の集合はありません。

(5) 退場

式典終了後は、アナウンス・誘導係員の指示に従い退場してください。

3 その他

岡山県内の特産品等を紹介する展示ブースを受付後方に設置しておりますので、是非、ご覧ください。なお、展示物には触れないようにお願いします。

【スケート競技会表彰式】

1 会場

スケート競技会表彰式は、ヘルスピア倉敷多目的ホールで行います。

2 参加都道府県選手団について

(1) 全般

参加人数は、スケート競技会男女総合成績第1位～第8位の都道府県から各2名（計16名）、女子総合成績第1位～第8位の都道府県から各2名（計16名）です。

※1/29時点で入賞の可能のある都道府県選手団本部（大会期間中の担当者）へご連絡いたします。

(2) 受付

ア 12時45分から本館2階の「選手団受付」で、受付を行ってください。

イ 受付後は、12時55分までに、指定された受賞者席に着席してください。係員が表彰状及び大会会長トロフィー（男女総合成績第1位）の受賞方法について、説明を行います。

【アイスホッケー競技会表彰式】

1 会場

アイスホッケー競技会表彰式は、倉敷市芸文館アイシアターで行います。

2 参加都道府県選手団について

(1) 全般

参加人数は、アイスホッケー競技会総合成績第1位～第8位の都道府県から各2名（計16名）です。

※2/4時点で入賞の可能のある都道府県選手団本部（大会期間中の担当者）へご連絡いたします。

(2) 受付

ア 15時30分からアイシアター入口「選手団受付」で、受付を行ってください。

イ 受付後は、15時40分までに、指定された受賞者席に着席してください。係員が表彰状及び大会会長トロフィー（総合成績第1位）の受賞方法について、説明を行います。

【その他】

1 開始式・表彰式とも、手荷物は各自で保管してください。

2 開始式・表彰式とも、食事の斡旋は行いません。また、会場では飲食ができません。

3 開始式会場・表彰式会場の駐車場について

・開始式及びアイスホッケー競技会表彰式会場に駐車場はありません。公共交通機関等をご利用ください。

・スケート競技会表彰式会場の駐車場には限りがあります。シャトルバスの利用や乗り合わせでの来場にご協力ください。

※詳しくは大会ホームページにてご確認ください。

式典出演者等一覧

【開始式】

- 1 歓迎アトラクション
岡山県立岡山城東高等学校合唱部
倉敷芸術科学大学男子新体操部
I P Uスポーツアカデミー
環太平洋大学ダンス部

- 2 司 会
井ノ上美恵子（フリーアナウンサー）
山口紗世、大福美琴（就実高等学校放送部）

- 3 音 楽
国歌独唱 森野美咲（オペラ歌手）
岡山県立岡山東商業高等学校吹奏楽部

- 4 補助員等
会場設営・接遇 岡山県立岡山朝日高等学校
書道展示 岡山県立岡山南高等学校書道部

【表彰式】

- 1 司 会
吉岡那菜、田中 晶（岡山県立玉島高等学校放送部）

- 2 補助員等
書道展示 岡山県立倉敷商業高等学校書道部

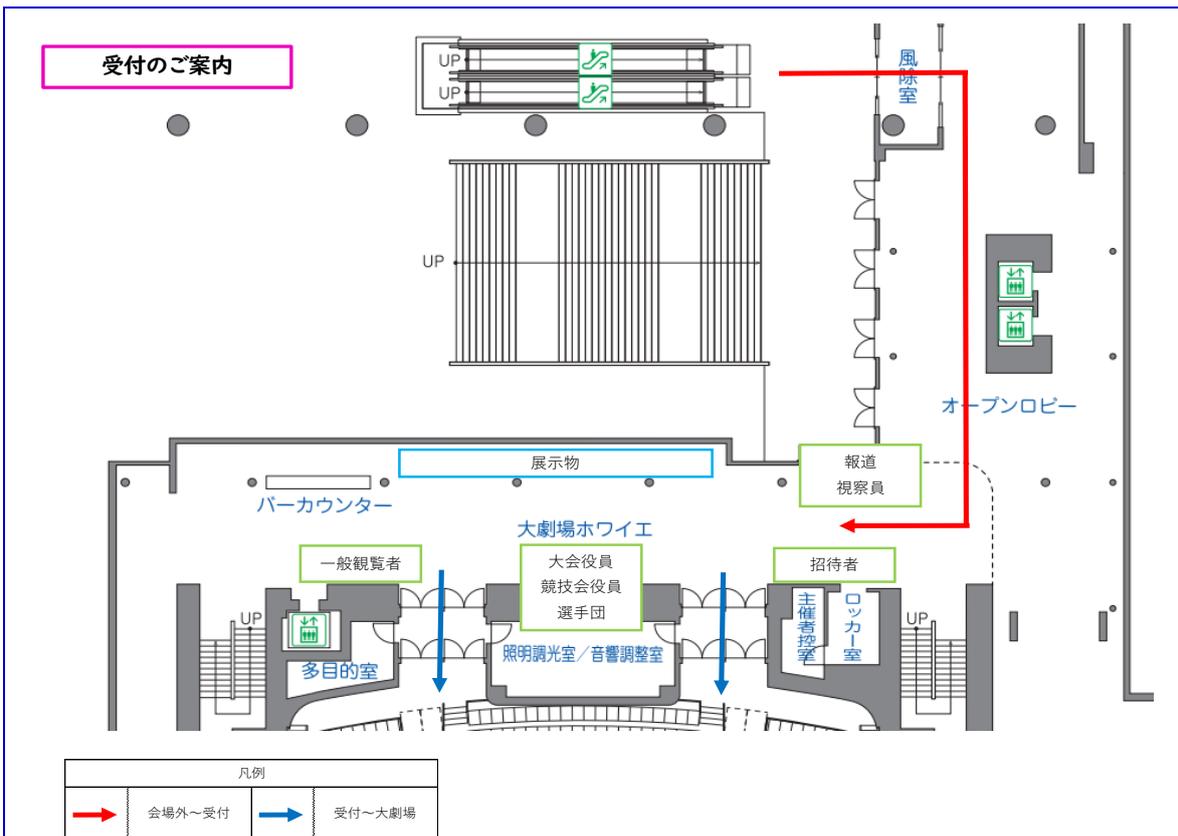
【開始式】岡山芸術創造劇場ハレノワ



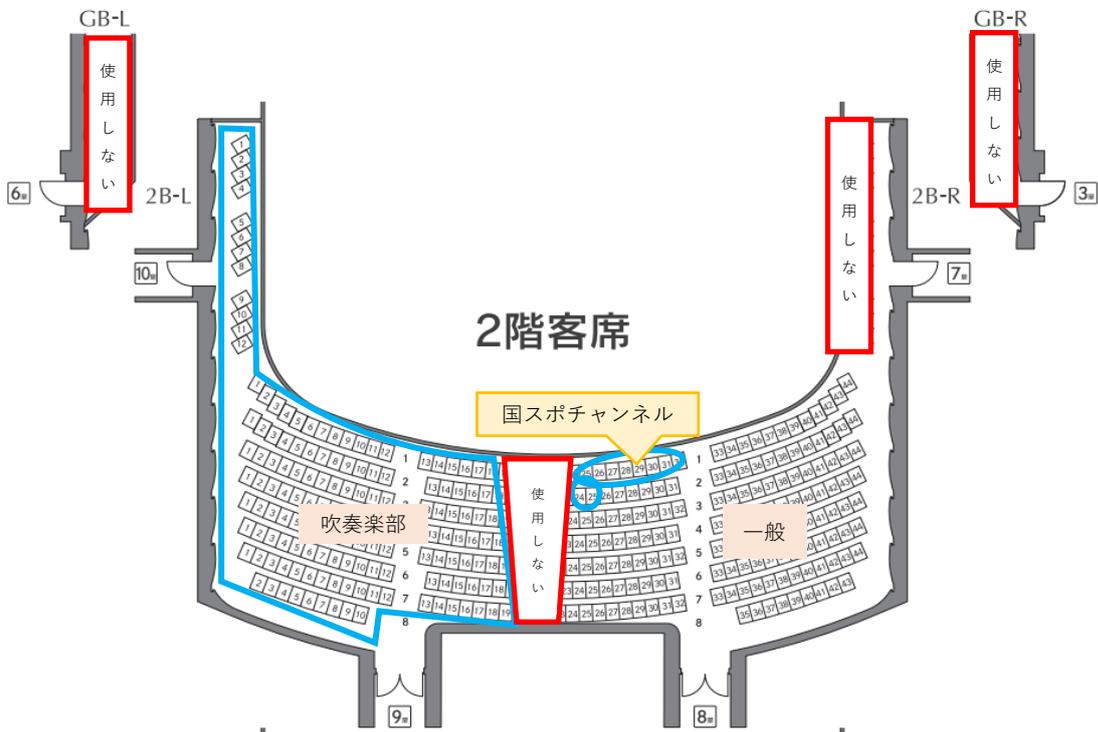
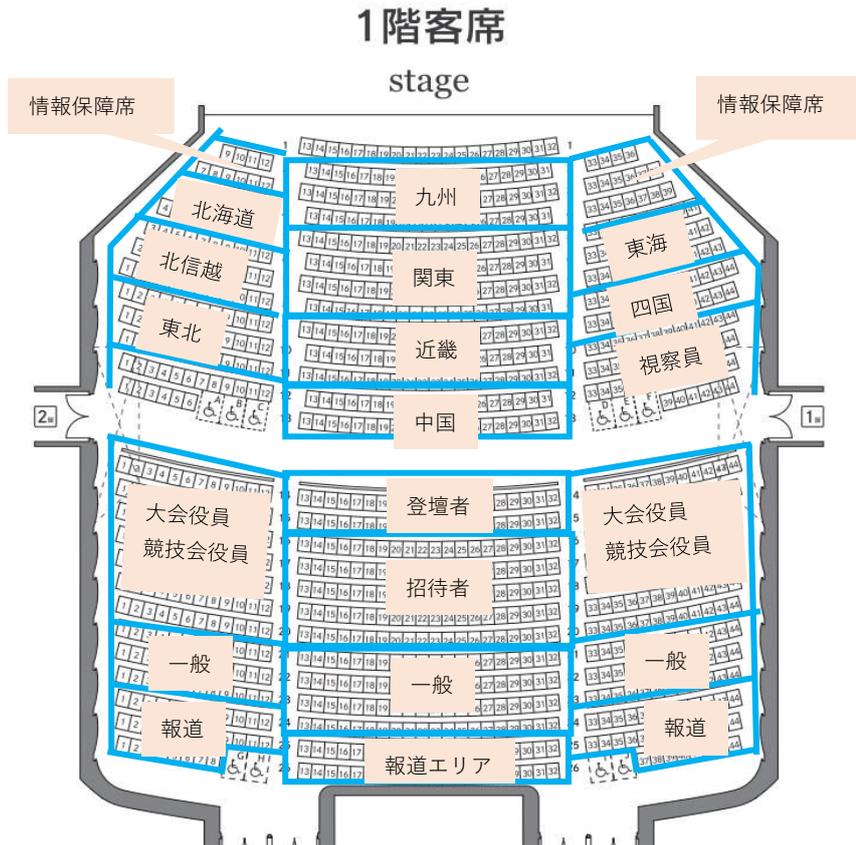
所在地：岡山県岡山市北区表町3-11-50



岡山創造劇場ハレノワ、アクセスマップ。 https://okayama-pat.jp/web/wp-content/uploads/2023/09/20230901_PointMap.pdf。(参照2024.2.16)



開始式 座席エリア図



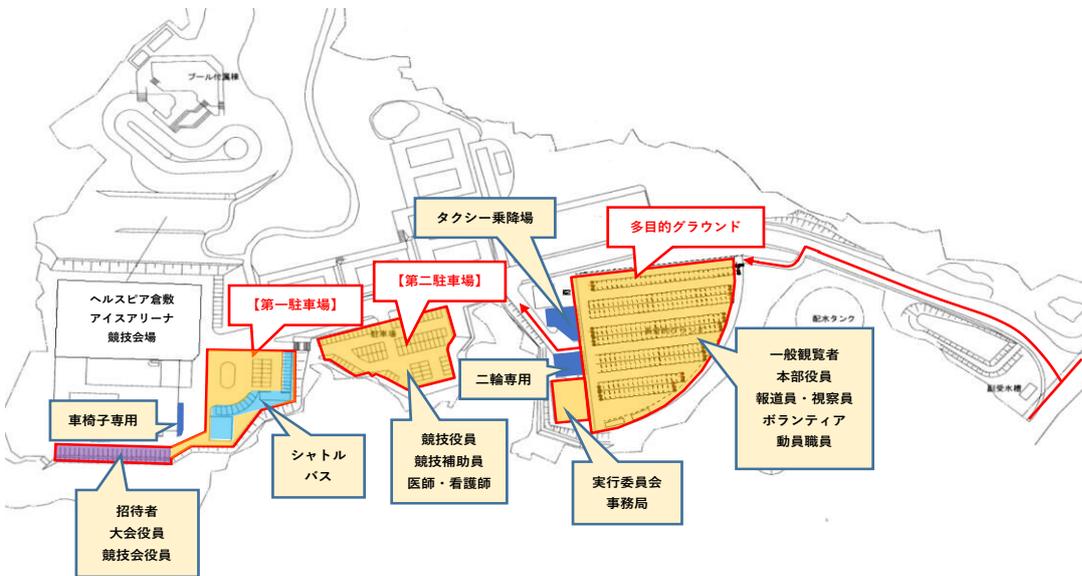


【スケート競技会表彰式】ヘルスピア倉敷

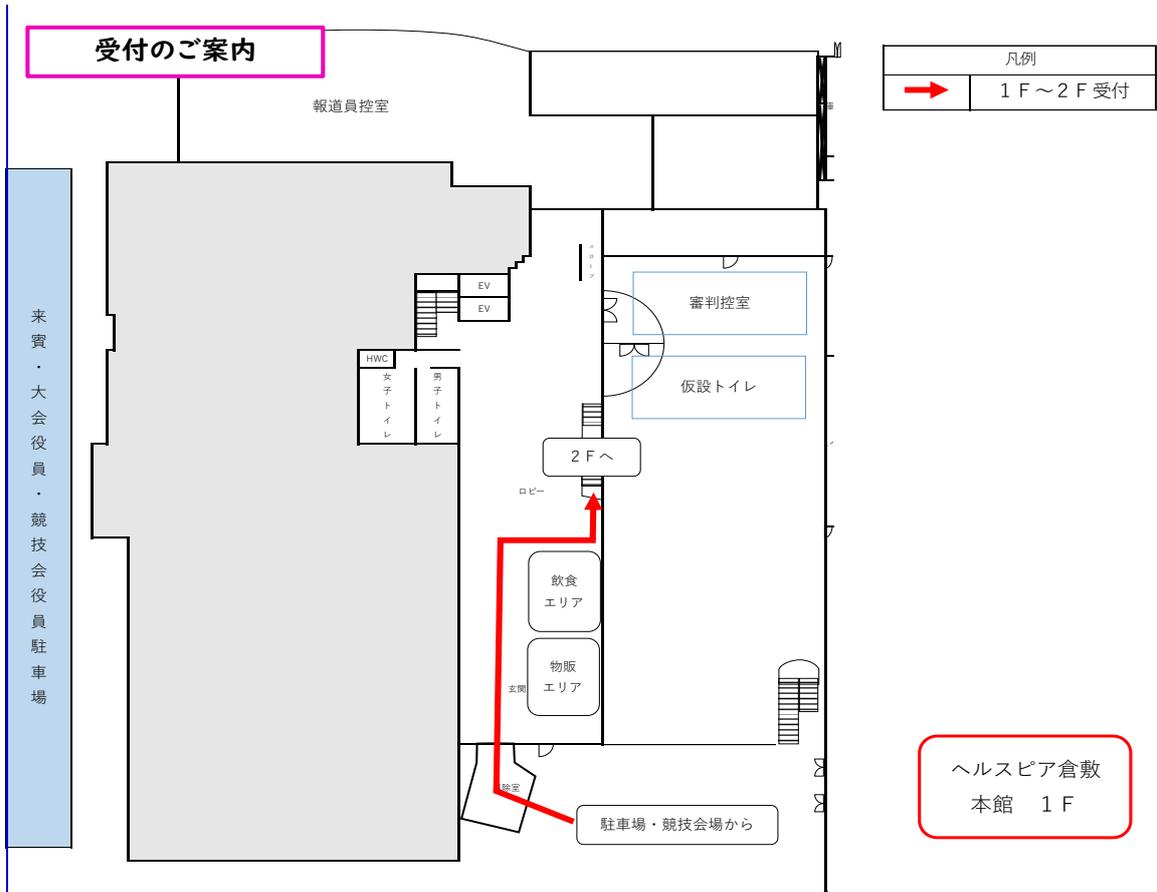
所在地: 岡山県倉敷市連島町西之浦4141



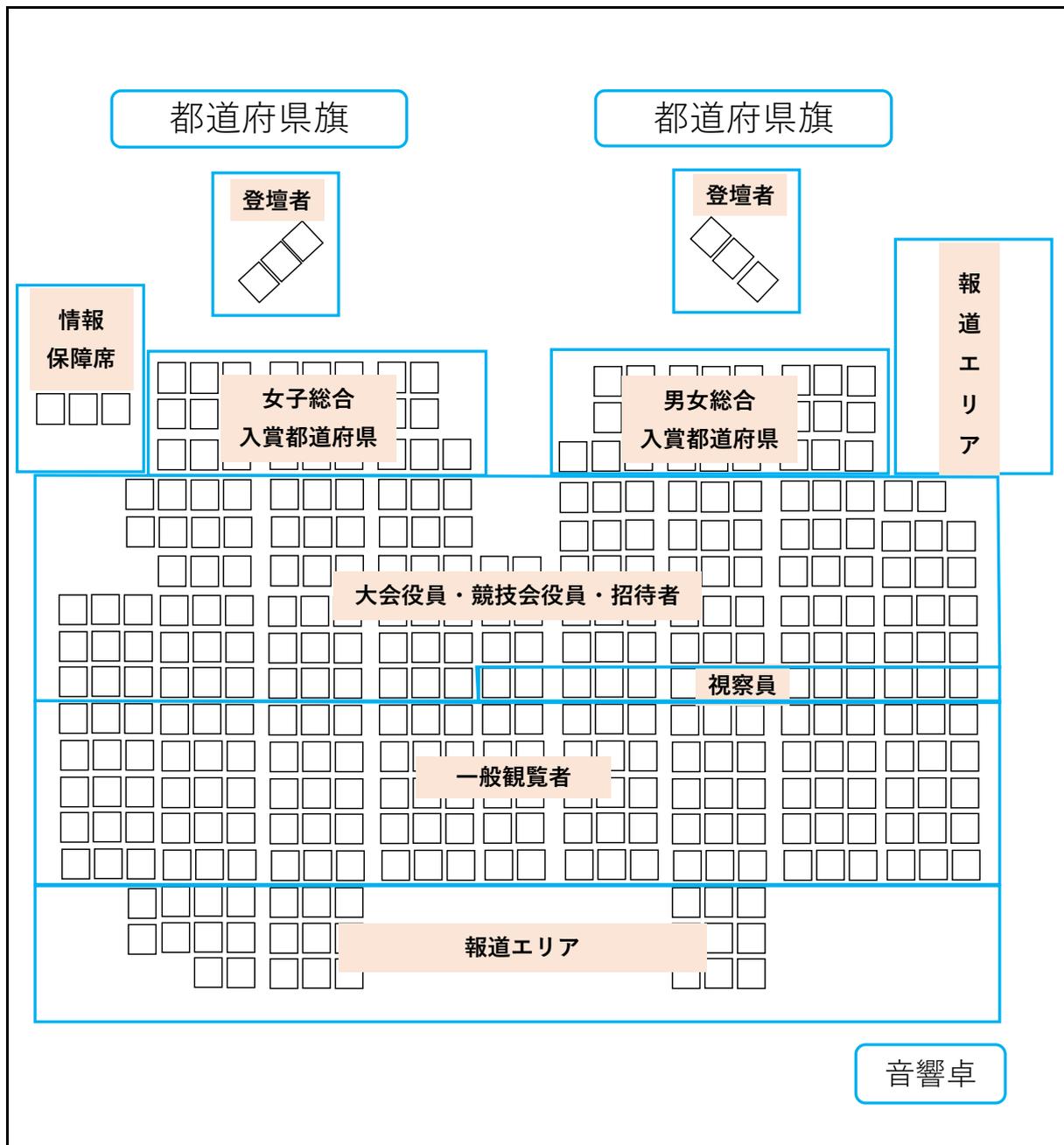
第一駐車場・第二駐車場は大会関係者用の駐車場となるため、ADカードが必要となります。



【大会関係者駐車場】ヘルスピア倉敷アイスアリーナ



スケート競技会表彰式 座席エリア図



【アイスホッケー競技会表彰式】倉敷市芸文館



所在地：岡山県倉敷市中央1-18-1



※地下駐車場は利用できますが、専用駐車場ではなく、有料の市営美観地区南駐車場です。(177台)



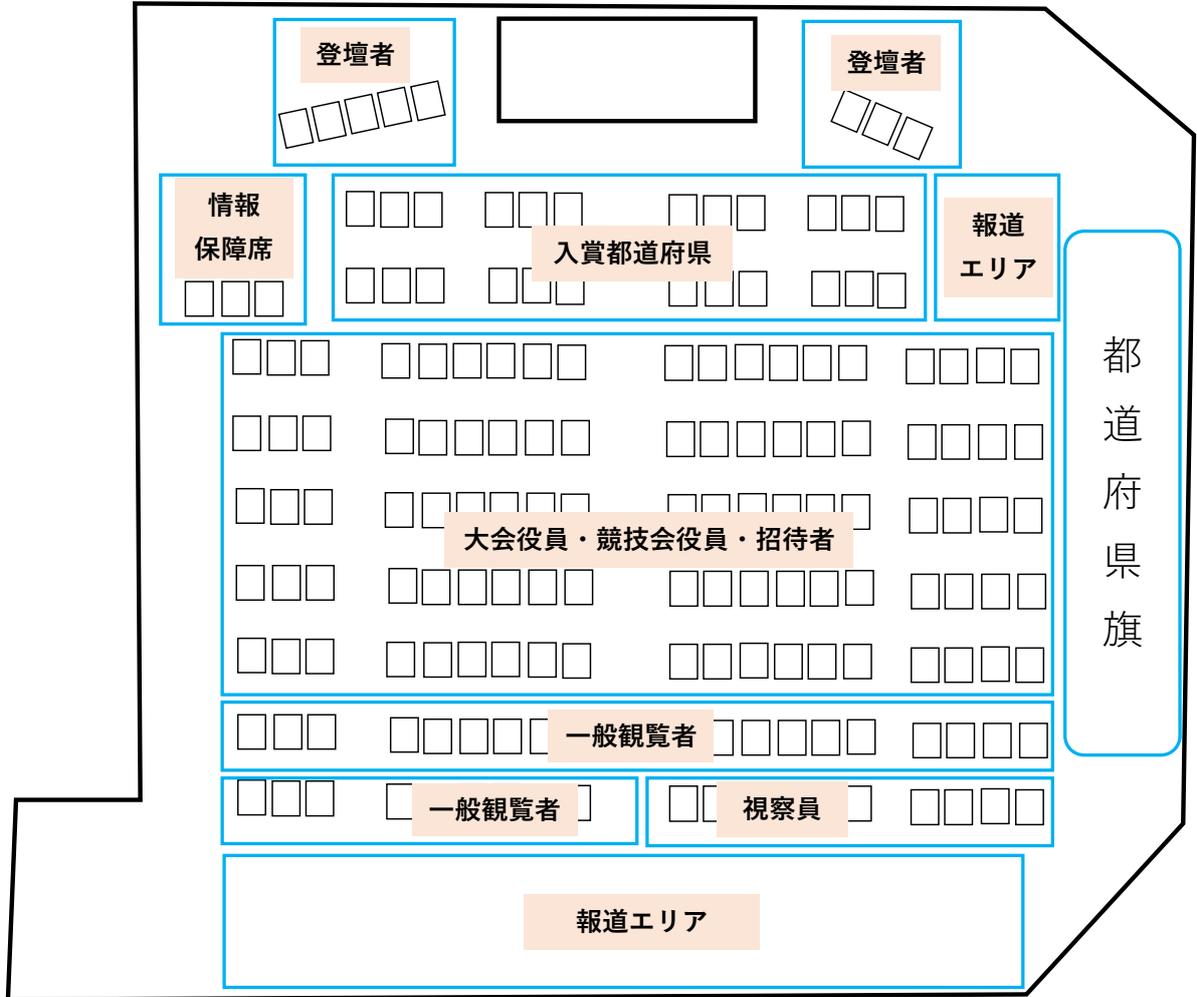
倉敷市芸文館. アクセス. <https://arsk.jp/geibun/access/>
(参照2024.2.27)

受付のご案内



凡例	
	受付～会場

アイスホッケー競技会表彰式 座席エリア図

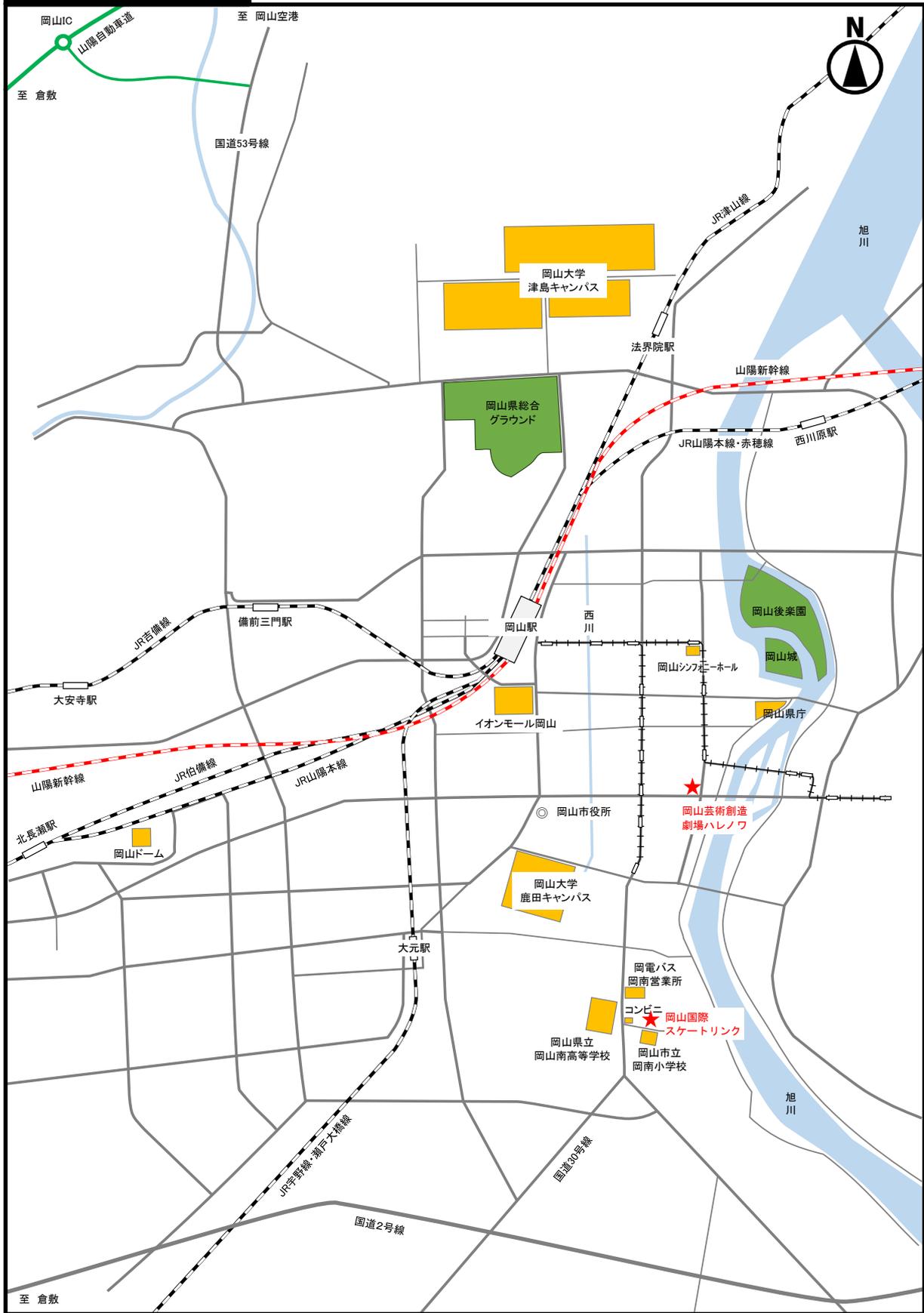


競技会場

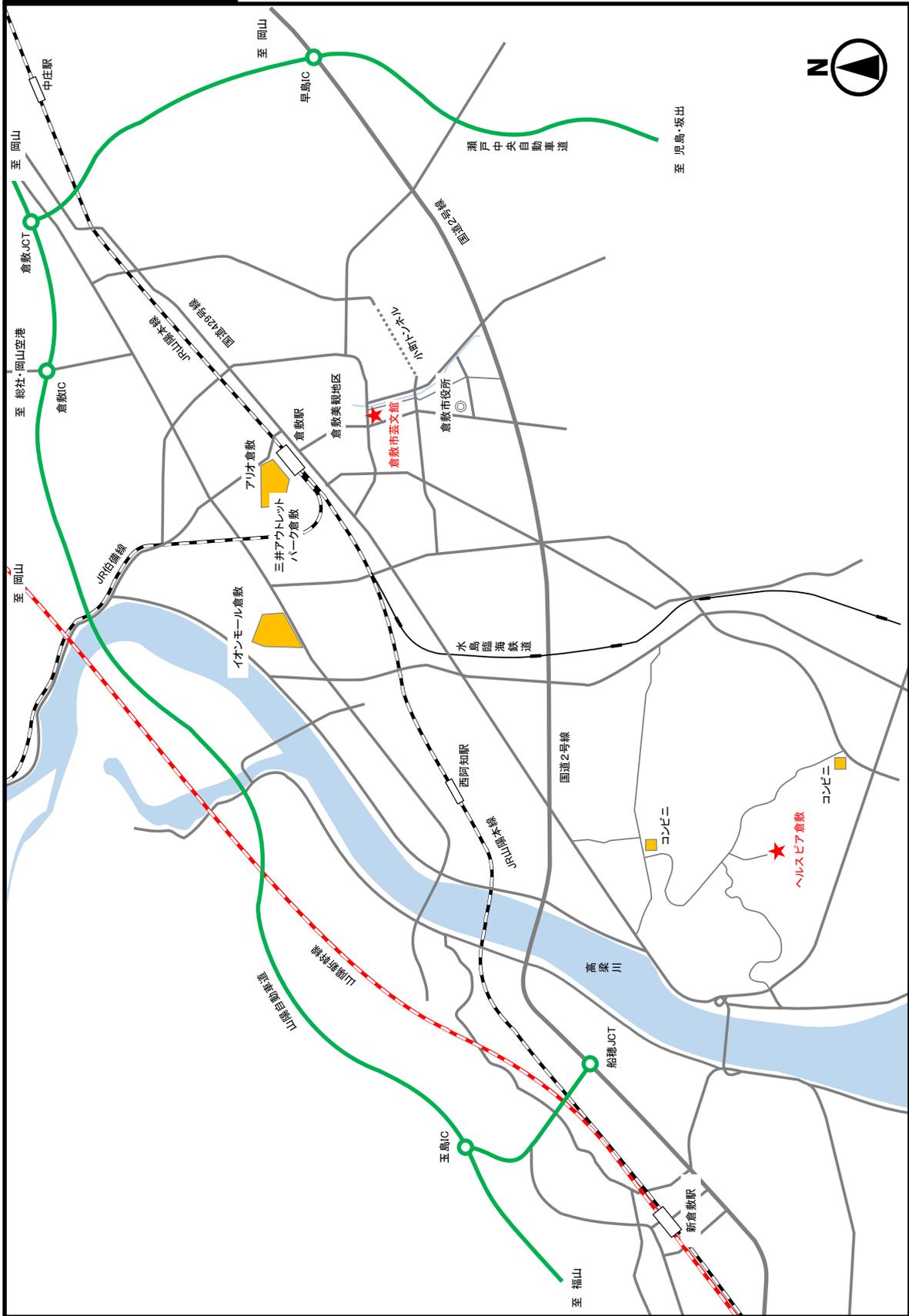


大会マスコット「ももち」

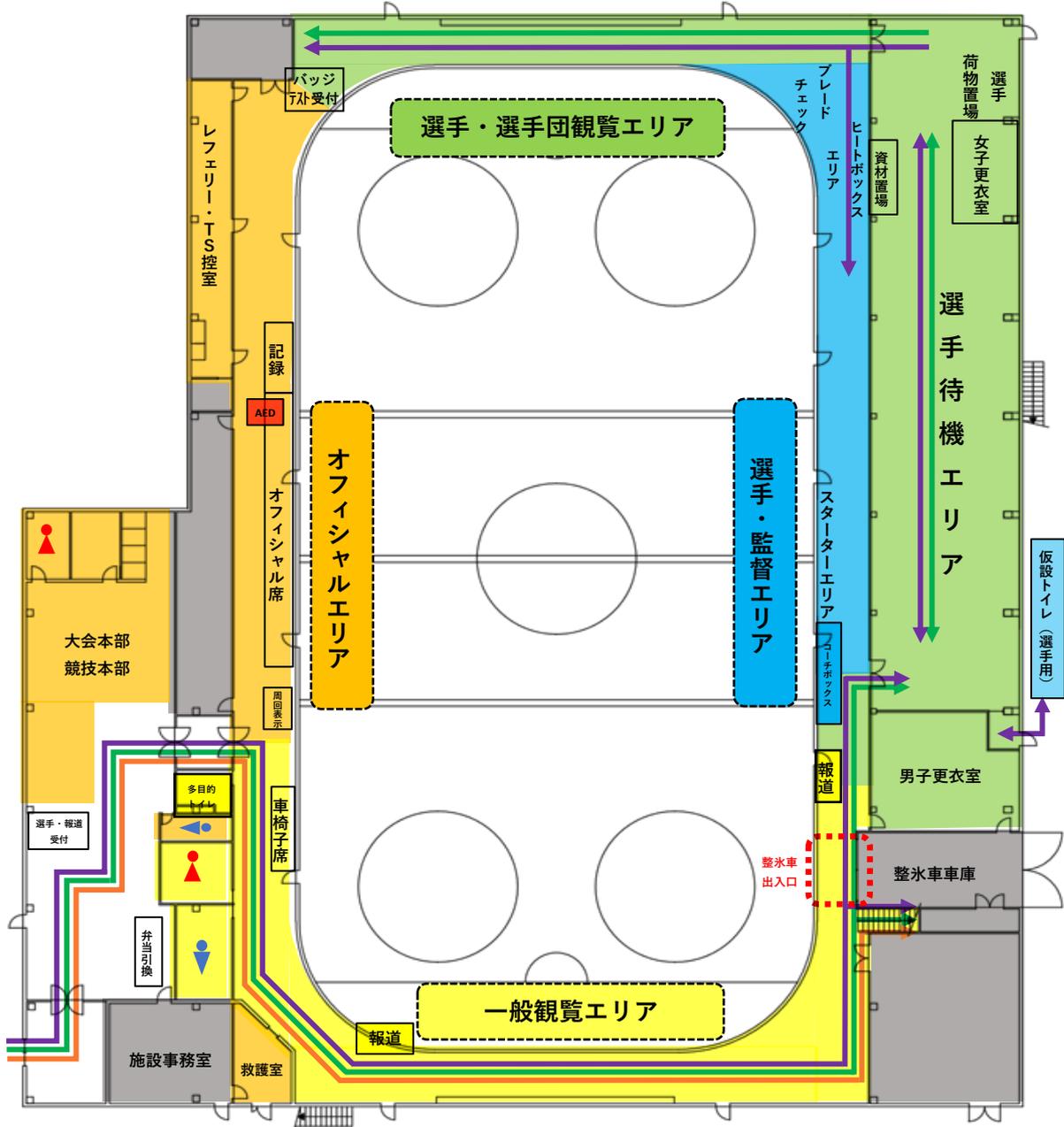
岡山市会場位置図



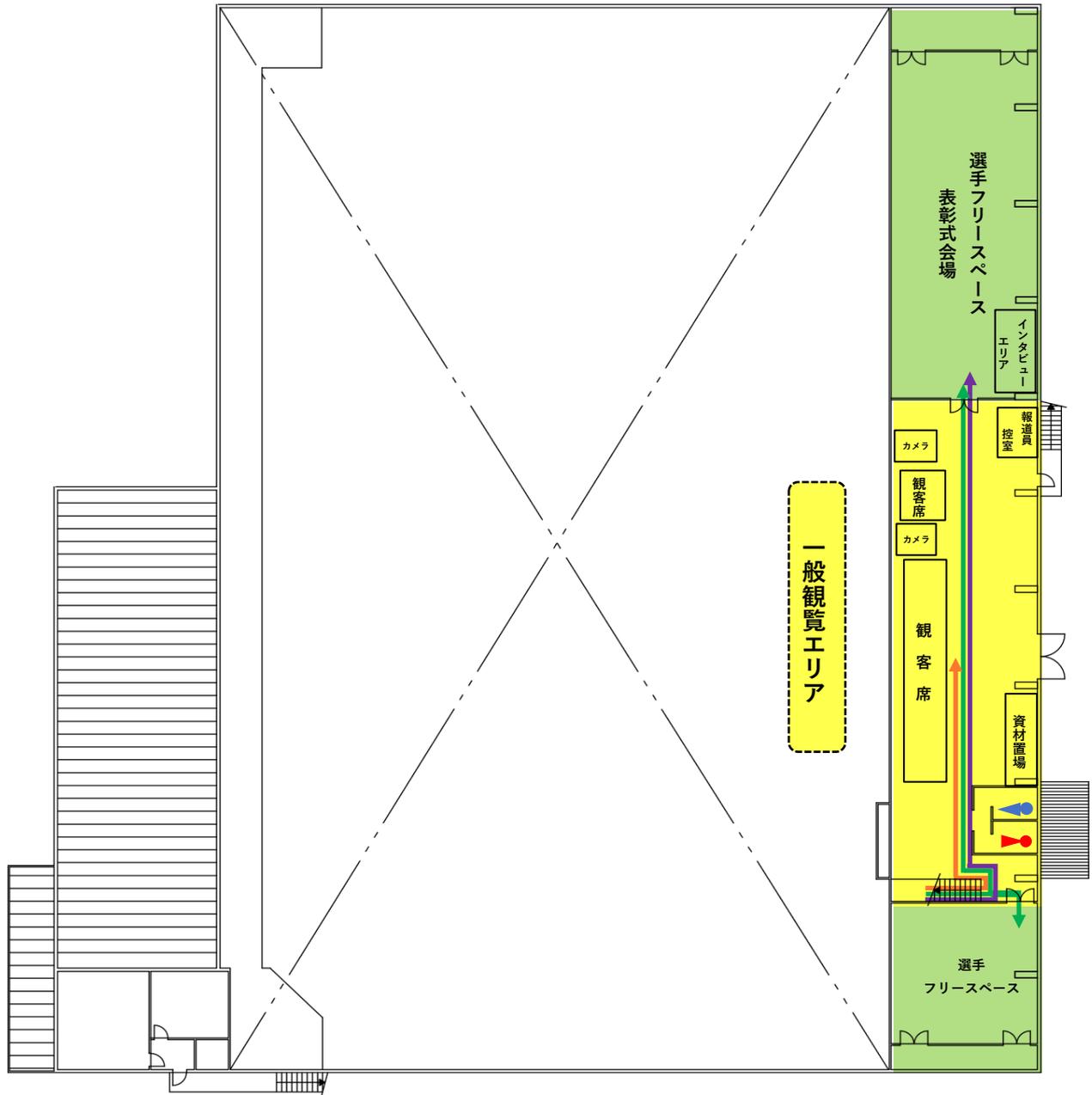
倉敷市会場位置図



ショートトラック競技会場図 岡山国際スケートリンク（1階）



ショートトラック競技会場図
岡山国際スケートリンク（2階）

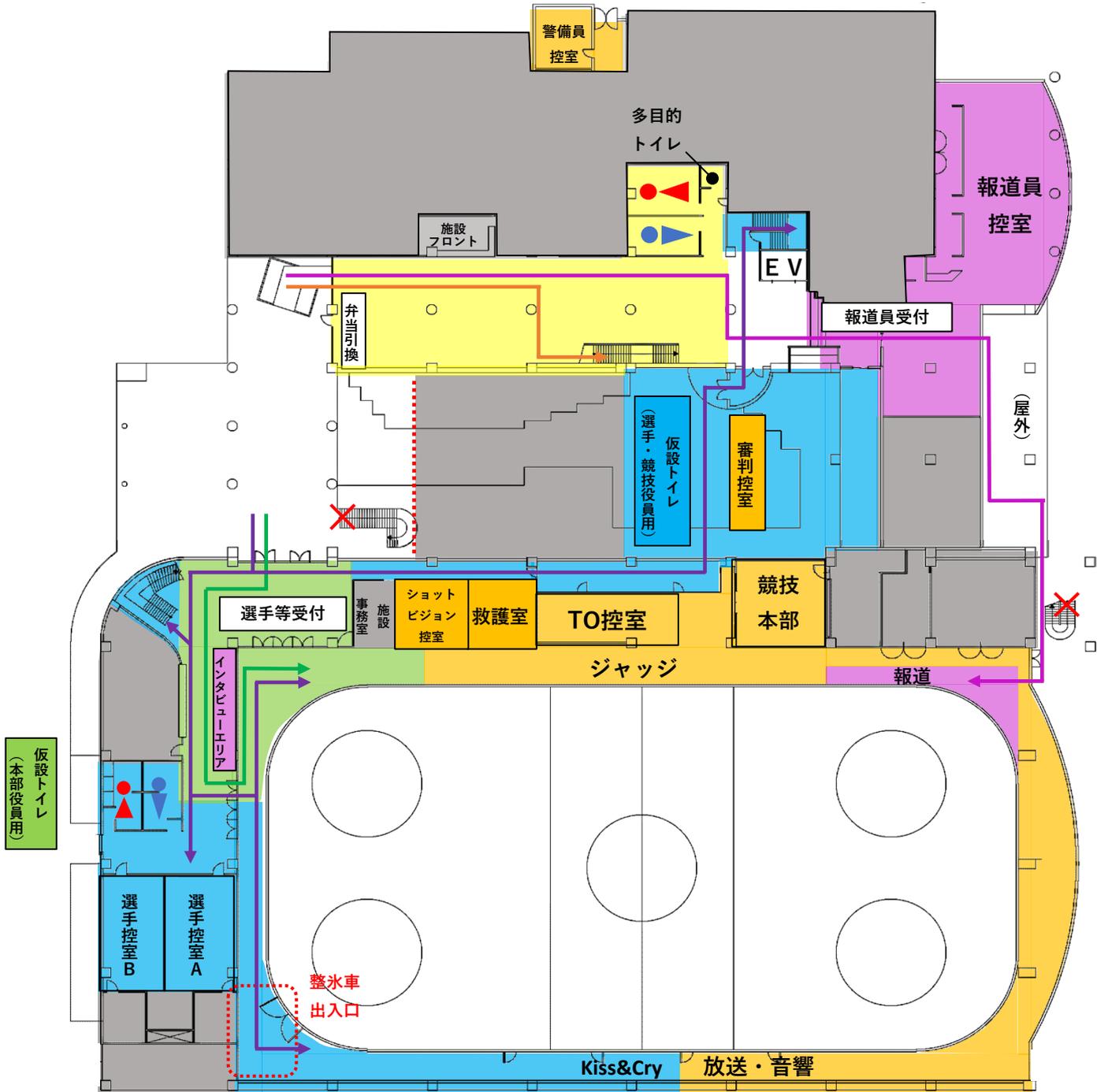


選手等・選手団
共有エリア
→

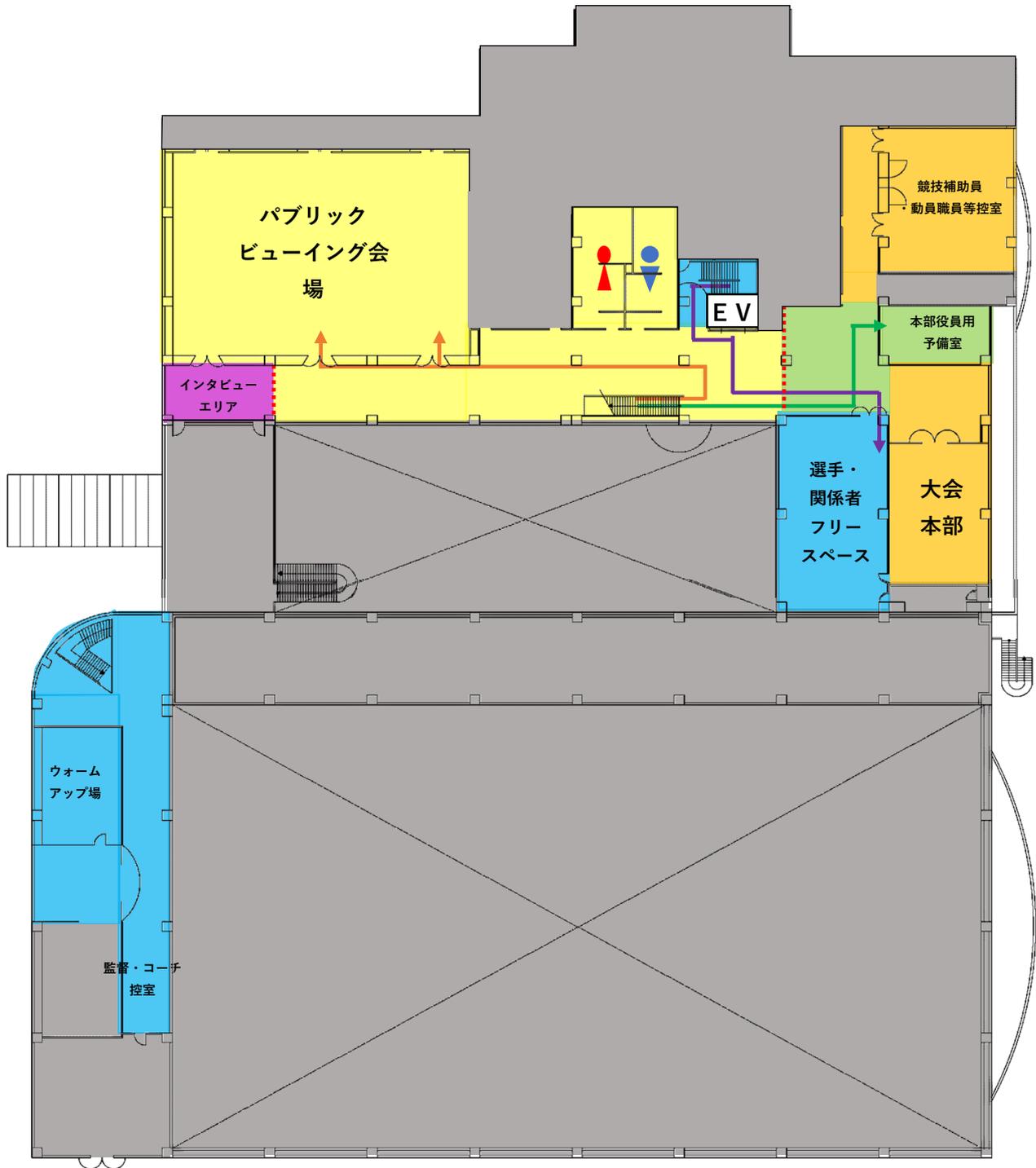
一般・報道
エリア
→

オフィシャル
エリア

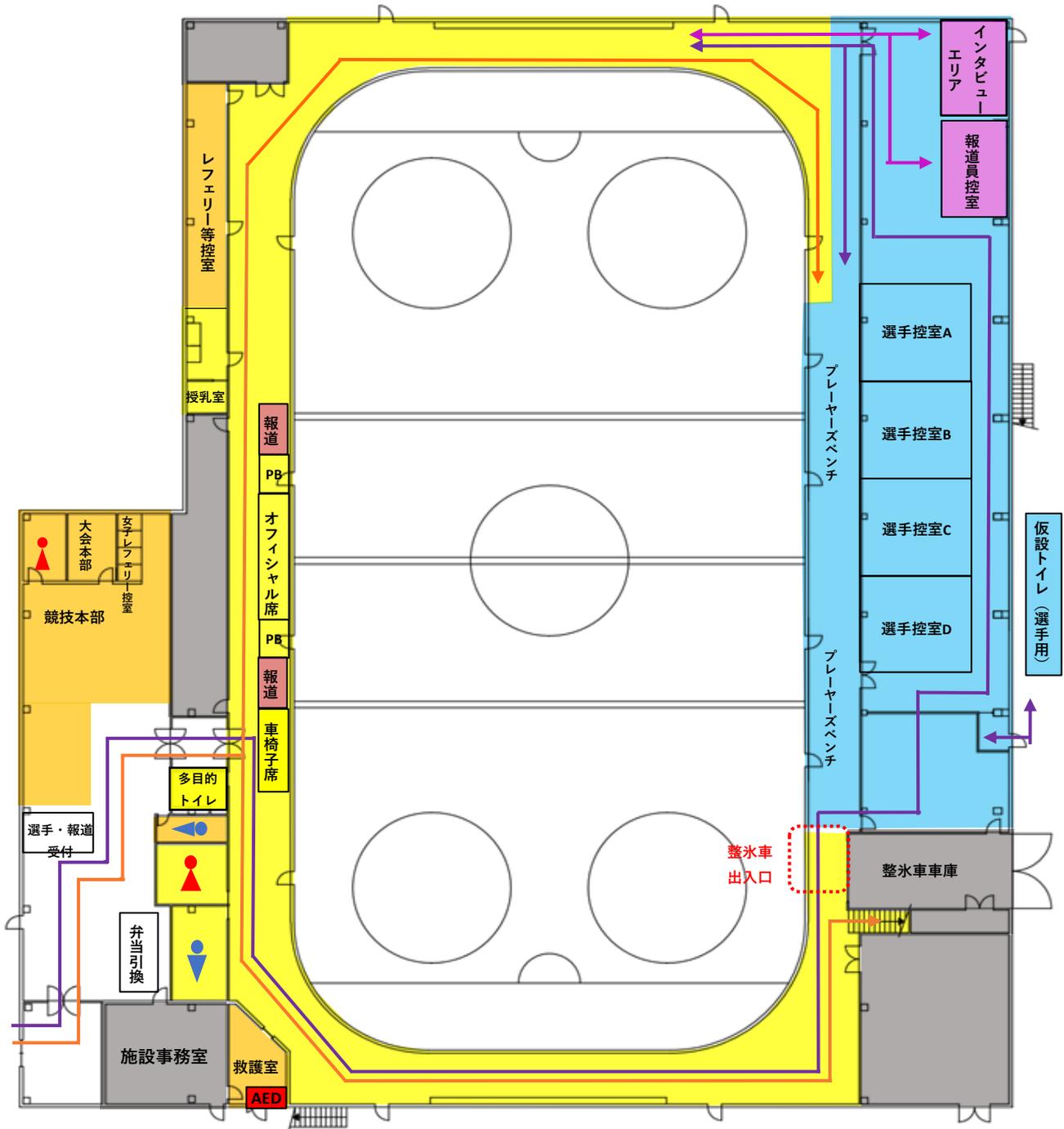
フィギュアスケート競技会場図 ヘルスパイア倉敷（1階）



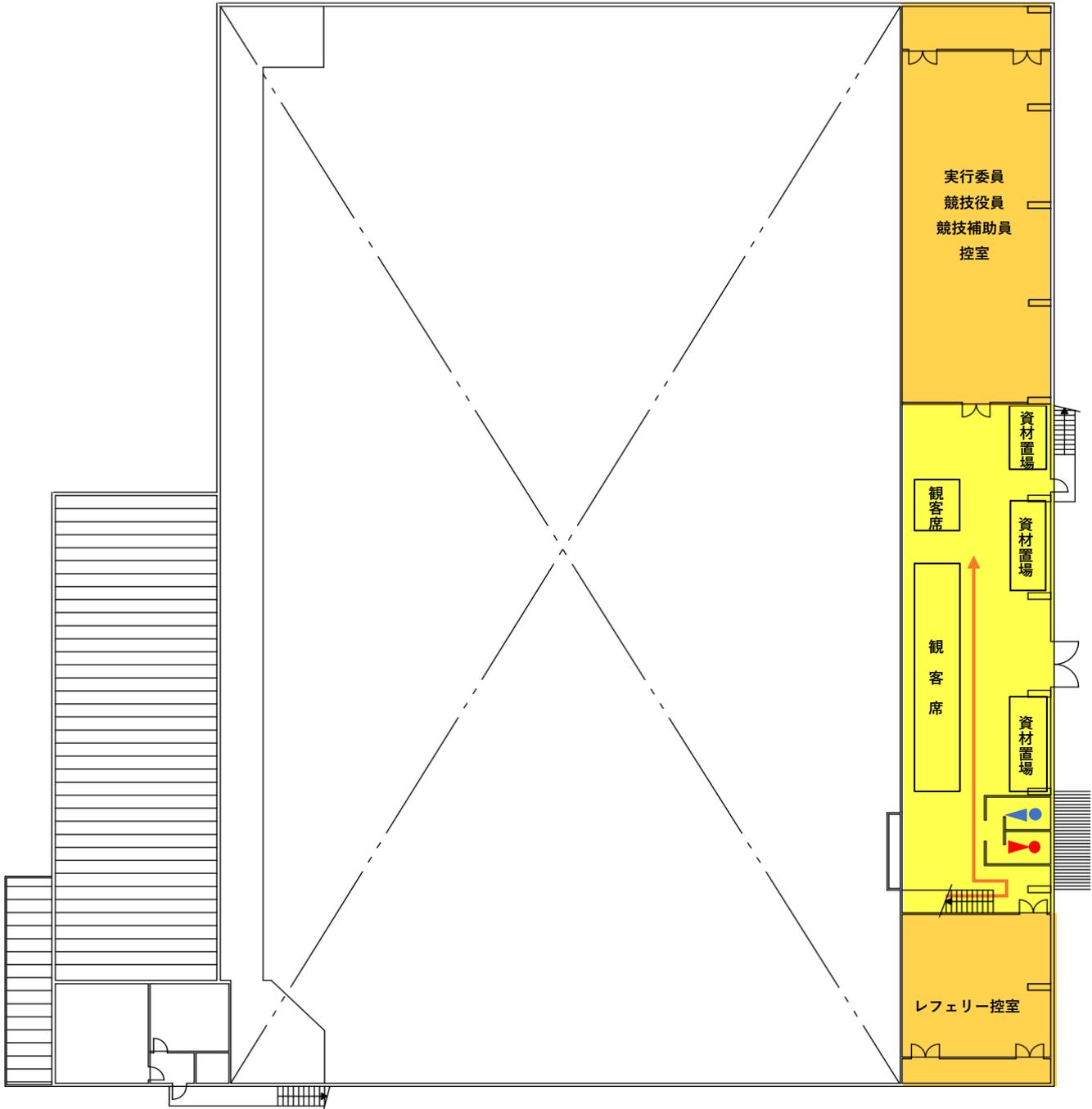
フィギュアスケート競技会場図
ヘルスピア倉敷（2階）



アイスホッケー競技会場図 岡山国際スケートリンク（1階）



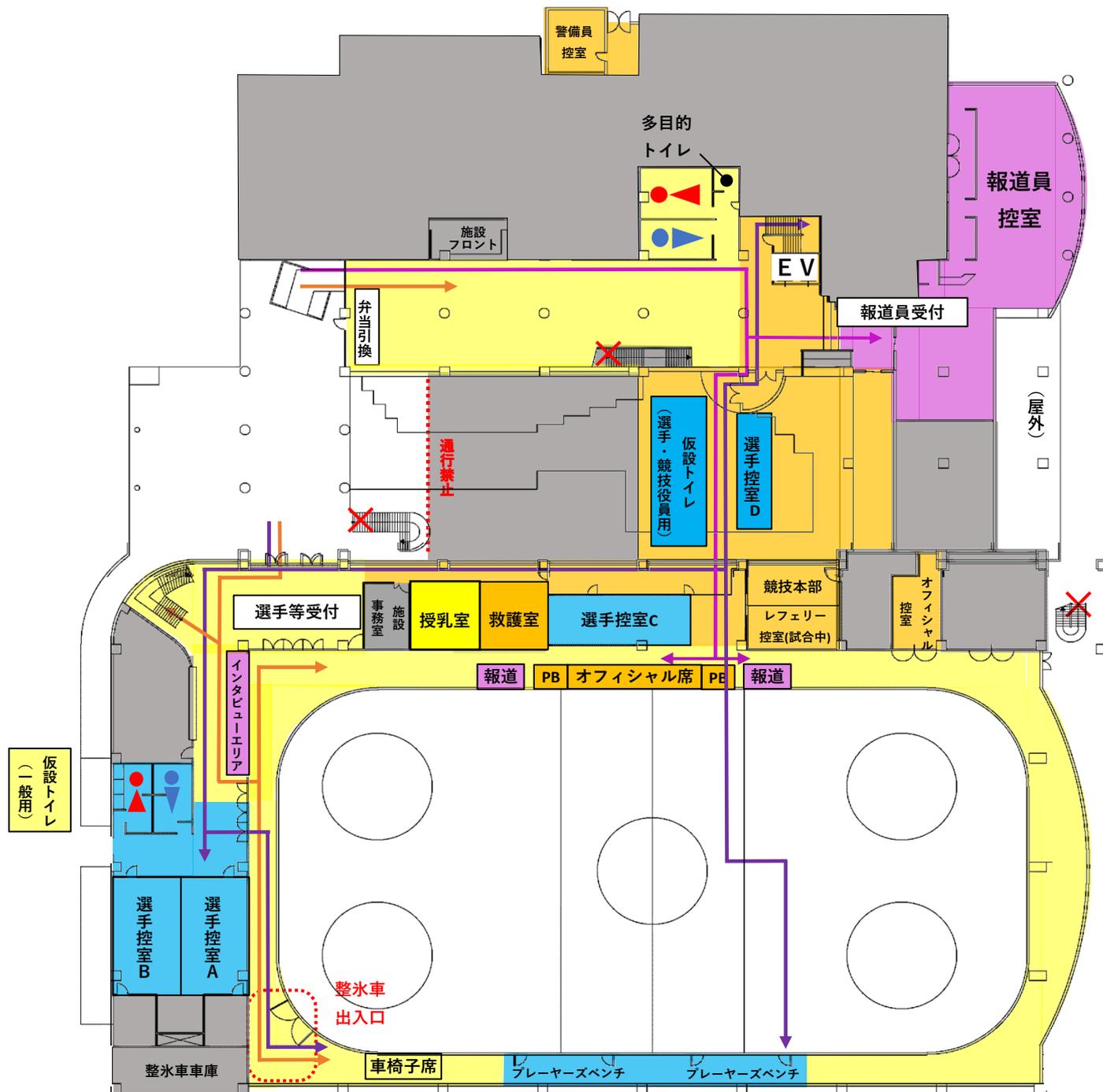
アイスホッケー競技会場図 岡山国際スケートリンク（2階）



一般エリア
→

オフィシャル
エリア

アイスホッケー競技会場図 ヘルスパア倉敷（1階）



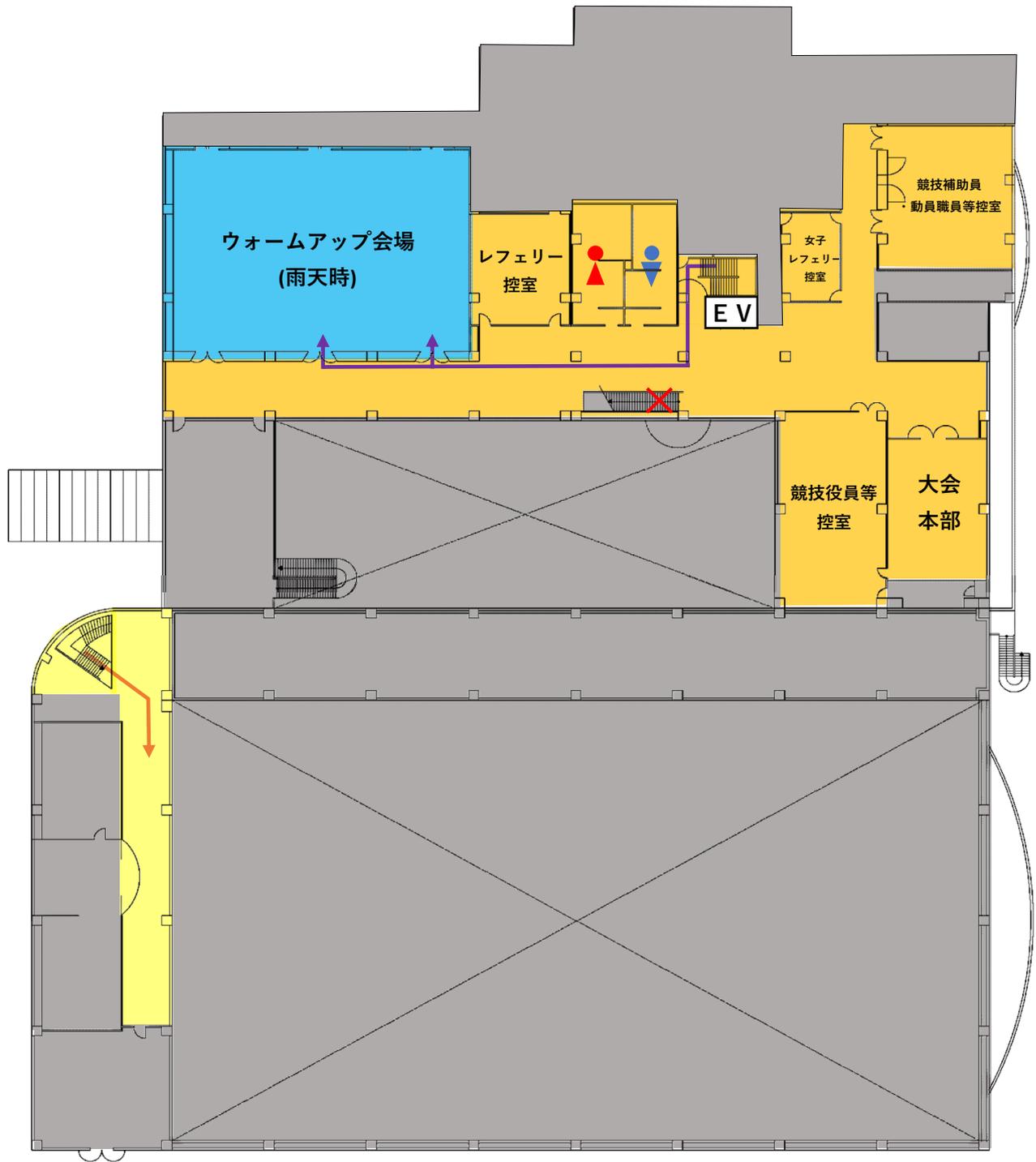
選手・監督
エリア

一般エリア

報道員エリア

オフィシャル
エリア

アイスホッケー競技会場図
ヘルスピア倉敷（2階）

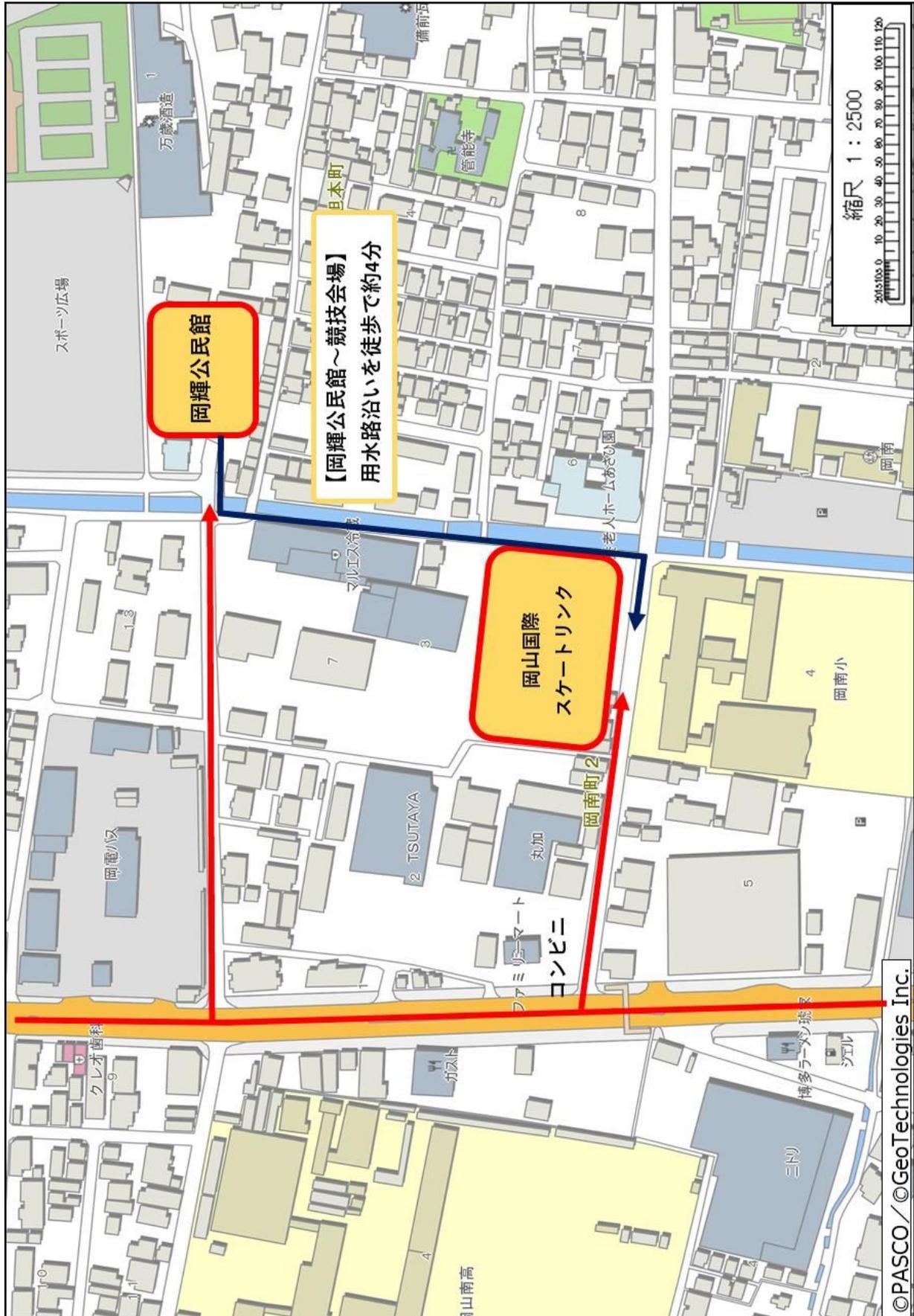


選手・監督
エリア
→

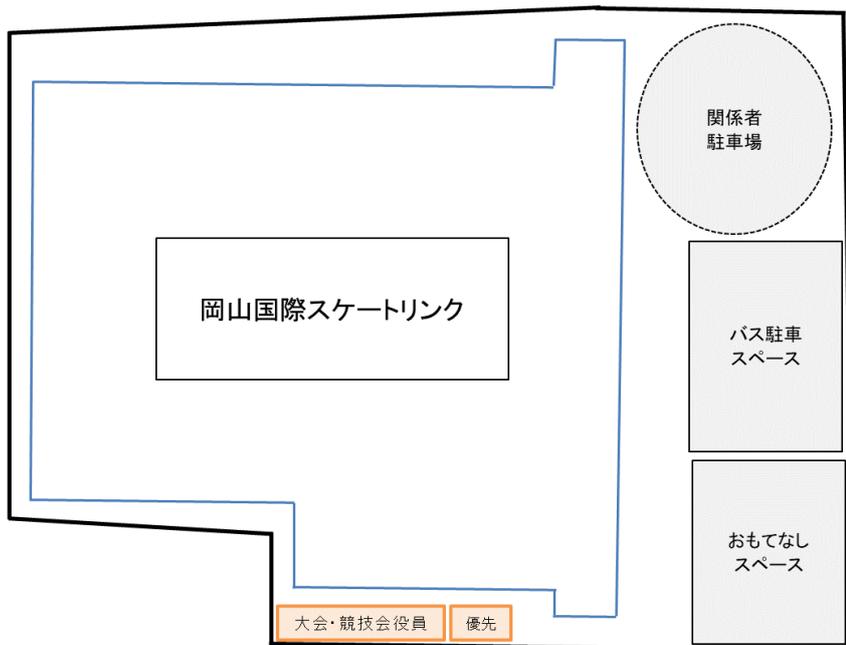
一般エリア
→

オフィシャル
エリア

【大会関係者駐車場】 岡山国際スケートリンク

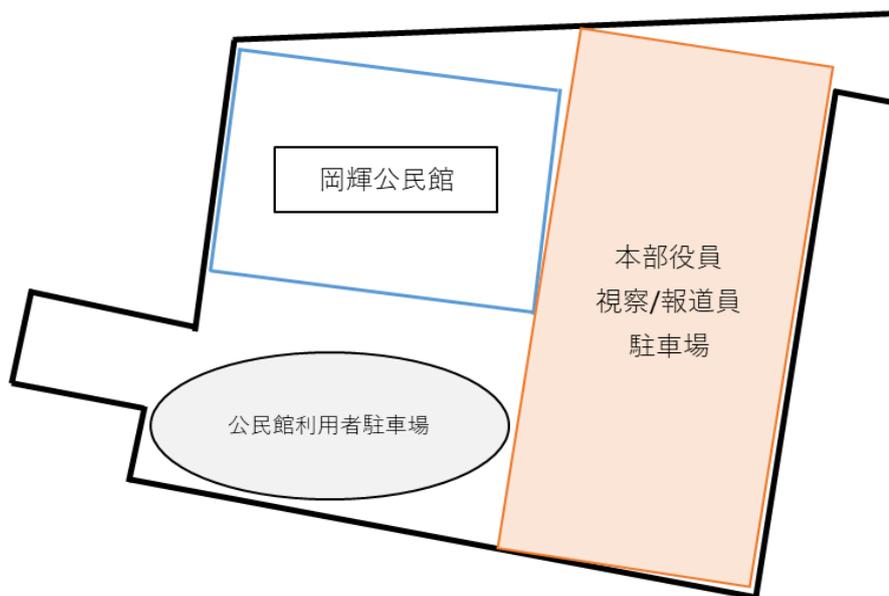


【岡山国際スケートリンク 駐車場】



- ・会場敷地内の駐車場は大会役員/競技会役員/招待者優先車両(障害等)専用です。それ以外の方はご利用いただけませんので、ご注意ください。
- ・競技役員の方は、別途指定する駐車場をご利用ください。
- ・本部役員/視察・報道員の方は岡輝公民館駐車場をご利用ください。
- ・駐車場内での事故・盗難等については、実行委員会は一切責任を負いません。

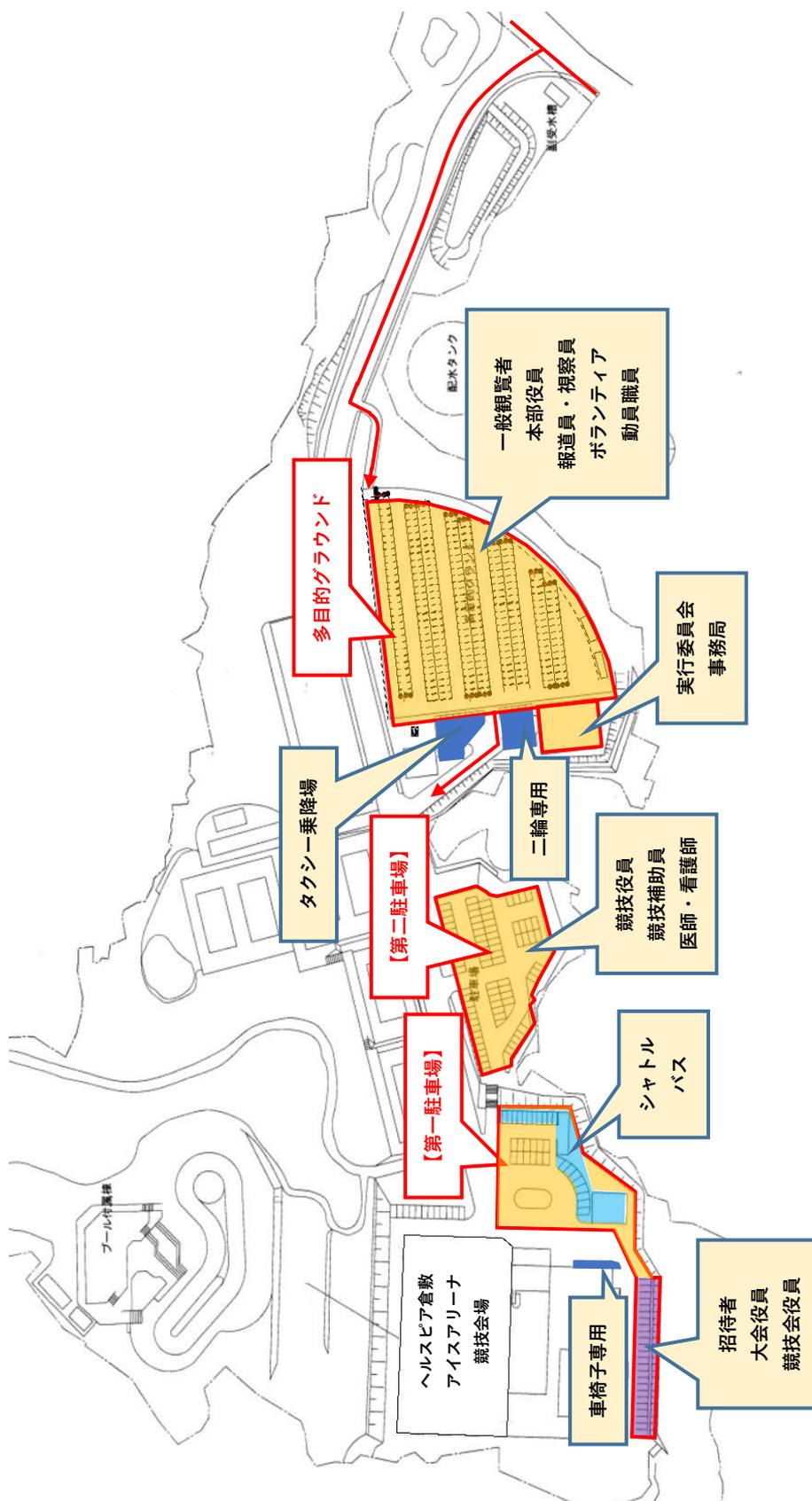
【岡輝公民館 駐車場】



- ・岡輝公民館の駐車場は本部役員/視察・報道員専用です。それ以外の方はご利用いただけませんので、ご注意ください。
- ・岡輝公民館駐車場をご利用の方は事前に送付する駐車許可証を車内の視認できる位置へ掲示してください。
- ・駐車場内での事故・盗難等については、実行委員会は一切責任を負いません。

【大会関係者駐車場】ヘルスピア倉敷アイスアリーナ

第一駐車場・第二駐車場は大会関係者用の駐車場となるため、ADカードが必要となります。



競技記録



大会マスコット「ももっち」

第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会
都道府県別総合成績一覧表

【参考】

番号	都道府県	男女総合成績(天皇杯)						女子総合成績(皇后杯)					
		得点合計	順位	スケート			アイスホッケー			得点合計	順位	スケート	
				競技得点	参加得点	合計	競技得点	参加得点	合計			競技得点	参加得点
1	北海道	242	1	182	10	192	40	10	50	98	3	88	10
2	青森県	110	9	35	10	45	55	10	65	40	11	30	10
3	岩手県	56	16	36	10	46		10	10	20	19	10	10
4	宮城県	43	20	8	10	18	15	10	25	17	20	7	10
5	秋田県	24	26	4	10	14		10	10				
6	山形県	37	22	17	10	27		10	10	21	18	11	10
7	福島県	23	27	3	10	13		10	10	13	23	3	10
8	茨城県	20	28		10	10		10	10	10	24		10
9	栃木県	31	24	11	10	21		10	10	15	21	5	10
10	群馬県	158	5	138	10	148		10	10	43	9	33	10
11	埼玉県	112	7	62	10	72	30	10	40	26	14	16	10
12	千葉県	41	21	21	10	31		10	10	10	24		10
13	東京都	162	4	92	10	102	50	10	60	51	6	41	10
14	神奈川県	108	10	53	10	63	35	10	45	46	8	36	10
15	山梨県	92	12	72	10	82		10	10	53	5	43	10
16	新潟県	20	28		10	10		10	10	10	24		10
17	長野県	230	2	180	10	190	30	10	40	124	1	114	10
18	富山県	45	18	25	10	35		10	10	35	13	25	10
19	石川県	20	28		10	10		10	10	10	24		10
20	福井県	20	28		10	10		10	10				
21	静岡県	20	28		10	10		10	10	10	24		10
22	愛知県	123	6	93	10	103	10	10	20	67	4	57	10
23	三重県	31	24	11	10	21		10	10				
24	岐阜県	44	19	24	10	34		10	10	22	15	12	10
25	滋賀県	112	7	72	10	82	20	10	30	36	12	26	10
26	京都府	86	14	66	10	76		10	10	49	7	39	10
27	大阪府	102	11	32	10	42	50	10	60	14	22	4	10
28	兵庫県	184	3	164	10	174		10	10	100	2	90	10
29	奈良県	20	28		10	10		10	10	10	24		10
30	和歌山県	10	43					10	10				
31	鳥取県	20	28		10	10		10	10	10	24		10
32	島根県	20	28		10	10		10	10				
33	岡山県	59	15	39	10	49		10	10	22	15	12	10
34	広島県	20	28		10	10		10	10	10	24		10
35	山口県	10	43					10	10				
36	香川県	47	17	12	10	22	15	10	25	22	15	12	10
37	徳島県	20	28		10	10		10	10				
38	愛媛県	37	22	17	10	27		10	10	10	24		10
39	高知県	10	43					10	10				
40	福岡県	90	13	60	10	70	10	10	20	41	10	31	10
41	佐賀県	20	28		10	10		10	10	10	24		10
42	長崎県	10	43					10	10				
43	熊本県	20	28		10	10		10	10	10	24		10
44	大分県	20	28		10	10		10	10				
45	宮崎県	20	28		10	10		10	10				
46	鹿児島県	20	28		10	10		10	10	10	24		10
47	沖縄県	10	43					10	10				

スケート競技会



大会マスコット「ももっち」

第79回 国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会 総合成績一覧表

区分	男														子						小計 (A)									
	スピード							ショートトラック							フィギュア			スピード												
	成年			少年				成年			少年				成年	少年	小計	成年												
	500m	1000m	1500m	5000m	2000mR	小計	500m	1000m	1500m	5000m	10000m	2000mR	小計	500m				1000m	1500m	3000m		2000mR	小計							
1	北海道	8	9	6	6	5	34	8	12	15	10	12		57					3	3	94	8	12	5	4	8	37			
2	青森県					3	3			2				2							5	2			1	4	7			
3	岩手県	8	8	8			24						2	2							26	5				5	10			
4	宮城県																1	1			1	4					4			
5	秋田県												4	4							4									
6	山形県							4			1	1		6							6									
7	福島県																								1		2	3		
8	茨城県																													
9	栃木県				6		6														6	1						1		
10	群馬県	6	7	7	15	7	42	11	10	11	10	8	8	58		2	2	3		3								18		
11	埼玉県				1	6	7			1				1				6	8	14	24		24	46						
12	千葉県																				21	21	21							
13	東京都			1			1									8	8	8	7	15	9	18	27	51						
14	神奈川県																	5	6	11	6	6	17							
15	山梨県									2	3	5	10		7	5	4	16		3	3					15	5	6	26	
16	新潟県																													
17	長野県		1	4	8	8	21	2	3	3	13	12	7	40		2	3	5						66	6	13		13	7	39
18	富山県																									11	11	3	25	
19	石川県																													
20	福井県																													
21	静岡県																													
22	愛知県								1				1	2	4		4				21	9	30	36						
23	三重県	7	4				11																	11						
24	岐阜県							4	2				6	12										12		1			1	
25	滋賀県	7	2	3		4	16						3	3	5	3	5	13	4	4	8	6		6	46	2	4	2	8	
26	京都府																				3	24	27	27						
27	大阪府														8		8		2	2	18		18	28						
28	兵庫県		5	7			12	7	8	4				19		13	8	21	2	5	7		15	15	74					
29	奈良県																													
30	和歌山県																													
31	鳥取県																													
32	島根県																													
33	岡山県																				15	12	27	27						
34	広島県																													
35	山口県																													
36	香川県																													
37	徳島県																													
38	愛媛県														6	4	7	17							17					
39	高知県																													
40	福岡県														3		6	9	8		8	12		12	29					
41	佐賀県																													
42	長崎県																													
43	熊本県																													
44	大分県																													
45	宮崎県																													
46	鹿児島県																													
47	沖縄県																													

女子										総合成績																
スピード					ショートトラック					フィギュア			男女総合成績 (天皇杯得点)				女子総合成績 (皇后杯得点)									
少年					成年			少年		成年	少年	小計	小計 (B)	競技得点 (C)	参加得点 (D)	合計 (C+D)	順位	競技得点 (B)	参加得点 (E)	合計 (B+E)	順位					
500m	1000m	1500m	3000m	2000mR	小計	500m	1000m	3000mR	小計	500m	1000m	小計														
14	5	10	11	8	48								3	3	88	182	10	192	1	88	10	98	3			
3	2	3	5	7	20								3		30	35	10	45	15	30	10	40	11			
															10	36	10	46	14	10	10	20	19			
				3	3										7	8	10	18	25	7	10	17	20			
																4	10	14	26							
5	6				11										11	17	10	27	20	11	10	21	18			
															3	3	10	13	27	3	10	13	23			
																	10	10	28		10	10	24			
4					4										5	11	10	21	23	5	10	15	21			
	1	2		5	8		2	5	7						33	138	10	148	4	33	10	43	9			
										7	3	10		6	6	16	62	10	72	10	16	10	26	14		
																	21	10	31	19		10	10	24		
							2	2					18	21	39	41	92	10	102	6	41	10	51	6		
						3		6	9	2	4	6	12	9	21	36	53	10	63	12	36	10	46	8		
	4			6	10			7	7						43	72	10	82	7	43	10	53	5			
																		10	10	28		10	10	24		
7	15	15	15		52		5		5	12	6	18			114	180	10	190	2	114	10	124	1			
																25	25	10	35	17	25	10	35	13		
																		10	10	28		10	10	24		
																		10	10	28						
							8	7		15				24	18	42	57	93	10	103	5	57	10	67	4	
																		11	10	21	23					
2	3	1	1	4	11										12	24	10	34	18	12	10	22	15			
							5	9	4	18					26	72	10	82	7	26	10	36	12			
													15	24	39	39	66	10	76	9	39	10	49	7		
							4			4					4	32	10	42	16	4	10	14	22			
		5	4		9		7	7	8	22	11	12	23	21	15	36	90	164	10	174	3	90	10	100	2	
																			10	10	28		10	10	24	
																			10	10	28		10	10	24	
																			10	10	28					
							6			6				6		6	12	39	10	49	13	12	10	22	15	
																			10	10	28		10	10	24	
														12	12	12	12	10	22	22	12	10	22	15		
																			10	10	28					
																			17	10	27	20		10	10	24
							6		3	9	3	10	13	9		9	31	60	10	70	11	31	10	41	10	
																			10	10	28		10	10	24	
																				10	10	28		10	10	24
																				10	10	28				
																				10	10	28				
																				10	10	28		10	10	24

第79回 国民スポーツ大会 冬季大会 スケート競技会
ショートトラックスピードスケート 競技日程

会場：岡山国際スケートリンク

第1日目 1月27日(月)

時 間	種 目	組	備 考
8:20 ~ 8:30	公 式 練 習		成年男女リレーのみの出場選手
8:30 ~ 8:40	公 式 練 習		成年女子 1000m1組~4組
8:40 ~ 8:50	公 式 練 習		成年女子 1000m5組~6組+1000m補欠
8:50 ~ 9:00	整 氷 (10分)		●男女3000mRオナー縮切 (9:00)
9:00 ~ 9:10	公 式 練 習		成年男子 1000m1組~5組
9:10 ~ 9:20	公 式 練 習		成年男子 1000m6組~8組+1000m補欠
9:20 ~ 9:30	公 式 練 習		少年男子 1000m全員
9:30 ~ 9:40	公 式 練 習		少年女子 1000m全員
9:40 ~ 10:00	整 氷 (全面20分)		
10:00 ~	1 成年女子 3000mR 予選	3	各組1・2位+2チーム通過
	整 氷 (15分)		
	2 成年男子 3000mR 予選	4	各組1・2位通過
	整 氷 (15分)		
	3 成年女子 1000m 予選	6	各組1・2位+各ブロックで2名通過
	整 氷 (15分)		
	4 成年男子 1000m 予選	8	各組1・2位通過
	整 氷 (15分)		
	5 少年男子 1000m 予選	6	各組1・2位+各ブロックで2名通過
	整 氷 (全面40分)		
	6 成年女子 1000m 準々決勝	4	各組1・2位通過
	7 成年男子 1000m 準々決勝	4	各組1・2位通過
	整 氷 (15分)		
	8 少年女子 1000m 予選	4	各組1・2位通過
	9 少年男子 1000m 準々決勝	4	各組1・2位通過
	整 氷 (15分)		
	10 成年女子 1000m 準決勝	2	各組1・2位がA決勝、3・4位がB決勝
	11 成年男子 1000m 準決勝	2	各組1・2位がA決勝、3・4位がB決勝
	12 少年女子 1000m 準決勝	2	各組1・2位がA決勝、3・4位がB決勝
	13 少年男子 1000m 準決勝	2	各組1・2位がA決勝、3・4位がB決勝
	整 氷 (全面20分)		●男女3000mRオナー縮切 (14番の開始前まで)
	14 成年女子 1000m B決勝	1	
	15 成年女子 1000m A決勝	1	
16 成年男子 1000m B決勝	1		
17 成年男子 1000m A決勝	1		
18 少年女子 1000m B決勝	1		
19 少年女子 1000m A決勝	1		
20 少年男子 1000m B決勝	1		
21 少年男子 1000m A決勝	1		
整 氷 (全面20分)			
22 成年女子 3000mR 準決勝	2	各組1・2位がA決勝、3・4位がB決勝	
23 成年男子 3000mR 準決勝	2	各組1・2位がA決勝、3・4位がB決勝	
競技終了予定 18:00	競技終了後、表彰式 (少年女子・男子1000m、成年女子・男子1000m)を行いません。		

第79回 国民スポーツ大会 冬季大会 スケート競技会
 ショートトラックスピードスケート 競技日程

会場：岡山国際スケートリンク

第2日目 1月28日(火)

時 間	種 目	組	備 考
8:30 ~ 8:40	公 式 練 習		成年女子 500m 1組~4組
8:40 ~ 8:50	公 式 練 習		成年女子 500m 5組~6組+500m補欠
8:50 ~ 9:00	整 氷 (10分)		
9:00 ~ 9:10	公 式 練 習		成年男子 500m 1組~5組
9:10 ~ 9:20	公 式 練 習		成年男子 500m 6組~8組+500m補欠
9:20 ~ 9:30	公 式 練 習		少年男子 500m 全員
9:30 ~ 9:40	公 式 練 習		少年女子 500m 全員
9:40 ~ 10:00	整 氷 (全面20分)		
10:00 ~	24 成年女子 500m 予選	6	各組1・2位+各ブロックで2名通過
	整 氷 (15分)		
	25 成年男子 500m 予選	8	各組1・2位通過
	整 氷 (15分)		
	26 少年男子 500m 予選	6	各組1・2位+各ブロックで2名通過
	整 氷 (15分)		
	27 成年女子 500m 準々決勝	4	各組1・2位通過
	28 成年男子 500m 準々決勝	4	各組1・2位通過
	整 氷 (15分)		
	29 少年女子 500m 予選	4	各組1・2位通過
	30 少年男子 500m 準々決勝	4	各組1・2位通過
	整 氷 (30分)		
	31 成年女子 500m 準決勝	2	各組1・2位がA決勝、3・4位がB決勝
	32 成年男子 500m 準決勝	2	各組1・2位がA決勝、3・4位がB決勝
	33 少年女子 500m 準決勝	2	各組1・2位がA決勝、3・4位がB決勝
	34 少年男子 500m 準決勝	2	各組1・2位がA決勝、3・4位がB決勝
	公 式 練 習 (10分)		成年男女リレーのみの出場選手
	整 氷 (全面20分)		
	35 成年女子 500m B決勝	1	●男女リレーオーダー締切 (35番の開始前まで)
	36 成年女子 500m A決勝	1	
	37 成年男子 500m B決勝	1	
	38 成年男子 500m A決勝	1	
	39 少年女子 500m B決勝	1	
	40 少年女子 500m A決勝	1	
	41 少年男子 500m B決勝	1	
	42 少年男子 500m A決勝	1	
	整 氷 (全面20分)		
	43 成年女子 3000mリレー B決勝	1	
	44 成年女子 3000mリレー A決勝	1	
	45 成年男子 5000mリレー B決勝	1	
	46 成年男子 5000mリレー A決勝	1	
競技終了予定 15:45	競技終了後、表彰式 (少年男女500m、成年男女500m、成年男女リレー) を行います。		

ショートトラック競技入賞者

成年男子500m

大会記録41秒130 吉永 一貴(愛知県) 2021年特別大会(愛知)

順位	氏名	都道府県名	所要タイム	備考
1	和田 拓実	大阪府	41.637	
2	古川 翼	山梨県	41.707	
3	越智 大翔	愛媛県	41.717	
4	貴志 洸祐	滋賀県	42.896	
5	横山 大希	愛知県	45.132	
6	田平 修大	福岡県	46.515	

成年男子1000m

大会記録1分24秒802 宮田 将吾(大阪府) 2024年第78回大会(苫小牧)

順位	氏名	都道府県名	所要タイム	備考
1	岩佐 暖	東京都	1:36.846	
2	松林 佑倭	兵庫県	1:36.953	
3	三好 瑛久	兵庫県	1:37.145	
4	古川 翼	山梨県	1:37.413	
5	越智 大翔	愛媛県	1:34.577	
6	安藤 蒼人	滋賀県	1:34.630	
7	菊池 耕太	長野県	1:40.550	

成年男子5000mR

大会記録7分02秒218 大阪府(三澤・上村・豊福・松平) 2017年第72回大会(長野)

順位	都道府県名	所要タイム	備考
1	兵庫県	7:08.837	
2	愛媛県	7:11.343	
3	福岡県	7:23.576	
4	滋賀県	7:32.725	
5	山梨県	7:34.144	
6	長野県	7:39.404	
7	群馬県	7:39.432	

成年女子500m

大会記録43秒976 神長 汐音(長野県) 2021年第76回大会(愛知)

順位	氏名	都道府県名	所要タイム	備考
1	渡邊 碧	愛知県	45.890	
2	嶋田 利渚	兵庫県	46.196	
3	権丈 若葉	福岡県	46.289	
4	山名 里奈	滋賀県	1:00.955	
5	上田 ゆりあ	大阪府	48.112	
6	別所 美和	神奈川県	48.196	

成年女子1000m

大会記録1分30秒666 神長 汐音(長野県) 2021年第76回大会(愛知)

順位	氏名	都道府県名	所要タイム	備考
1	山名 里奈	滋賀県	1:36.517	
2	渡邊 碧	愛知県	1:36.582	
3	中島 未莉	岡山県	1:36.711	
4	宮下 心夢	長野県	1:36.937	
5	島根 くるみ	兵庫県	1:38.777	
6	嶋田 利渚	兵庫県	1:38.861	
7	栲瀬 ななみ	群馬県	1:38.950	
8	石井 更紗	滋賀県	1:39.171	

成年女子3000mR

大会記録4分15秒655 長野県(神長・菊池・小池・南里) 2021年第76回大会(愛知)

順位	都道府県名	所要タイム	備考
1	兵庫県	4:28.815	
2	山梨県	4:32.017	
3	神奈川県	4:32.082	
4	群馬県	4:33.781	
5	滋賀県	4:50.818	
6	福岡県	4:56.083	
7	東京都	4:58.665	

少年男子500m

大会記録41秒462 宮田 将吾(大阪府) 2021年第76回大会(愛知)

順位	氏名	都道府県名	所要タイム	備考
1	鬼田 来人	東京都	42.869	
2	播磨 亮汰	福岡県	43.043	
3	島村 優太	埼玉県	43.083	
4	高木 省吾	神奈川県	43.513	
5	森岡 空良	滋賀県	44.043	
6	丸山 左右吾	群馬県	44.305	
7	山口 透空	兵庫県	44.455	
8	馬場 雄大	福岡県	44.970	

少年男子1000m

大会記録1分28秒682 渡邊 瑠(東京都) 2014年第69回大会(日光)

順位	氏名	都道府県名	所要タイム	備考
1	島村 優太	埼玉県	1:30.886	
2	鬼田 来人	東京都	1:31.907	
3	高木 省吾	神奈川県	1:32.094	
4	山口 透空	兵庫県	1:32.699	
5	森岡 空良	滋賀県	1:39.012	
6	矢崎 雅登	山梨県	1:39.226	
7	渡部 稜太	大阪府	1:40.021	
8	田中 達也	宮城県	1:40.579	

少年女子500m

大会記録45秒526 金井 莉佳(埼玉県) 2024年第78回大会(苫小牧)

順位	氏名	都道府県名	所要タイム	備考
1	仲野 六花	長野県	46.988	
2	奥野 湖々奈	埼玉県	47.211	
3	田中 梨椰	兵庫県	47.615	
4	石川 明美	兵庫県	46.517	
5	吉澤 葵	長野県	46.612	
6	江平 千優	福岡県	46.662	
7	桐生 希	神奈川県	49.376	

少年女子1000m

大会記録1分31秒953 黒川 輝衣(東京都) 2017年第72回大会(長野)

順位	氏名	都道府県名	所要タイム	備考
1	井上 暖乃美	福岡県	1:35.619	
2	石川 明美	兵庫県	1:35.744	
3	仲野 六花	長野県	1:35.871	
4	田中 梨椰	兵庫県	1:37.813	
5	桐生 希	神奈川県	1:39.589	
6	奥野 湖々奈	埼玉県	1:38.457	
7	江平 千優	福岡県	1:38.584	

第79回国民スポーツ大会冬季大会 スケート競技会
フィギュア競技会日程

ヘルスピア倉敷

日時	1月26日(日)	日時	1月27日(月)	日時	1月28日(火)	日時	1月29日(水)	日時	1月30日(木)
6:00		開場	開場	開場	開場	開場	開場	開場	
7:00		少男 S P 練習 G1(8) 1~8 G2(8) 9~16 整氷 G3(8) 17~24 G4(8) 25~32	少年男子 S P 競技 1G(5) 1~5 2G(5) 6~10 3G(5) 11~15 整氷 4G(5) 16~20 5G(6) 21~26 6G(6) 27~32	少年男子 S P 競技 1G(5) 1~5 2G(5) 6~10 3G(5) 11~15 整氷 4G(5) 16~20 5G(6) 21~26 6G(6) 27~32	少年男子 S P 競技 1G(5) 1~5 2G(5) 6~10 3G(5) 11~15 整氷 4G(5) 16~20 5G(6) 21~26 6G(6) 27~32	少年男子 S P 競技 1G(5) 1~5 2G(5) 6~10 3G(5) 11~15 整氷 4G(5) 16~20 5G(6) 21~26 6G(6) 27~32	少年男子 S P 競技 1G(5) 1~5 2G(5) 6~10 3G(5) 11~15 整氷 4G(5) 16~20 5G(6) 21~26 6G(6) 27~32	少年男子 S P 競技 1G(5) 1~5 2G(5) 6~10 3G(5) 11~15 整氷 4G(5) 16~20 5G(6) 21~26 6G(6) 27~32	
8:00		少女 S P 練習 G1(8) 1~8 G2(8) 9~16 整氷 G3(8) 17~24 G4(8) 25~32	少年女子 S P 競技 1G(5) 1~5 2G(5) 6~10 3G(5) 11~15 整氷 4G(5) 16~20 5G(6) 21~26 6G(6) 27~32	少年女子 S P 競技 1G(5) 1~5 2G(5) 6~10 3G(5) 11~15 整氷 4G(5) 16~20 5G(6) 21~26 6G(6) 27~32	少年女子 S P 競技 1G(5) 1~5 2G(5) 6~10 3G(5) 11~15 整氷 4G(5) 16~20 5G(6) 21~26 6G(6) 27~32	少年女子 S P 競技 1G(5) 1~5 2G(5) 6~10 3G(5) 11~15 整氷 4G(5) 16~20 5G(6) 21~26 6G(6) 27~32	少年女子 S P 競技 1G(5) 1~5 2G(5) 6~10 3G(5) 11~15 整氷 4G(5) 16~20 5G(6) 21~26 6G(6) 27~32	少年女子 S P 競技 1G(5) 1~5 2G(5) 6~10 3G(5) 11~15 整氷 4G(5) 16~20 5G(6) 21~26 6G(6) 27~32	
9:00		T0会議 赤パネル T0会議 青パネル	T0会議 赤パネル T0会議 青パネル	T0会議 赤パネル T0会議 青パネル	T0会議 赤パネル T0会議 青パネル	T0会議 赤パネル T0会議 青パネル	T0会議 赤パネル T0会議 青パネル	T0会議 赤パネル T0会議 青パネル	
10:00		審判会議 青パネル	審判会議 青パネル	審判会議 青パネル	審判会議 青パネル	審判会議 青パネル	審判会議 青パネル	審判会議 青パネル	
11:00		成年男子 S P 練習 G1(8) 1~8 G2(8) 9~16 整氷 G3(8) 17~24 G4(8) 25~32	成年男子 S P 競技 1G(5) 1~5 2G(5) 6~10 3G(5) 11~15 整氷 4G(5) 16~20 5G(6) 21~26 6G(6) 27~32	成年男子 S P 競技 1G(5) 1~5 2G(5) 6~10 3G(5) 11~15 整氷 4G(5) 16~20 5G(6) 21~26 6G(6) 27~32	成年男子 S P 競技 1G(5) 1~5 2G(5) 6~10 3G(5) 11~15 整氷 4G(5) 16~20 5G(6) 21~26 6G(6) 27~32	成年男子 S P 競技 1G(5) 1~5 2G(5) 6~10 3G(5) 11~15 整氷 4G(5) 16~20 5G(6) 21~26 6G(6) 27~32	成年男子 S P 競技 1G(5) 1~5 2G(5) 6~10 3G(5) 11~15 整氷 4G(5) 16~20 5G(6) 21~26 6G(6) 27~32	成年男子 S P 競技 1G(5) 1~5 2G(5) 6~10 3G(5) 11~15 整氷 4G(5) 16~20 5G(6) 21~26 6G(6) 27~32	
12:00		成年女子 S P 練習 G1(8) 1~8 G2(8) 9~16 整氷 G3(8) 17~24 G4(8) 25~32	成年女子 S P 競技 1G(5) 1~5 2G(5) 6~10 3G(5) 11~15 整氷 4G(5) 16~20 5G(6) 21~26 6G(6) 27~32	成年女子 S P 競技 1G(5) 1~5 2G(5) 6~10 3G(5) 11~15 整氷 4G(5) 16~20 5G(6) 21~26 6G(6) 27~32	成年女子 S P 競技 1G(5) 1~5 2G(5) 6~10 3G(5) 11~15 整氷 4G(5) 16~20 5G(6) 21~26 6G(6) 27~32	成年女子 S P 競技 1G(5) 1~5 2G(5) 6~10 3G(5) 11~15 整氷 4G(5) 16~20 5G(6) 21~26 6G(6) 27~32	成年女子 S P 競技 1G(5) 1~5 2G(5) 6~10 3G(5) 11~15 整氷 4G(5) 16~20 5G(6) 21~26 6G(6) 27~32	成年女子 S P 競技 1G(5) 1~5 2G(5) 6~10 3G(5) 11~15 整氷 4G(5) 16~20 5G(6) 21~26 6G(6) 27~32	
13:00	12:30 R/TC 会議 13:30 監督会議	成年女子 F S 練習 G1(8) 1~8 G2(8) 9~16 整氷 G3(8) 17~24 G4(8) 25~32	成年女子 F S 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年女子 F S 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年女子 F S 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年女子 F S 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年女子 F S 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年女子 F S 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	
14:00	開場	審判会議 赤パネル	審判会議 赤パネル	審判会議 赤パネル	審判会議 赤パネル	審判会議 赤パネル	審判会議 赤パネル	審判会議 赤パネル	
15:00	都道府県公式練習 ①岡山 ②福岡 ③香川/広島 ④兵庫 整氷 ⑤大阪 ⑥京都 ⑦鳥取/滋賀/静岡 ⑧愛知 整氷 ⑨神奈川 ⑩東京 ⑪千葉 ⑫埼玉 整氷 ⑬石川/新潟/群馬 ⑭長野/栃木/宮城 ⑮茨城/青森 ⑯北海道	成年男子 F S 練習 G1(8) 1~8 G2(8) 9~16 整氷 G3(8) 17~24 G4(8) 25~32	成年男子 F S 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年男子 F S 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年男子 F S 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年男子 F S 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年男子 F S 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年男子 F S 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	
16:00		成年女子 F S 練習 G1(8) 1~8 G2(8) 9~16 整氷 G3(8) 17~24 G4(8) 25~32	成年女子 F S 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年女子 F S 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年女子 F S 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年女子 F S 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年女子 F S 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年女子 F S 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	
17:00		成年男子 S P 練習 G1(8) 1~8 G2(8) 9~16 整氷 G3(8) 17~24 G4(8) 25~32	成年男子 S P 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年男子 S P 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年男子 S P 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年男子 S P 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年男子 S P 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年男子 S P 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	
18:00		成年女子 S P 練習 G1(8) 1~8 G2(8) 9~16 整氷 G3(8) 17~24 G4(8) 25~32	成年女子 S P 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年女子 S P 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年女子 S P 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年女子 S P 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年女子 S P 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年女子 S P 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	
19:00		成年男子 F S 練習 G1(8) 1~8 G2(8) 9~16 整氷 G3(8) 17~24 G4(8) 25~32	成年男子 F S 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年男子 F S 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年男子 F S 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年男子 F S 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年男子 F S 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年男子 F S 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	
20:00		成年女子 F S 練習 G1(8) 1~8 G2(8) 9~16 整氷 G3(8) 17~24 G4(8) 25~32	成年女子 F S 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年女子 F S 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年女子 F S 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年女子 F S 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年女子 F S 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年女子 F S 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	
21:00		成年男子 S P 練習 G1(8) 1~8 G2(8) 9~16 整氷 G3(8) 17~24 G4(8) 25~32	成年男子 S P 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年男子 S P 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年男子 S P 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年男子 S P 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年男子 S P 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年男子 S P 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	
22:00		成年女子 S P 練習 G1(8) 1~8 G2(8) 9~16 整氷 G3(8) 17~24 G4(8) 25~32	成年女子 S P 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年女子 S P 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年女子 S P 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年女子 S P 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年女子 S P 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	成年女子 S P 競技 1G(6) 1~6 2G(6) 7~12 3G(6) 13~18 4G(6) 19~24	

※タイムスケジュールは競技進行状況により、変更になる場合がありますのでご注意ください。

フィギュア競技入賞者

成年男子

順位	都道府県名	選手名	順位	選手名	順位	個人順位計	競技得点
1	埼玉県	佐藤 駿	1	大島 光翔	6	7	24.00
2	愛知県	壺井 達也	2	中村 俊介	5	7	21.00
3	大阪府	友野 一希	3	織田 信成	4	7	18.00
4	岡山県	三宅 星南	8	杉山 匠海	9	17	15.00
5	福岡県	戸田 晴登	10	松岡 隼矢	13	23	12.00
6	東京都	菊地 竜生	11	鈴木 楽人	16	27	9.00
7	滋賀県	本田 ルーカス剛史	12	小林 隼	23	35	6.00
8	京都府	前川 裕士	15	彦阪 昇吾	20	35	3.00

成年女子

順位	都道府県名	選手名	順位	選手名	順位	個人順位計	競技得点
1	愛知県	山下 真瑚	5	松生 理乃	6	11	24.00
2	兵庫県	坂本 花織	1	籠谷 歩未	11	12	21.00
3	東京都	住吉 りをん	3	元榮 愛子	14	17	18.00
4	京都府	千葉 百音	2	前野 百花	17	19	15.00
5	神奈川県	青木 祐奈	4	高橋 舞	15	19	12.00
6	福岡県	江川 マリア	8	鴨井 彬莉彩	13	21	9.00
7	岡山県	三宅 咲綺	7	岡本 真綸	16	23	6.00
8	青森県	渡辺 倫果	9	聖前 埜乃華	20	29	3.00

少年男子

順位	都道府県名	選手名	順位	選手名	順位	個人順位計	競技得点
1	京都府	高橋 星名	2	森本 涼雅	5	7	24.00
2	千葉県	中田 璃士	1	周藤 集	7	8	21.00
3	東京都	蛭原 大弥	4	田中 蓮音	8	12	18.00
4	兵庫県	垣内 珀琉	3	佐藤 光	16	19	15.00
5	岡山県	植村 駿	10	小河原 泉颯	11	21	12.00
6	愛知県	田内 誠悟	9	佐藤 和那	14	23	9.00
7	神奈川県	西野 太翔	6	丹羽 遥珂	23	29	6.00
8	北海道	武田 結仁	12	西本 那音	19	31	3.00

少年女子

順位	都道府県名	選手名	順位	選手名	順位	個人順位計	競技得点
1	京都府	岡 万佑子	2	山田 恵	4	6	24.00
2	東京都	高木 謠	1	奥野 友莉菜	7	8	21.00
3	愛知県	櫛田 育良	3	和田 薫子	5	8	18.00
4	兵庫県	村上 遥奈	6	重田 美星	8	14	15.00
5	香川県	横田 胡幸	11	木村 芽愛	15	26	12.00
6	神奈川県	八田 琴子	12	杉本 羽美	16	28	9.00
7	埼玉県	千葉 美乃花	10	藤沼 聖空	19	29	6.00
8	北海道	岩本 愛子	9	加藤 杏望	22	31	3.00

アイスホッケー競技会



大会マスコット「ももっち」

第79回国民スポーツ大会冬季大会アイスホッケー競技会 総合成績一覧表

No.	種別 順位得点	成年男子		少年男子		総合成績(天皇杯得点)			
		競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点 合計	参加得点	合計	順位
	都道府県名								
1	北海道			40	1	40	10	50	4
2	青森県	20	5	35	2	55	10	65	1
3	岩手県						10	10	13
4	宮城県			15	6	15	10	25	9
5	秋田県						10	10	13
6	山形県						10	10	13
7	福島県						10	10	13
8	茨城県						10	10	13
9	栃木県						10	10	13
10	群馬県						10	10	13
11	埼玉県			30	3	30	10	40	6
12	千葉県						10	10	13
13	東京都	40	1	10	7	50	10	60	2
14	神奈川県	35	2			35	10	45	5
15	山梨県						10	10	13
16	新潟県						10	10	13
17	長野県	30	3			30	10	40	6
18	富山県						10	10	13
19	石川県						10	10	13
20	福井県						10	10	13
21	静岡県						10	10	13
22	愛知県	10	7			10	10	20	11
23	三重県						10	10	13
24	岐阜県						10	10	13
25	滋賀県			20	5	20	10	30	8
26	京都府						10	10	13
27	大阪府	25	4	25	4	50	10	60	2
28	兵庫県						10	10	13
29	奈良県						10	10	13
30	和歌山県						10	10	13
31	鳥取県						10	10	13
32	島根県						10	10	13
33	岡山県						10	10	13
34	広島県						10	10	13
35	山口県						10	10	13
36	香川県	15	6			15	10	25	9
37	徳島県						10	10	13
38	愛媛県						10	10	13
39	高知県						10	10	13
40	福岡県	5	8	5	8	10	10	20	11
41	佐賀県						10	10	13
42	長崎県						10	10	13
43	熊本県						10	10	13
44	大分県						10	10	13
45	宮崎県						10	10	13
46	鹿児島県						10	10	13
47	沖縄県						10	10	13

第79回国民スポーツ大会冬季アイスホッケー競技会 日程表

2/1 (土)	リンク \ 時間	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
1 日目	A 岡山国際スケートリンク			成年1回戦(1)	成年1回戦(2)	成年1回戦(3)	成年1回戦(4)	成年1回戦(5)	成年1回戦(6)	成年1回戦(7)	成年1回戦(8)	成年1回戦(9)	成年1回戦(10)	公式練習 (少年)		
	B ヘルスピア倉敷アイスアリーナ			成年1回戦(6)	成年1回戦(7)	成年1回戦(8)	成年1回戦(9)	成年1回戦(10)	成年1回戦(11)	成年1回戦(12)	成年1回戦(13)	成年1回戦(14)	成年1回戦(15)	成年1回戦(16)	成年1回戦(17)	成年1回戦(18)

2/2 (日)	リンク \ 時間	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
2 日目	A 岡山国際スケートリンク		成年2回戦(11)	成年2回戦(12)	成年2回戦(13)	成年2回戦(14)	成年2回戦(15)	成年2回戦(16)	成年2回戦(17)	成年2回戦(18)	成年2回戦(19)	成年2回戦(20)	成年2回戦(21)	成年2回戦(22)	成年2回戦(23)	成年2回戦(24)
	B ヘルスピア倉敷アイスアリーナ		少年1回戦(1)	少年1回戦(2)	少年1回戦(3)	少年1回戦(4)	少年1回戦(5)	少年1回戦(6)	少年1回戦(7)	少年1回戦(8)	少年1回戦(9)	少年1回戦(10)	少年1回戦(11)	少年1回戦(12)	少年1回戦(13)	少年1回戦(14)

2/3 (月)	リンク \ 時間	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
3 日目	A 岡山国際スケートリンク			成年準々決勝(19)	成年準々決勝(20)	成年準々決勝(21)	成年準々決勝(22)	成年準々決勝(23)	成年準々決勝(24)	成年準々決勝(25)	成年準々決勝(26)	成年準々決勝(27)	成年準々決勝(28)	成年準々決勝(29)	成年準々決勝(30)	
	B ヘルスピア倉敷アイスアリーナ			少年準々決勝(6)	少年準々決勝(7)	少年準々決勝(8)	少年準々決勝(9)	少年準々決勝(10)	少年準々決勝(11)	少年準々決勝(12)	少年準々決勝(13)	少年準々決勝(14)	少年準々決勝(15)	少年準々決勝(16)	少年準々決勝(17)	少年準々決勝(18)

2/4 (火)	リンク \ 時間	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
4 日目	A 岡山国際スケートリンク			成年順位戦(24)	成年準決勝(25)	成年準決勝(26)	成年準決勝(27)	成年準決勝(28)	成年準決勝(29)	成年準決勝(30)	成年準決勝(31)	成年準決勝(32)	成年準決勝(33)	成年準決勝(34)	成年準決勝(35)	成年準決勝(36)
	B ヘルスピア倉敷アイスアリーナ			少年順位戦(11)	少年準決勝(12)	少年準決勝(13)	少年準決勝(14)	少年準決勝(15)	少年準決勝(16)	少年準決勝(17)	少年準決勝(18)	少年準決勝(19)	少年準決勝(20)	少年準決勝(21)	少年準決勝(22)	少年準決勝(23)

2/5 (水)	リンク \ 時間	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
5 日目	A 岡山国際スケートリンク			成年3/4位決定戦(29)	成年決勝(30)	成年準決勝(31)	成年準決勝(32)	成年準決勝(33)	成年準決勝(34)	成年準決勝(35)	成年準決勝(36)	成年準決勝(37)	成年準決勝(38)	成年準決勝(39)	成年準決勝(40)	成年準決勝(41)
	B ヘルスピア倉敷アイスアリーナ			少年3/4位決定戦(16)	少年決勝(17)	少年準決勝(18)	少年準決勝(19)	少年準決勝(20)	少年準決勝(21)	少年準決勝(22)	少年準決勝(23)	少年準決勝(24)	少年準決勝(25)	少年準決勝(26)	少年準決勝(27)	少年準決勝(28)

アイスホッケー競技会（成年男子）トーナメント表

会場	A	岡山国際スケートリンク	B	ヘルスピア倉敷アイスアリーナ
北海道	1	(13) 2/2 2		
福井県	2	(1) 2/1 12:00 A 2		
神奈川県	3	9:00 A 10	(20) 2/3 6	
富山県	4	(2) 2/1 5	11:00 A 1	
広島県	5	11:00 A 1	(11) 2/2 2	
熊本県	6	(3) 2/1 1	8:00 A 4	
香川県	7	13:00 A 9	(25) 2/4 8	
岩手県	8		11:00 A 3	
兵庫県	9	(7) 2/1 1	18:00 B 6	1位 東京都
福岡県	10	11:00 B 5	(19) 2/3 1	
栃木県	11	(6) 2/1 16	9:00 A 6	2位 神奈川県
愛媛県	12	9:00 B 0	(12) 2/2 0	
大阪府	13		10:00 A 1	
長野県	14		(30) 2/5 6	3位 長野県
福島県	15	(15) 2/2 10	11:30 A 8	
沖縄県	16	(4) 2/1 6	16:00 A 2	4位 大阪府
和歌山県	17	15:00 A 7	(22) 2/3 3	
岡山県	18	(5) 2/1 5	15:00 A 0	5位 青森県
愛知県	19	17:00 A 3	(18) 2/2 3	
京都府	20	(9) 2/1 11	20:00 A 4	6位 香川県
鹿児島県	21	15:00 B 0	(26) 2/4 2	
青森県	22	(16) 2/2 3	13:30 A 6	7位 愛知県
千葉県	23	(10) 2/1 5	(21) 2/3 3	
宮城県	24	17:00 B 1	13:00 A 4	8位 福岡県
埼玉県	25	(8) 2/1 2		
東京都	26	13:00 B 6	(14) 2/2 2	
		14:00 A 4		
7・8位決定戦		香川県	(23) 2/3 4	5・6位決定戦
		福岡県	17:00 A 3	
		愛知県	(24) 2/4 1	3・4位決定戦
		青森県	9:00 A 5	
		(27) 2/4 1	(28) 2/4 0	
		16:00 A 2	18:00 A 11	
				大阪府
				長野県
				(29) 2/5 4
				9:00 A 5

ゲームNo 試合月日
開始予定時刻 会場

ブロック	出場枠	都道府県	ブロック	出場枠	都道府県
北海道	1	北海道	近畿	4	京都府 大阪府 兵庫県 和歌山県
東北	4	青森県 岩手県 宮城県 福島県	中国・四国	3	広島県 香川県 愛媛県
関東	5	栃木県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	九州	4	福岡県 熊本県 鹿児島県 沖縄県
北信越・東海	4	長野県 富山県 福井県 愛知県	開催地	1	岡山県

アイスホッケー競技 得点表

【成年の部】

【 1 回 戦 】

(1)	ヒリホト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	福井県		1	1	0	0	0	2
	神奈川県		1	8	1	0	0	10

(2)	ヒリホト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	富山県		0	2	3	0	0	5
	広島県		0	1	0	0	0	1

(3)	ヒリホト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	熊本県		0	1	0	0	0	1
	香川県		3	1	5	0	0	9

(4)	ヒリホト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	福島県		0	3	3	0	0	6
	沖縄県		2	3	1	0	1	7

(5)	ヒリホト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	和歌山県		1	1	3	0	0	5
	岡山県		1	2	0	0	0	3

(6)	ヒリホト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	栃木県		3	8	5	0	0	16
	愛媛県		0	0	0	0	0	0

(7)	ヒリホト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	兵庫県		1	0	0	0	0	1
	福岡県		2	2	1	0	0	5

(8)	ヒリホト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	宮城県		1	1	0	0	0	2
	埼玉県		2	3	1	0	0	6

(9)	ヒリホト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	京都府		1	6	4	0	0	11
	鹿児島県		0	0	0	0	0	0

(10)	ヒリホト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	青森県		1	3	1	0	0	5
	千葉県		0	1	0	0	0	1

【 2 回 戦 】

(11)	ヒリホト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	富山県		2	0	0	0	0	2
	香川県		2	1	1	0	0	4

(12)	ヒリホト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	栃木県		0	0	0	0	0	0
	大阪府		0	1	0	0	0	1

(13)	ヒリホト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	北海道		1	1	0	0	0	2
	神奈川県		1	4	1	0	0	6

(14)	ヒリホト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	埼玉県		0	2	0	0	0	2
	東京都		1	2	1	0	0	4

(15)	ヒリホト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	長野県		4	3	3	0	0	10
	沖縄県		0	1	1	0	0	2

(16)	ヒリホト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	京都府		0	2	1	0	0	3
	青森県		2	0	1	0	1	4

(17)	ヒリホト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	岩手県		0	2	2	0	0	4
	福岡県		2	1	3	0	0	6

(18)	ヒリホト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	和歌山県		1	0	2	0	0	3
	愛知県		1	1	1	0	1	4

【 準々決勝戦 】

(19)	チーム \ エリト	I	II	III	OVT	GWS	計
	福岡県	0	1	0	0	0	1
大阪府	4	1	1	0	0	6	

(20)	チーム \ エリト	I	II	III	OVT	GWS	計
	神奈川県	3	1	2	0	0	6
香川県	0	0	1	0	0	1	

(21)	チーム \ エリト	I	II	III	OVT	GWS	計
	青森県	2	0	1	0	0	3
東京都	1	0	2	0	1	4	

(22)	チーム \ エリト	I	II	III	OVT	GWS	計
	長野県	1	0	2	0	0	3
愛知県	0	0	0	0	0	0	

【 順位決定戦 】

(23)	チーム \ エリト	I	II	III	OVT	GWS	計
	香川県	2	0	1	0	1	4
福岡県	0	1	2	0	0	3	

(24)	チーム \ エリト	I	II	III	OVT	GWS	計
	愛知県	1	0	0	0	0	1
青森県	0	4	1	0	0	5	

【 準決勝戦 】

(25)	チーム \ エリト	I	II	III	OVT	GWS	計
	神奈川県	3	3	2	0	0	8
大阪府	1	1	1	0	0	3	

(26)	チーム \ エリト	I	II	III	OVT	GWS	計
	長野県	1	1	0	0	0	2
東京都	1	3	2	0	0	6	

【 7・8位決定戦 】

(27)	チーム \ エリト	I	II	III	OVT	GWS	計
	福岡県	0	0	1	0	0	1
愛知県	0	1	0	0	1	2	

【 5・6位決定戦 】

(28)	チーム \ エリト	I	II	III	OVT	GWS	計
	香川県	0	0	0	0	0	0
青森県	4	4	3	0	0	11	

【 3・4位決定戦 】

(29)	チーム \ エリト	I	II	III	OVT	GWS	計
	大阪府	2	1	1	0	0	4
長野県	1	2	1	0	1	5	

【 決勝戦 】

(30)	チーム \ エリト	I	II	III	OVT	GWS	計
	神奈川県	2	2	2	0	0	6
東京都	4	2	2	0	0	8	

アイスホッケー競技順位一覧表

順位	1	2	3	4	5	6	7	8
都道府県	東京都	神奈川県	長野県	大阪府	青森県	香川県	愛知県	福岡県
競技得点	40	35	30	25	20	15	10	5

アイスホッケー競技会（少年男子） トーナメント表

会場	ヘルスピア倉敷アイスアリーナ	
北海道	1	
宮城県	2	
長野県	3	
埼玉県	4	
神奈川県	5	
東京都	6	
栃木県	7	
大阪府	8	
熊本県	9	
福岡県	10	
滋賀県	11	
岡山県	12	
青森県	13	

ゲームNo 試合月日
開始予定時刻

- 1位 北海道
- 2位 青森県
- 3位 埼玉県
- 4位 大阪府
- 5位 滋賀県
- 6位 宮城県
- 7位 東京都
- 8位 福岡県

7・8位決定戦		5・6位決定戦		3・4位決定戦	
東京都	⑩ 2/3 17:00	1	宮城県	⑮ 2/4 18:00	2
宮城県	⑪ 2/4 9:00	2	滋賀県	⑬ 2/4 13:30	0
滋賀県	⑫ 2/4 11:30	2	福岡県	⑭ 2/4 16:00	3
福岡県	⑬ 2/4 13:30	0	埼玉県	⑯ 2/5 9:00	12
埼玉県	⑭ 2/4 16:00	9	大阪府	⑰ 2/5 11:30	2
大阪府	⑮ 2/4 18:00	3			

ブロック	出場枠	都道府県	ブロック	出場枠	都道府県
北海道	1	北海道	北信越・東海・近畿	3	長野県 滋賀県 大阪府
東北	2	青森県 宮城県	中国・四国・九州	2	福岡県 熊本県
関東	4	栃木県 埼玉県 東京都 神奈川県	開催地	1	岡山県

アイスホッケー競技 得点表

【少年の部】

【 1 回 戦 】

①	E リフト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	宮城県		0	0	1	0	0	1
	長野県		0	0	0	0	0	0

②	E リフト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	埼玉県		0	1	4	0	0	5
	神奈川県		0	1	1	0	0	2

③	E リフト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	東京都		4	2	0	0	0	6
	栃木県		2	1	2	0	0	5

④	E リフト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	熊本県		0	0	0	0	0	0
	福岡県		5	2	4	0	0	11

⑤	E リフト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	滋賀県		0	4	1	0	0	5
	岡山県		0	0	1	0	0	1

【 準々決勝戦 】

⑥	E リフト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	埼玉県		4	3	1	0	0	8
	東京都		0	0	1	0	0	1

⑦	E リフト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	北海道		1	4	2	0	0	7
	宮城県		1	0	0	0	0	1

⑧	E リフト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	滋賀県		1	1	0	0	0	2
	青森県		3	0	3	0	0	6

⑨	E リフト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	大阪府		2	1	3	0	0	6
	福岡県		2	0	1	0	0	3

【 順位決定戦 】

⑩	E リフト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	東京都		0	0	1	0	0	1
	宮城県		1	2	2	0	0	5

⑪	E リフト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	滋賀県		1	0	1	0	0	2
	福岡県		0	0	0	0	0	0

【 準決勝戦 】

⑫	E リフト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	北海道		6	3	7	0	0	16
	埼玉県		0	1	1	0	0	2

⑬	E リフト		I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム							
	大阪府		0	0	0	0	0	0
	青森県		8	6	1	0	0	15

【 7・8位決定戦 】

⑭	チーム \ エリト	I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム						
	東京都	3	1	5	0	0	9
	福岡県	0	0	3	0	0	3

【 5・6位決定戦 】

⑮	チーム \ エリト	I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム						
	宮城県	1	1	0	0	0	2
	滋賀県	0	2	1	0	0	3

【 3・4位決定戦 】

⑯	チーム \ エリト	I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム						
	埼玉県	5	2	5	0	0	12
	大阪府	1	0	0	0	0	1

【 決勝戦 】

⑰	チーム \ エリト	I	II	III	OVT	GWS	計
	チーム						
	北海道	3	5	3	0	0	11
	青森県	1	0	1	0	0	2

アイスホッケー競技順位一覧表

順位	1	2	3	4	5	6	7	8
都道府県	北海道	青森県	埼玉県	大阪府	滋賀県	宮城県	東京都	福岡県
競技得点	40	35	30	25	20	15	10	5

役 員



大会マスコット「もっち」

第79回国民スポーツ大会冬季大会
スケート競技会（ショートトラック・フィギュア）・アイスホッケー競技会

招待者の範囲

大分類	中分類	小分類
県外	1 各都道府県	知事、議会議長
	2 次期開催県等	次期開催県等の実行委員会事務局長、国スポ事務局長及び教育長 (1) 第79回本大会開催地（滋賀県） (2) 第80回冬季大会開催地（青森県） (3) 第78回冬季大会開催地（北海道、山形県）
	3 特別協力者	国スポ特別協力者
県内	1 報道関係	報道委員会委員、直接大会に協力した報道関係者
	2 県関係	スポーツ推進審議会委員
	3 市町村関係	市町村長、議会議長
	4 学校関係	大会協力学校長
	5 スポーツ団体関係	県中学校体育連盟会長、県高等学校体育連盟会長、 県スポーツ推進委員協議会会長、 会場地市町スポーツ推進委員協議会会長
	6 県・市町政功労者	県政及び会場地市町政に功績のあった者
	7 県・市町実行委員会	顧問、参与、監事、委員
	8 特別協力者	国スポ特別協力者

※上記から大会役員及び競技会役員を除く。

第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会 大会役員

(順不同・敬称略)

名誉会長 副会長 顧問	あべ 俊子	坂元 要	益子 直美	森岡 裕策
	遠藤 利明	山本 一太	伊原木 隆太	遠藤 祐司
	越川 均			
	室伏 広治	森 喜朗	安西 孝之	岡崎 助一
	越宗 孝昌	池田 めぐみ	今井 純子	今浦 千信
	伊藤 雅俊	鹿島 丈博	勝田 隆	角屋 憲正
	大野 敬三	工藤 保子	國吉 富美子	高井 志保
	上島 しのぶ	田畑 綾美	靈池 恵量	東瀬 義人
	刈谷 好孝	松井 守	丸山 由美	室伏 由佳
	高野 瑞洋	山下 泰裕	草野 満代	藤田 裕司
	坂東 美紀	室城 信之	金子 日出澄	湯川 和之
	山倉 紀子	土橋 登志久	石丸 元国	石川 伸男
	森井 じゅん	鬼頭 有紀子	長谷川 洋子	吉田 長寿
	若月 等	多賀 恒雄	安藤 淳	上治 丈太郎
	坂巻 義男	上原 絵美	佐藤 健司	馬場 美香
	齋木 尚子	南 和文	宮永 美寿津	千田 健一
	湧永 寛仁	岡本 友章	大野 淳	加藤 出昇
	山口 宏	岡本 実	山崎 勝洋	眞下 彰弘
	中里 壮也	蒔田 伸周	村田 利衛	建部 良太郎
	田村 恒彦	田中 博美	中村 ゆり子	齋藤 啓一
	山口 徹正	丸石 正成	井上 弘	今川 資久
	市野 保己	木村 和夫	大澤 明美	古城 剛
	谷田部 和彦	池谷 和夫	中山 俊行	衣笠 政文
	近藤 重和	園山 弘之	田邊 哲人	城門 直久
	小野 賢二	出口 晃央	布村 幸彦	茂野 幸一
	知念 かおる	上杉 陽子	谷藤 節雄	熊谷 知巳
	前川 恵	大沢 雅信	穂本 哲哉	藤田 成夫
	生島 典明	奥山 昌之	久保 正美	山崎 博一
	千葉 玲佳	田中 不二夫	井出 仁	今西 則雄
	石松 英昭	松本 智広	森山 喜博	南部 和伯
	塩見 清仁	高橋 繁浩	河口 瑞子	増田 一彦
	中村 宏平	山本 誠三	松本 恭幸	船田 洋
	福永 秀樹	横尾 英治	近藤 一幸	小寺 祐希
	中嶋 実	渡邊 浩三	田中 稔	馬越 勝彦
	奥田 晃	城戸 英敏	旗生 康之	小柳 幸成
	河村 祐一	宮成 康蔵	藤本 格	岩元 隆弘
	青木 章泰	藤原 正樹	大河原 嘉朗	川上 妙子
	辛木 秀子	奈良 隆	小菅 司	宇津木 純子
	平良 朝治	小林 久美	寺澤 正孝	山口 健
	佐藤 廣子	野中 厚	金城 泰邦	赤松 成真
	菊 幸一	矢野 和彦	西條 正明	寺門 達夫
	武部 新	井野 俊郎	笹川 博義	福田 弘文
	藤原 章夫	福重 隆浩	長谷川 嘉一	中曾根 勝信
	中曾根 康隆	羽生 田 俊	逢沢 一郎	加藤 道義
	小淵 優子	平沼 正二郎	山下 貴司	柚木 巧
	清水 真人	小野 田 紀美	川合 孝典	柴田 郁美
	津村 啓介	須藤 和臣	久徳 大輔	平田 聖義
	石井 正弘	竹内 健	内田 通子	清水 英行
	谷合 正明	熊川 栄	山崎 親男	杉山 昭久
	中村 正芳	石内 國雄	小野 光章	長島 拓也
	栗山 康彦	荒川 裕生	柏木 司	達増 和彦
	田口 裕士	吉村 美栄子	北村 清士	
	藤木 幸太			
	鶴田 有司			

博 守一 多加典也英男隆博一寛泉伸哲達也富士子
山阿部中河池田大塚甲斐城野井井安川加森相沢牛須松清水蓮加太森木口河荒大松正小宇日田野服大難須神岩奥中岡古矢
宮野三辻山下小澤山本渡邊寺澤

俊人 英世 達義 元達 正純 賢吾 康一 順市 ともよ 渡勲 泰裕 俊一郎 健太郎 好映 あゆみ 喜徳 春圭 康弘 俊仁 茂智 良輔 賢一 紘一 直子 忍和 あつこ 恵子 雄介 正繁 樹俊 二郎 武生 多美子
廣田 ヨーコ 松宮宇加神吉細野濱野 暢実 ゼッターランド 敬子 耕武 弘直 政光 勉

元裕 剛浩 歳恭 明昭 實義 志子 介己 康清 昌優 英史 敦岳 綾博 英謙 周一 勝雅 恭愛 博司 徹英雄 妙勝 由梨 欣達 由秀 俊也 利章 敏政 謙一郎 哲基 志和 友健 聖一 崇義
大野 高野 馳藤 伊牧 林 槇山 山口 春大 橋爪 後藤 金井 伊穂 積藤 矢野 山 鈴木 宮崎 大沢 千渡 辺 神增 川 上 中 川 福島 大塚 小倉 福田 吉田 天野 井出 上坊 中澤 松田 重永 宮本 齊藤 佐間 々々 藤原 安田 片岡 梶川 日比 菅原 松守 出野 村上 高橋 栗原 品田

富一 伸八 秀隆 周嗣 誠益 健浩 宏潔 高基 充隆 徳成 俊哉 豪登 洋弘 公義 哲雅 徹伸 薫正 亮一 和秀 俊介 由美 和勉 真人 薫正 清洋 彬浩 史光 保和 敬宏 了卓 裕司
福田 新大 西岸 村岡 服部 麻生 橋場 狩野 水酒 丸郷 本松 入内 金沢 追川 鈴木 今井 中島 内波 小倉 江本 小林 柳山 高橋 須増 清水 秋坂 鈴木 笠原 小島 梶谷 小林 梅木 高岩 新井 別府 横山 坂本 岡崎 山本 岩川 加藤 森樋 口金 飯野 平能 村佐 久間

参 与

委 員 長
副 委 員 長
務 委 員
委 員

黒川	重男	舟喜	信生	高野	修	中梶	秀則
安藤	正美	加藤	憲二	宮川	良輔	鈴木	章広
川口	巖	和田	潔	岡泉	茂	田口	大祐
平井	宏治	岸川	剛之	西原	斗司男	菅原	正幸
高橋	昇	長南	哲生	衛藤	敬輔	渡辺	久雄
三井	千壽	鈴木	信吾	山中	博史	井本	亘
関根	明子	中山	二三男	越前	浩司	吉田	由美子
杉本	好二	東野	真理子	田中	徹	川口	雅三
金子	和裕	品治	恵子	富澤	佑也	小竹	純太
政岡	航大	小河原	百映	田口	雅紀	吉丸	尚宏
宇田	俊太郎	宇高	章広	近藤	潤	高田	勉
佐藤	兼郎	西	康宏	綾部	吉也		

第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会

大会役員編成基準

団体名 役職名	公益財団法人 日本スポーツ 協会	文部科学省 スポーツ庁	開催県	開催県 スポーツ協会	実施競技団体	各都道府県体育 (スポーツ) 協会	公益財団法人日 本アンチ・ドー ピング機構
名誉会長		大臣					
会 長	会長						
副 会 長	副会長 専務理事	スポーツ庁長官	知事	会長			
顧 問	名誉会長 最高顧問 顧問 理事 監事 評議員	副大臣 大臣政務官 事務次官 文部科学審議官 大臣官房長 スポーツ庁次長	県選出衆・参 両議院議員 県議会議員 教育長 公安委員長 市長会会長 町村会会長 市議会議長会 会長 町村議会議長 会会長 スポーツ推進 審議会会長		会長	会長	
参 与		スポーツ庁審議官 スポーツ庁 スポーツ総括官 スポーツ庁 政策課長 スポーツ庁 健康スポーツ課長 スポーツ庁参事官 (地域振興担当)	県議会議員 副知事 教育委員 会計管理者 関係部長 警察本部長 実行委員会 常任委員	副会長			
委 員 長	国スポ委員会 委員長						
副委員長	事務局長	スポーツ庁 競技スポーツ課長	実行委員会 事務局長				
総務委員	国スポ委員会 委員 事務局長代理 事務局次長 国スポ推進部 長 国スポ課長		実行委員会 事務局次長 スポーツ振興 課長	専務理事			
委 員	国スポ競技運 営部会委員 事務局担当者	スポーツ庁担当官		常務理事			事務局長

第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(ショートトラック・フィギュア)役員

(順不同・敬称略)

名誉会長 副会長 顧問	大森雅夫	伊東香織			
	長島昭久	原憲一	藤木達夫	齋木尚子	
参与	宮野欣也	小嶋光信	三宅泰司	仁科康	
	濱野勉	中嶋光浩	竹田浩久	赤間弘記	
委員 副委員	田口裕士	岡田英典	佐藤英壽	井上忍	
	新保實	遠藤和典	田口勝也	堀内青波	
委員	中田佐代子	狩野浩志	堀内光一郎	榎木太子	
	新田俊彦	宇垣静子	下沢佳充	土田きみ子	
委員	野口行敏	中川忠昭	内田かなめ	水野正敏	
	青砥忠雄	神田真秋	田中正剛	水田静雄	
委員	田中英之	芝井敬司	田中健一	大井上恒男	
	山下直也	吉岡きよ乃	森山敬久	井上清孝	
委員	河井美和子	西京嘉友	藤井晏子	鎌形和明	
	山崎啓輔	石見三宅	中尾久保	藤崎剛	
委員	立山秀樹	則武宣弘	松田安義	福吉智徳	
	宮良卓司	平元道隆	桑田桂子	長岡将克	
委員	森田敏宏	林潤博	田中のぞみ	東氣健	
	早野賢一	宮武信幸	三木亮治	和氣賢二	
委員	宿女和子	小川満津留	藤原哲之	吉本浩一郎	
	成本俊一	難波隆之	二嶋宣人	川本弘	
委員	赤木正幸	松田栄太郎	松本好厚	柳井晴一	
	山崎隆	花岡幸治	江田厚志	大月のぞみ	
委員	岡東真理	森山彩葉	川上智美	鬼木慶太	
	安田貴行	國友雄大	高成栄司	前島和夫	
委員	小林寿純	高橋克彦	太田幹温	柳迫安幸	
	中島泰宏	北嶋竜二	赤澤裕紀	秋田健良	
委員	芦田賢	荒木秀行	伊東ひな子	大橋勝也	
	大橋耕二	大守省三	小郷貴光	尾崎武次郎	
委員	水生意索	梶田心寛	片山孝明	齋藤学	
	真田正彦	塩津寛	塩津明子	塩津牧美	
委員	末尾博幸	中西公仁	田口善之	田辺朋裕	
	新垣敦子	原田龍五	向日康昭	平井俊光	
委員	藤井昭志	藤原薫子	松成弘志	三村英世	
	三宅誠典	森山滝男	守屋昭雄	矢野芳樹	
委員	藪山美香	山門眞佐子	若林俊子	上西雅江	
	片山浩彰	難波弘志	中島あかね	江原恭生	
委員	沼本健一	生水哲男	大原賢治	林戸取幸子	
	中原康彦	岩田修	小松正樹	戸取重行	
委員	三宅守	藤原利章	別府俊二郎	大熊洋司	
	松井清嗣	安田敏行	芳野吉田	中村昭典	
委員	横山洋介	片岡山本利一	吉田大西	岡藤井康男	
	坂本棟男				
委員	風谷英隆				
	村上健太郎				
委員	東山直己	三浦孝仁	三宅靖広	野崎千春	
	関根章	堀内律子	山下徹也	柳下和慶	
委員	竹内洋輔	谷本歩実	大西勝敬	濱谷公宏	
	大日方邦子	山崎郁	湯田淳	三宮恵利子	
委員	宮原知子	千葉浩次	干川多賀幸	小佐野貴子	

菊池 毅彦
守谷 真貴
新村 涼子
三宅 一彰

土橋 徹
日下 誠
高籬 彰徳
吉田 昌幸

佐々木 美行
井上 敦子
中村 信彦
打谷 桂子

平井 隆史
大賀 加代子
畑中 康子

第79回国民スポーツ大会冬季大会

スケート競技会（ショートトラック・フィギュア）役員編成基準

団体名 役職名	岡山市 倉敷市	公益財団法人 日本スケート 連盟	岡山県 スケート連盟	開催市 スポーツ協会	各都道府県 競技団体	公益財団法人日本 アンチ・ドーピン グ機構
名誉会長	市長					
会 長		会長				
副 会 長	実行委員会 事務局長	副会長	会長	会長		
顧 問	議会議員 教育長				会長	
参 与	議会議員 教育委員 副市長 会計管理者 関係部長 実行委員会 常任委員		副会長 顧問	副会長 顧問		
委 員 長		専務理事				
副委員長	実行委員会 事務局次長		理事長			
委 員		理事	副理事長 理事	専務理事 常務理事		事務局担当者

第79回国民スポーツ大会冬季大会アイスホッケー競技会役員

(順不同・敬称略)

名誉会長
副会長
顧問

大森 雅夫
藤木 幸太
宮野 欣也
諸橋 寛子
田口 裕士
足立 功一
今川 雄策
粉川 昭一
大久保 修一
下沢 佳充
中川 正春
福西 実雄
中西 照典
安岡 章夫
安谷 啓二
井原 誠
森田 卓司
林 敏宏
早野 賢一
宿女 和子
成本 俊一
赤木 一雄
山田 正幸
岡崎 隆
安東 真理
土田 貴行
小林 寿雄
中島 純
芦田 泰宏
大橋 賢
生水 耕二
真田 意索
末田 正彦
時尾 博幸
新垣 敦子
藤井 昭佐
三宅 誠志
藪田 尊典
片山 美香
沼本 浩彰
中原 健一
三宅 康彦
松井 守
横山 清嗣
坂本 洋介
堤 棟男
服部 昌樹
村上 健太郎
東山 直己
佐藤 深雪
小野島 真
田中 潔志
HABERL DIETER
田村 樹伯
打谷 桂子

伊東 香織
原 憲一
逢沢 一郎
中島 光浩
橋本 昭一
荒井 進
亀山 貴史
杉本 憲繁
竹沢 祥一
渡辺 文喜
足立 優繁
園山 健二
藤井 健二
南里 洋明
黒木 誠一郎
則武 宣弘
平元 道隆
林 潤
宮武 博
小川 信幸
難波 満津留
松田 隆之
花岡 栄太郎
森山 幸治
國友 彩葉
高橋 雄大
北島 克彦
荒木 竜二
大守 秀行
梶田 省三
塩津 心
瀧本 寛
中西 公仁
原田 龍五
藤原 薫子
森 守
山畑 滝男
門原 眞佐子
難波 弘志
生水 哲男
岩田 修
藤原 利章
安田 洋章
片岡 敏行
山本 利一
三浦 孝仁
山田 哲
久保 真也
田名部 良雄
RAMIREZ CAPRILES
赤山 晴香

藤木 達夫
三宅 泰司
谷上 淳
鈴木 優樹
佐々木 康雄
中村 慎
伊藤 修
神野 佳樹
巽 豊
大中 恒男
本多 高
押渕 礼子
藤崎 剛
松田 安義
桑田 桂子
田中 のぞみ
三木 亮治
藤原 哲之
二嶋 宣人
松本 好厚
江田 厚志
川上 智美
高成 壯磨
太田 栄司
赤澤 幹温
伊東 裕紀
小郷 ひな子
片山 貴光
塩津 孝明
田口 明子
中西 善之
日向 豊
松成 康昭
守屋 弘志
若林 昭雄
中島 俊子
大原 あかね
小松 賢治
別府 正樹
芳野 俊
吉川 二郎
吉田 武生
本多 保紀
三宅 靖広
大澤 明美
郷堀 ヨゼフ
外崎 一馬
ALEXANDER RAMON
山口 和哉

江守 秀次
仁科 康
猪野 信
堀口 卓司郎
内田 悦嗣
野上 浩太郎
石黒 正彦
岡崎 幸生
山下 直也
守田 宗治
上田 貢太郎
田代 春江
砂川 隆禧
福吉 智徳
長岡 将克
東 毅
和氣 健
吉本 賢二
川本 浩一郎
柳井 弘
大月 晴一
鬼木 のぞみ
前島 慶太
柳迫 和夫
秋田 安幸
大橋 健良
尾崎 勝也
齋藤 武次郎
塩津 学
田辺 牧美
難波 朋裕
平井 俊光
三村 英世
矢野 周子
上西 芳樹
江原 雅江
林 恭生
戸取 幸子
大熊 重行
奥田 洋司
中村 啓二
岡 昭典
佐野 治雄
石井 洋
大澤 ちほ
末吉 直樹
長南 哲生
富山 均
佐藤 宣多

委員 長
副委員 長
委員

第79回国民スポーツ大会冬季大会

アイスホッケー競技会役員編成基準

団体名 役職名	岡山市 倉敷市	公益財団法人 日本アイス ホッケー連盟	岡山県アイス ホッケー連盟	開催市 スポーツ協会	各都道府県 競技団体	公益財団法人日本 アンチ・ドーピン グ機構
名誉会長	市長					
会 長		会長				
副 会 長	実行委員会 事務局長	副会長	会長	会長		
顧 問	議会議長 教育長				会長	
参 与	議会議員 教育委員 副市長 会計管理者 関係部長 実行委員会 常任委員		副会長 参与	副会長 顧問		
委 員 長		専務理事				
副委員長	実行委員会 事務局次長		理事長			
委 員		理事	副理事長 理事	専務理事 常務理事		事務局担当者

ショートトラック競技役員

(順不同・敬称略)

イベントコーディネーター	川上 隆史				
レフェリー	山崎 良二				
アシスタントレフェリー	遊磨 正秀	寺尾 悟			
アシスタントビデオレフェリー	岩下 清人				
スターター	入谷 栄照	立山 秀樹			
コンペチターズスチュワード	平井 琢也	栗井 宏明			
ヒートボックススチュワード	高木賀津彦	三宅 一彰	中島 博文	妹尾 美樹	
フォトフィニッシュジャッジ	鷹左右 誠	津茂谷浩三			
チーフフィニッシュラインジャッジ	山名 孝一				
フィニッシュラインジャッジ	宮永 芳明	安藤 智至	石川 卓司	榎原 誠一	
チーフタイムキーパー	石谷 治				
タイムキーパー	井上 清孝	林 幸男	榎本 隆	藤原 光	
オートマティックタイムキーパー	川本 哲夫				
ラップスコアラール	山下 和代	緒方 敏子			
ラップレコーダー	江口 雅之				
ビデオコーダー	倉内 利勝	佐飛 靖彦	森 千晶		
アナウンサー	宮原 英治	服部 華子			
LED 掲示	米村 省一				
記録員	長 山田 高正				
記録員	本城 真弓	新村 真	中島 結子	岡 千穂	
	倉田 浩誠	宮永 夕子			
トラックスチュワード	小口 絵理	島根 隆司	松平 和也	黒沢 麻衣	
	菊池 浩樹	岩下 幹	小松 遼南	高見澤 匠	
総務員長	藤原 利章				
総務員	本間 康彦	永田 守	永田 博万	守谷 真貴	
	新村 涼子	道廣 奈美	山中 直	大賀加代子	
	太田 祐衣	中田 明理	加藤 佳子	吉田絵里子	
	吉田 加織	大賀 宏一	大賀 冠太	監物和歌子	
救護医師	児玉 有弥	平川 宏之			
整氷補助員	松田 拓馬	河上 二郎			
整氷技術員	マルエス冷蔵株式会社職員				
補助員	環太平洋大学				

岡山市立岡山後楽館高等学校

フィギュア競技役員

(順不同・敬称略)

競 技 委 員 長	関根 章			
競 技 副 委 員 長	伊東 秀仁	山崎 弘雄	大西 洋	
技 術 代 表	山崎 弘雄			
副 技 術 代 表	高籙 彰徳			
レ フ ェ リ ー	安藤美和子	吉田 雅彦		
ジ ャ ッ ジ	宮坂 美保	深津 紀恵	岡村真貴子	白井 春人
	佐藤 康行	昌子 裕	新田 学	出野 京子
	中根 佑真	松尾 和子		
テクニカル・コントローラー	齋藤 司	真鍋 織江		
テクニカル・スペシャリスト	荒木 美月	今川 知子	堂道 幸伸	堂園 高志
データ・リプレイ オペレーター	伊藤 麻也	古川 琢郎	小野友史江	
総 合 成 績 計 算 委 員	山崎 弘雄			
進 行 係	井上 敦子	高籙 彰徳		
放 送 ・ 音 楽 係	前 雅美	畑中 康子	岩川菜摘未	山本 まり
	石井百合奈	小玉 千尋		
計 時 係	東 京子	佐藤亜樹子	國本 淑恵	北川亜紀子
	俣野真理子	藤谷真也子		
審 判 係	日下 誠	中村 敦美	前田 晶代	
選 手 係	村岡 俊明	山田 孝朗	友野 栞里	村岡 那菜
	片山 久代	片山緋奈子	鈴木まりあ	上田 明香
	佐道 仁			
総 務 兼 印 刷 ・ 記 録 係	藤原 利章	糸山 奈美	井上 敦子	高籙 彰徳
	杉山 直樹	宮本二三四		
受 付 係	田中 士芬	吉田江里花	岡本由布子	那須絵利香
	津内 亜古	平井 香奈	櫛田 孝枝	渡邊 美軌
	友野 知子	齋藤 園子		
報 道 係	日下 誠	吉川 二郎	松本 寛志	杉山 直樹
表 彰 係	井上 敦子	中村 信彦	岩川菜摘未	前田 晶代
	中村 敦美			
整 氷 ・ 会 場 係	俣野真理子	友國香代子	藤谷真也子	荒井 洋美
	小野 歩未	渡部 美佳	真田 瑞希	原 啓達
	蒲原 日南	野間 彩花	高田 竜暉	丸山 美優
	齋藤 一輝	向井 千夏	鈴木まりあ	竹内竜太郎
	大西 達也	大西 和子	山川ちぐさ	古田 啓子
	平本 晃子	佐野峯奈都子	藤井 直樹	三宅 幹子
補 助 員	川崎医療福祉大学 倉敷芸術科学大学 倉敷翠松高等学校			

アイスホッケー競技役員

(順不同・敬称略)

競技運営委員長	長	本川 敬一			
競技委員長	長	石井 洋			
競技副委員長	長	長南 哲生	田中 潔志	富山 均	
ゲームスーパーバイザー		本川 敬一	長南 哲生	中村 啓二	芳野 俊
		田中 潔志			
レフェリー委員長	長	向坂 健司			
レフェリー副委員長	長	小泉 公一			
レフェリー		向坂 健司	小泉 公一	堀内 駿	中島 昌樹
		池廣 裕馬	奥山 美紀	佐々木基喜	吉岡 唯
		高須 英隆	真水 貴史	栗田 宏	谷口 諒馬
		水口 翔登	綿田 倫大	寺坂 修平	福江利玖斗
		西嶋 海樹	橋本 築	松永 晃	市川 健一
		岡野 健二	廣瀬 健	仙波亜希子	小田 春菜
		牧野 謙一	幅田 正秀	AtteHaataja	山川 真澄
		大江 俊光	山口 大地	岡平佳菜子	鈴木 崇嗣
		川口 健司	寺門 吾郎	中村 克水	完井 寿弘
		梶谷 淳司	平野 雅己	長谷 洋史	平山 晶士
		石丸 啓介			
総合成績計算委員長	長	長南 哲生			
総務委員長	長	服部 昌樹			
総務副委員長	長	佐野 治雄	中村 啓二		
競技本部主任		富山 均	鷄内 俊夫	山崎 治	小川 勤
		藤田 直人	瀬崎 学		
競技役員		綾木 道明	井上 優	永禮 徹	益田 亮
		奥原 康貴	岡崎 臣吾	亀井 淳寛	亀井 健輔
		熊野 伸吾	宮原みゆき	橋本 祥平	玉利 敏夫
		熊野乗太郎	御船 琳	広津 一良	高岡 夏野
		山本 真嗣	高木 鈴音	黒瀬 章弘	山口 真司
		森数 芳絵	小倉 拓麻	小島 世登	小野 環
		梶原 茂弘	沼本 彩愛	城牆 眞子	植木 進司
		石神憲太郎	森田 英莉	森淵 秀和	杉井 美和
		太田 直哉	西嶋 海樹	村井 一也	西平 将大
		虫上 弘	赤山 陽香	中嶋 桃子	多久 夏美
		難波 治暉	田淵 啓友	徳若 亜未	中野 旦陽
		俵 正文	樋口 稜祐	尾高 忍	寅丸 英美
		平井 秀和	富山 祐介	福井 佳怜	尾高 誠
		藪 任作	名倉穂乃実	木村 剛広	福江利玖斗
		櫻井 まみ	藪 綾乃	和泉 央佑	柳原 将吾
		廣田 巨史	濱本 美沙		
整氷技術員		マルエス冷蔵株式会社職員 株式会社SID創研職員			
補助員		環太平洋大学 岡山市立岡山後楽館高等学校			
		川崎医療福祉大学 倉敷翠松高等学校 倉敷芸術科学大学			
		岡山理科大学附属高等学校 くらしき作陽大学			

資 料



大会マスコット「ももっち」

第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会 参加人員一覽表

No.	都道府県	本部役員										選手・監督										合計	視察員	総計								
		団長	副団長	総監督	総務	顧問	ドレスタイター	計	スピード				ショートトラック				フィギア				アイスホッケー											
									監	成	少	計	監	成	少	計	監	成	少	計	監				成	少	計					
																												男	女	男	女	男
1	北海道	1	2	2	7	1	2	15	4	8	8	8	8	36	2	4	2	2	4	4	2	2	2	12	2	16	16	34	101			
2	青森県	1	1	1	3	1	7	3	7	8	4	4	26	1	1	1	1	2	3	3	3	2	2	9	2	16	16	34	78	8	86	
3	岩手県	1	1	1	3	2	3	2	10	2	6	4	4	17	1	1	1	1	2	2	2	2	2	9	1	16	16	34	44	4	48	
4	宮城県	1	3	2	1	1	2	10	1	1	1	1	4	7	3	4	1	1	10	2	2	2	2	6	2	16	16	34	67	3	70	
5	秋田県	1	1	1	2	1	4	2	1	1	4	4	7	7	1	1	1	1	10	1	1	1	1	6	1	11	11	11	11	19	19	
6	山形県	1	1	1	1	1	6	(1)2	5	2	3	1	13	1	1	1	1	1	13	1	1	1	1	3	1	16	16	17	36	2	38	
7	福島県	1	1	1	3	1	6	2	5	5	1	1	13	1	1	1	1	1	13	1	1	1	1	3	1	16	16	17	36	2	38	
8	茨城県	1	1	1	6	1	10	2	4	1	1	1	8	1	1	1	1	8	1	1	1	1	3	3	1	2	16	16	17	36	2	38
9	栃木県	1	1	1	1	1	5	2	3	1	1	3	1	10	2	2	2	2	6	1	1	1	1	3	2	16	16	34	58	3	61	
10	群馬県	1	1	1	1	1	2	5	4	8	8	8	5	33	2	5	5	2	14	2	2	2	2	6	2	16	16	34	58	3	61	
11	埼玉県	1	3	1	3	2	10	2	8	2	8	2	12	2	2	2	2	14	2	2	2	2	2	6	2	16	16	34	71	3	74	
12	千葉県	1	1	1	2	5	1	10	1	4	1	4	5	5	1	1	1	1	14	2	2	2	2	6	2	16	16	34	71	3	74	
13	東京都	1	2	1	3	8	4	19	1	5	1	5	1	7	2	3	4	1	10	4	2	2	2	6	2	16	16	34	71	3	74	
14	神奈川県	1	2	1	9	1	14	2	8	1	8	1	11	1	1	4	4	2	13	4	2	2	2	6	2	16	16	34	84	3	87	
15	山梨県	1	1	1	3	1	3	1	9	4	8	6	8	4	30	(1)1	5	4	1	11	1	1	1	1	3	1	16	16	34	84	3	87
16	新潟県	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	3	1	16	16	34	84	3	87	
17	長野県	1	2	1	6	6	4	20	4	8	8	8	8	36	2	5	1	1	11	2	1	1	2	3	2	16	16	34	100	20	120	
18	富山県	1	1	1	1	1	3	1	8	1	4	1	5	2	1	1	1	4	2	4	2	2	4	3	1	16	16	17	34	17	34	
19	石川県	1	1	1	1	5	1	8	1	1	1	1	8	1	1	1	1	8	1	1	1	1	3	3	1	16	16	17	34	13	13	
20	福井県	1	1	1	2	1	1	5	1	1	1	1	5	1	1	1	1	5	1	1	1	1	2	2	1	16	16	17	34	3	27	
21	静岡県	1	1	1	1	1	3	1	8	1	1	1	8	1	1	1	1	8	1	1	1	1	3	3	1	16	16	17	34	14	14	
22	愛知県	1	1	1	3	3	9	2	1	1	4	1	7	7	2	5	5	2	12	3	2	2	2	11	1	16	16	17	56	1	57	
23	三重県	1	1	1	1	1	1	5	(1)	3	1	1	3	3	1	1	1	3	1	1	1	1	1	3	1	16	16	17	56	8	3	
24	岐阜県	1	1	1	1	1	3	1	8	4	6	3	7	5	25	1	1	1	1	14	2	2	2	6	1	16	16	17	64	3	36	
25	滋賀県	1	1	1	1	8	2	3	16	1	4	2	4	11	1	5	5	2	1	14	2	2	2	6	1	16	16	17	64	3	36	
26	京都府	1	1	1	1	7	1	1	1	1	1	1	11	2	5	4	2	2	11	4	2	2	2	6	1	16	16	17	51	3	54	
27	大阪府	1	1	1	1	3	1	1	8	1	1	1	8	1	5	3	2	1	12	4	2	2	2	6	2	16	16	17	63	63	63	
28	兵庫県	4	1	4	1	1	10	2	1	2	3	1	9	9	4	5	5	1	17	4	2	2	2	6	1	16	16	17	65	3	68	
29	奈良県																															
30	和歌山県	1	4				3	1	9																							
31	鳥取県	1	3	1	2	5	1	13	1	1	1	1	13	1	1	1	1	13	1	1	1	1	3	1	16	16	17	34	17	34		
32	島根県	1	1	1	2	1	4	1	4	1	1	1	4	1	1	1	1	4	1	1	1	1	3	1	16	16	17	34	13	13		
33	岡山県	1	3	1	5	1	5	4	14	(1)1	1	4	1	8	2	2	2	2	10	(1)1	16	13	30	62	1	16	16	17	62	62	62	
34	広島県	1	1	1	3	2	1	8	1	1	1	1	8	1	1	1	1	4	4	2	2	2	6	1	16	16	17	35	17	35		
35	山口県																															
36	香川県	1	(1)	1	2	1	5	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	2	6	1	1	1	2	6	1	15	15	16	29	3	32	
37	徳島県	1	1	1	3	1	5	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	2	5	2	2	2	6	1	16	16	17	25	7	1		
38	愛媛県	1	1	1	1	1	3	1	3	1	4	1	5	1	1	1	1	5	1	1	1	1	3	3	1	16	16	17	25	7	1	
39	高知県																															
40	福岡県	1	1	4	6	2	14	1	1	5	4	2	2	14	(1)1	5	4	2	14	4	2	2	2	12	2	16	16	17	30	74	3	77
41	佐賀県																															
42	長崎県																															
43	熊本県	1	1	1	1	2	4	1	1	1	1	1	8	(1)1	4	1	1	1	8	(1)1	4	1	1	8	2	16	16	8	26	38	38	
44	大分県	1	1	1	2	1	5	1	5	1	1	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	1	16	16	17	34	7	7		
45	宮崎県	1	1	1	1	1	2	5	1	1	1	1	2	2	1	1	1	2	2	1	1	1	1	3	1	16	16	17	34	7	7	
46	鹿児島県	1	1	1	3	1	4	1	4	1	1	1	4	4	1	1	1	4	1	1	1	1	3	3	1	16	16	17	21	21	21	
47	沖縄県	1	1	1	1	1	4	1	4	1	1	1	4	4	1	1	1	4	1	1	1	1	3	3	1	16	16	17	21	21	21	
合計		37	49	36	114	59	64	359	51	104	65	74	45	339	43	73	51	27	17	211	60	32	32	32	188	38	415	185	638	1735	88	1823

※奈良県、山口県、高知県、佐賀県、長崎県は不参加。
※()内の数は兼任のためカウントしない。

大会参加者数

1 本部役員及び監督・選手別参加人員

区分	第76回 岐阜県・愛知県	第77回 栃木県	特別 青森県	第78回 北海道	第79回 群馬県・岡山県
本部役員	326	370	401	352	359
選手・監督	1,405	1,400	1,358	1,382	1,376
合計	1,731	1,770	1,759	1,734	1,735

2 競技種目別参加人数

競技	第76回 岐阜県・愛知県		第77回 栃木県		特別 青森県		第78回 北海道		第79回 群馬県・岡山県	
	参加都道府県数	選手・監督	参加都道府県数	選手・監督	参加都道府県数	選手・監督	参加都道府県数	選手・監督	参加都道府県数	選手・監督
スケート	42	767	42	770	40	719	41	741	39	738
スピード	25	357	25	364	24	338	26	352	25	339
ショートトラック	31	236	32	235	28	207	31	205	29	211
フィギュア	24	174	21	171	22	174	22	184	24	188
アイスホッケー	27	638	27	630	27	639	27	641	27	638
合計	43	1,405	44	1,400	44	1,358	44	1,382	42	1,376

3 役員

競技会	区分	人数
大会役員		483
競技会役員	スケート	215
	アイスホッケー	203
競技役員	ショートトラック	69
	フィギュア	89
	アイスホッケー	115
合計		1,174

4 報道員・視察員

区分	人数
報道員及びこれに準ずる者	194
視察員	88

5 式典参加者

区 分	監督・選手	大会関係者	事務局・ 補助員	観覧者	合計
開始式	114	519	76	498	1,207
表彰式(スケート競技会)	30	101	14	36	181
表彰式(アイスホッケー競技会)	22	61	18	27	128

6 競技会

競技会	競技	監督・選手	競技役員	観覧者	合計
スケート競技会	ショートトラック	211	69	1,041	1,321
	フィギュア	188	89	932	1,209
	計	399	158	1,973	2,530
アイスホッケー競技会	アイスホッケー	638	115	5,856	6,609
合 計		1,037	273	7,829	9,139

7 体験型パブリックビューイングイベント

イベント名	来場者数
おokayama国スポFUN!FUN!FAN! in倉敷(2025.2.1~2.2)	7,000
おokayama国スポFUN!FUN!FAN! in津山(2025.1.27~2.7)	1,981

8 公共施設等における国スポチャンネル配信(おokayama国スポ「つながるプロジェクト」)

区 分	施設数
県内自治体等	33
大学	9
病院	27
合計	69

実施要項総則

開催の趣旨

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする国内最大のスポーツの祭典である。

「第 79 回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会」の開催にあたっては、群馬・岡山の両県の連携のもと、この趣旨を一層発揚し、さらには大会を通じて両県民が「する」「みる」「ささえる」という様々な形でスポーツの楽しさや感動を分かち合うことができる機会を創出する。

また、岡山県で開催されるスケート競技会（ショートトラック・フィギュア）・アイスホッケー競技会は、西日本で初めて開催される大会として、開催地の多彩な魅力を全国に発信するとともに、簡素・効率的な運営を実践し、今後の国民スポーツ大会冬季大会の全国展開に向けた先鞭をつける大会の実現を目指す。

実施方針

1 実施競技

正式競技：スケート、アイスホッケー

2 会期及び会場

競技会名	会期	会場
スケート競技会	2025年1月26日（日）～1月30日（木） 5日間	群馬県渋川市 岡山県岡山市、倉敷市
アイスホッケー競技会	2025年2月1日（土）～2月5日（水） 5日間	岡山県岡山市、倉敷市

3 競技方法

各競技実施要項に示す方法とし、都道府県対抗で実施する。

4 アンチ・ドーピング活動の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査及びアンチ・ドーピング教育活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」及び別に定める「国民スポーツ大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例」（TUE）の手続きを行うこと。

各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民スポーツ大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が18歳未満の場合、本人の署名及び親権者の署名がある同意書を所持すること。

5 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

選手及び監督の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は、次のとおりとする。なお、参加資格については、「第 79 回国民スポーツ大会参加資格、所属都道府県及び年齢基準等の解釈・説明」を合わせて確認すること。

【公益財団法人日本スポーツ協会ホームページ <https://www.japan-sports.or.jp/>】

(1) 参加資格

ア 日本国籍を有する者であることとするが、選手及び監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(ア) 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうちの「永住者」(「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む)

(イ) 少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍する学生又は生徒で、「8 参加申込方法」で定めた参加申込締切時【2025年1月7日(火)】に1年以上在籍していること。

b 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」又は「定住者」に該当していること。

(ウ) 成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 少年種別年齢域にあった時点において前号(イ)に該当していた者であること。

b 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

[注]上記(ウ) bについて、大学及び専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ 選手及び監督は、所属都道府県の当該競技団体会長(代表者)と体育・スポーツ協会会長(代表者)が代表として認め、選抜した者であること。

ウ 2023年開催の特別大会(以下「特別大会」という。)又は第78回大会(都道府県大会及びブロック大会を含む。)において選手又は監督として参加した者は、次の場合を除き、特別大会又は第78回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ア) 成年種別

a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者

b 結婚又は離婚に係る者

c ふるさと選手制度を活用する者(別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。)

d 東日本大震災に係る参加資格特別措置を活用する者(別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。)

e 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者(別記6「能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。)

[注] a及びbは当該要件発生後、初めて参加する者に限る。

[注]別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

(イ) 少年種別

a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者

b 結婚又は離婚に係る者

c 一家転住に係る者(別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」による。)

d JOC エリートアカデミーに在籍する者(別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。)

e 東日本大震災に係る参加資格特別措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

f 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記6「能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

[注] a から c は当該要件発生後、初めて参加する者に限る。

エ 選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ 選手及び監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会及び本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。

カ 選手及び監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ 選手、監督並びに本部役員帯同のスポーツドクター及びアスレティックトレーナーは、大会参加前の1年以内に公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）が指定するアンチ・ドーピング教育を受講し、「国スポ本戦出場前のアンチ・ドーピング教育履歴」に記載した者であること。

ク 上記のほか、選手については次のとおりとする。

（ア）都道府県大会及びブロック大会に参加し、これを通過した者であること。

（イ）健康診断を受け、競技会への参加に支障がない者であること。

（ウ）ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ケ 上記のほか、監督については日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、監督が不在の場合選手は参加することができない。各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

(2) 所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア 成年種別

（ア）居住地を示す現住所

（イ）勤務地

（ウ）ふるさと（別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注]別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

イ 少年種別

（ア）居住地を示す現住所

（イ）「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）

（ウ）勤務地

（エ）別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学生の所在地

[注]「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、2024年4月30日以前から各競技会終了時（スケート競技会 2025年1月30日／アイスホッケー競技会 2025年2月5日）まで、引き続き当該地にそれぞれ居住、通勤又は通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

[成年種別]

- a 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- b 別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記6「能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

[少年種別]

- a 別記2『「一家転住等」に伴う特例措置』の適用を受ける者
- b 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- d 別記6「能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

(3) 選手の年齢基準

ア 選手の年齢基準については、以下を原則とする。

(ア) 成年種別に参加する者は、2006年4月1日以前に生まれた者とする。

(イ) 少年種別に参加する者は、2006年4月2日から2009年4月1日に生まれた者とする。

(ウ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、2024年4月1日を基準とする。

イ スケート競技については、中学3年生(2009年4月2日から2010年4月1日までに生まれた者)が参加できるものとする。

(4) 前記の各事項に疑義のあるときは、日本スポーツ協会及び当該競技団体が調査・審議の上、日本スポーツ協会がその可否を決定する。

6 各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は、次のとおりとする。

(1) 次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績及び女子総合成績とする。

ア 競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第1位から第8位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものに加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数点第3位以下を切り捨てる。

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
種別	フィギュア	24点	21点	18点	15点	12点	9点	6点	3点
	アイスホッケー	40点	35点	30点	25点	20点	15点	10点	5点
種目	スピード	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点
	ショートトラック	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

[注]「種別」：種別などに与える競技得点 「種目」：種目などに与える競技得点

イ 参加得点

参加得点は10点とし、大会(ブロック大会を含む。)に参加した都道府県に与える。ただし、ブロック大会で各競技会の出場権を獲得しながら、各競技会に参加しなかった場合は与えない。

- (2) 各競技会の総合成績は、当該競技団体が決定する。ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員が協議する。
- (3) 参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民スポーツ大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7 表彰

- (1) 各正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に、国民スポーツ大会会長トロフィーを授与する。
- (2) 各正式競技の男女総合成績及び女子総合成績第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
- (3) 各正式競技の各種別及び各種目の第1位から第8位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員(監督を含む。)の氏名を記載したものを都道府県用に1枚、さらに、その都道府県名と個人名を記載したもの又は都道府県と各チーム全員(監督を含む。)の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

8 参加申込方法

- (1) 都道府県の体育・スポーツ協会会長(代表者)及び各競技団体会長(代表者)は、連署の上、都道府県大会又はブロック大会において選抜された者を、第79回国民スポーツ大会会長宛に申込むものとする。
- (2) 参加申込は、定められた締切日までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。
- (3) 参加申込締切日は、2025年1月7日(火)とする。
- (4) 参加申込様式は、日本スポーツ協会が実施競技団体と協議の上、作成する。
- (5) 参加申込締切後の選手又は監督の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手又は監督を交代する場合は、下記宛に所定の様式(本要項18ページ)にて届け出なければならない。なお、交代の可否は、監督会議で決定する。

ア 公益財団法人日本スケート連盟

イ 公益財団法人日本アイスホッケー連盟

ウ 第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(スピード)群馬県実行委員会事務局

エ 第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(ショートトラック・フィギュア)・アイスホッケー競技会岡山県合同実行委員会事務局

[注]スケート競技(スピード)参加者については、ア及びウに、スケート競技(ショートトラック、フィギュア)参加者については、ア及びエに、アイスホッケー競技参加者については、イ及びエに提出するものとする。なお、日本スポーツ協会に対しては、各競技会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

9 棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続をとらなければならない。なお、棄権手続に係る届出については、選手交代届と同じ様式(本

要項 18 ページ)を用いるものとする。

10 大会参加負担金

- (1) 大会に選手団(視察員を除く。)を派遣する都道府県体育・スポーツ協会は、一人当たり次のとおり参加負担金を納入するものとする。

参 加 区 分	参加負担金
少年の種別に参加する選手	4,000 円
上記以外の者(本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等)	8,000 円

[注]地震、風水害、感染症及びその他主催者の責によらない事由により大会を中止した場合、大会参加負担金の返金は行わない。

- (2) 大会参加負担金は、各都道府県体育・スポーツ協会でき取りまとめ、次のとおり納入する。

ア 納入締切日 2025 年 1 月 8 日 (水)

イ 納入先 みずほ銀行渋谷支店 普通預金口座 513729

公益財団法人日本スポーツ協会

11 宿泊申込

- (1) スケート競技(スピード)大会参加者は、第 79 回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(スピード)群馬県実行委員会(以下「群馬県実行委員会」という。)が指定した所定の様式により、定められた申込期限までに申込みものとする。
- (2) スケート競技(ショートトラック・フィギュア)とアイスホッケー競技大会参加者は、第 79 回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(ショートトラック・フィギュア)・アイスホッケー競技会岡山県合同実行委員会(以下「岡山県合同実行委員会」という。)が指定した所定の様式により、定められた申込期限までに申込みものとする。

12 都道府県選手団本部役員編成

都道府県選手団本部役員の編成は、次のとおりとする。

- (1) 1 都道府県当たり、団長、総監督及び総務ほか、計 5 名以内とする。
- (2) 上記役員のほか、5 名以内の顧問を設けることができる。
- (3) 上記(1)及び(2)による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。なお、帯同するスポーツドクターは、日本スポーツ協会公認スポーツドクター資格を有する者とする。
- (4) 上記(1)及び(2)による本部役員総数の範囲内で、原則としてアスレティックトレーナーを帯同するものとする。なお、帯同するアスレティックトレーナーは、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。
- (5) 都道府県選手団本部役員の 1 日当たりの編成人数については、上記(1)及び(2)による人数を上限とする。
- (6) 都道府県選手団本部役員の申込みは、監督及び選手の申込みと同時に「8 参加申込方法」に定める方法により行う。

13 視察員

- (1) 視察員は、1 都道府県 3 名以内とする。ただし、2026 年以降の国民スポーツ大会冬季大会の開催が決

定又は内定している県については、20名以内とする。

(2) 視察員の申込みは、参加選手団の申込みと同時に、「8 参加申込方法」に定める方法により行う。

(3) 視察員は、原則として全ての会場に入場することができる。

14 ADカードの交付

都道府県選手団、大会役員・競技会役員及び競技団体が指定した競技役員、大会主催者及び競技会主催者が認めた者にはADカード（Accreditation Card）を交付する。

15 参加上の注意

(1) 大会期間中は、交付されたADカードを携帯しなければならない。

(2) 各都道府県の代表選手は、競技に際し、「国民スポーツ大会ユニフォーム規程」に基づき、ユニフォームを着用しなければならない。ただし、スケート競技については、同規程第5条を適用する。

16 個人情報及び肖像権に関わる取扱い

日本スポーツ協会、群馬県実行委員会、岡山県合同実行委員会、会場地市実行委員会及び国民スポーツ大会実施競技中央競技団体(以下「国スポ関係機関・団体」という。)は、参加申込等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取扱いに関して、次のとおり対応するものとする。

(1) 個人情報の取扱い

ア 利用目的

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国スポ関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ 公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、次の方法等により公表することがある。

(ア) 競技会プログラムへの掲載

(イ) 競技会場内におけるアナウンス等による紹介

(ウ) 競技会場内外の掲示板等への掲載

(エ) 大会関連ホームページへの掲載

(オ) 報道機関への提供

ウ 競技結果(記録)等

競技結果(記録)については、上記イで定めた個人情報とともに、次の方法等により公表することがある。

(ア) 群馬県実行委員会及び岡山県合同実行委員会が設置する記録本部を通じた公開

(イ) 国スポ関係機関・団体及び報道機関等による新聞・雑誌及び関連ホームページ等への掲載

(ウ) 国スポ関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載

(エ) 次回以降の競技会プログラムへの掲載【新記録、優勝及び上位入賞結果(記録)等】

(2) 肖像権に関する取扱い

ア 写真

国スポ関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が新聞・雑誌・

報告書及び関連ホームページ等で公開されることがある。

イ 写真(写真撮影企業等)

国スポ関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

ウ 映像

国スポ関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が中継・録画放映及びインターネットによって配信されることがある。

また、DVD等に編集され、販売・配布されることがある。

(3) 対応

ア 承諾の確認

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取扱いに関する承諾を得たものとして対応する。なお、各競技会における取扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。

イ 役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国スポ関係機関・団体と大会に関する契約をしている者及び大会運営関係者については、上記取扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

17 都道府県大会及びブロック大会等

この大会の予選として、次のとおり都道府県大会(ブロック大会)を開催しなければならない。

- (1) 都道府県の主催団体は、必要に応じて日本スポーツ協会及び中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。なお、日本スポーツ協会及び中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。
- (2) 都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。
- (3) 参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申し込む。なお、1人1競技に限る。
- (4) ブロック大会の申込みは、原則として国民スポーツ大会参加申込システムにより行い、様式は、日本スポーツ協会及び当該主催団体が協議の上、作成する。なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。
- (5) 都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。
- (6) 参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。

18 国民スポーツ大会参加者傷害補償制度

日本スポーツ協会及び都道府県体育・スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民スポーツ大会参加者補償制度を運営する。

- (1) 本制度の対象となる参加者は、ブロック大会及び本大会に参加する本制度給付規程に定められた選手、監督、選手団本部役員(顧問を含む。)、視察員並びにその他選手団役員とする。
- (2) 大会参加の都道府県体育・スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者傷害補償制度の対象となる参加

者数に応じた制度負担金(1人あたり1,000円)を日本スポーツ協会へ納入する。

- (3) 納入締切日及び納入先については、別途日本スポーツ協会から都道府県体育・スポーツ協会へ通知する。

19 その他

- (1) 参加申込及び宿泊申込が定められた締切日までに行われない場合、又は参加負担金が定められた締切日までに納入されない場合は、この大会への参加を認めない。
- (2) 大会運営にあたり、選手・観客・大会関係者への安全を最優先に配慮し、気象状況・感染状況・交通状況・テロ行為等の各種災害に伴い、安全確保が見込めないと主催者が判断した場合は、主催者の指示に従うものとする。また、安全確保のために、参加申込システムに登録された以外の個人情報を取得する可能性がある。取得した情報については、目的以外に利用しない。
- (3) その他の事項については、国民スポーツ大会開催基準要項及び同細則による。

別記1【国民スポーツ大会ふるさと選手制度】

- 1 成年種別に出場する選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号及び第10項第4号(参加資格及び年齢基準等)〕に基づき、次のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。
 - (1) 居住地を示す現住所
 - (2) 勤務地
 - (3) ふるさと
- 2 「ふるさと」とは、卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。ただし、JOC エリートアカデミーに係る選手については、別に定める「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第3項により取り扱うものとする。
- 3 我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者及び「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。ただし、「日本国籍を有する者及び『永住者』」に該当しない者であっても、当該大会年の4月30日(冬季大会は前年の4月30日)以前から本大会終了時(冬季大会は各競技会終了時)まで継続的に日本に滞在している場合は、本制度を活用できるものとする。なお、やむを得ない事情により、一時的に日本を離れる場合は、総日数の半数を超えて日本で滞在していること。
- 4 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。
- 5 「ふるさと」から参加する選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③(国内移動選手の制限)に抵触しないものとする。
- 6 ふるさと選手制度の活用については、原則として、1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までとする。
- 7 参加都道府県は「ふるさと選手」を所定の様式、方法により、「8 参加申込方法」で定めた参加申込み締切り期日までに、公益財団法人日本スポーツ協会宛に提出する。

別記2【「一家転住等」に伴う特例措置】

転校への特例

- 1 次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－（1）－1）－③）に抵触しないものとする。
 - （1）この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。
 - （2）本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。なお、「一家転住等」とは概ね次のことをいう。
 - ア 親の転勤による一家の転居
 - イ 親の結婚、離婚による一家の転居
 - ウ 上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居
 - （3）転居した時点に応じて、次の手続きを終了していること。
 - ア 本特例を受けようとする参加者は、下記2（1）の場合は転居元、下記2（2）の場合は転居先が属する都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。
 - イ 報告を受けた都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体は、下記2（1）の場合は転居先、下記2（2）の場合は転居元が属する都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。
- 2 本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。
 - （1）転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合
 - イ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合
 - ウ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合
 - （2）転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記3【JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置】

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、下記1に該当する者については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項[国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号及び第10項第4号(参加資格及び年齢基準等)]及び別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に関し、次の2～4の特例を適用する。

1 対象者

- (1) 少年種別年齢域の選手でJOCエリートアカデミーに在籍する者
- (2) 成年種別年齢域の選手でJOCエリートアカデミーを修了した者、又は同アカデミーに在籍する者

2 少年種別年齢域の選手の所属都道府県

本特例第1項－(1)に定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－2)－②に定める「居住地を示す現在所」、「学校教育法第1条に規定する学校の所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

3 成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

本特例第1項－(2)に定める成年種別年齢域の選手は、別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」第2項に定める卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

4 国内移動選手の制限に係る例外適用

本特例第1項－(1)に定める少年種別年齢域の選手が前回の大会(都道府県大会を含む)と異なる都道府県から参加する場合、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③(国内移動選手の制限)に抵触しないものとする。

[注]本特例第1項－(2)に定める成年種別年齢域の選手については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③(国内移動選手の制限)の規定に従い取り扱うものとする。

5 その他

中央競技団体が国際競技力向上施策として独自に実施するアカデミー事業については、当該中央競技団体からの申請を踏まえ、当該事業の内容がJOCエリートアカデミーに準拠し実施されていることが、公益財団法人日本オリンピック委員会により確認された場合に限り、国民スポーツ大会委員会の決議を経て当該事業を本特例の対象に加えることができる。

別記4【トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置】

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置(以下「本特例」という。)」を以下のとおり定める。

1 本特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、次の条件のいずれかを満たす者とする。

- (1) 第24回オリンピック冬季競技大会(2022年・北京)に参加した者。
- (2) 2024年10月31日時点で、以下のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者。

ア JOCオリンピック強化指定選手

イ 各競技(種目)における国内ランキング上位10位以内の者

ウ 中央競技団体が定めた強化指定選手

[注]強化指定ランクについては、各競技会における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

2 本特例の内容

(1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会及びブロック大会を経ずに国民スポーツ大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手又はチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

(2) 資格要件(日数要件の緩和)

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」又は「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

(ア) 2024年4月30日以前から各競技会終了時(スケート競技会 2025年1月30日/アイスホッケー競技会 2025年2月5日)まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外(海外を含む)において生活している実態がないこと。なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

- a 自ら所有する住居、又は自らの名義で住居を賃借していること
- b 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
- c 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
- d 当該住居に主要な家財道具が存すること

(イ) 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

(ア) 2024年4月30日以前から各競技会終了時(スケート競技会 2025年1月30日/アイスホッケー競技会(2025年2月5日)まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。

(イ) 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項
－ (1) - 1) - ③のとおりとする。

別記5【東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置】

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況及び影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の6県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

次の選手及び監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

<特例の対象者>

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。ただし、次の事項のいずれにも該当していること。

ア 2011年3月11日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。若しくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2024年4月30日以前から各競技会終了時（スケート競技会 2025年1月30日／アイスホッケー競技会 2025年2月5日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した次の選手及び監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、特別大会または第78回大会に当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

<特例の対象者>

被災地域から避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。ただし、次の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2011年3月11日時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。若しくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていること。なお、移動が生じた時期が2024年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」及び「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出又は学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると公益財団法人日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第 78 回大会に参加した者が、第 79 回大会において、次のような震災に係る理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項－(1)－1)－③(国内移動選手の制限)には抵触しないものとする。

<例> ○避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする場合

○他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校又は高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、次のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校又は高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

<特例の対象者>

2011 年度から 2012 年度(小学校は 2015 年度)までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校又は高等学校を卒業した者。

別記6【能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置】

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況及び影響等を総合的に勘案し、新潟県、富山県、石川県、福井県の4県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手及び監督については、「居住地を示す現住所」、「『学校教育法』第1条に規定する学校の所在地（以下『学校所在地』という。）」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

<特例の対象者>

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

- ①令和6年1月1日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。
- ②災害が発生しなかったと仮定した場合、当該大会開催年（冬季大会は開催前年）の4月30日以前から当該大会終了時まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

- 1) 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手及び監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、特別大会または第78回大会に、当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項 - (1) - 1) - ③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

<特例の対象者>

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

- ①令和6年1月1日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。
- ②移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が当該大会開催年（冬季大会は開催前年）の4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」及び「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

- 2) 本項 1) を適用して避難等による移動先の都道府県から当該大会の前回大会または当該大会に参加した者が、当該大会の次回大会において、以下のような震災に係る理由により再度都道府県を移

動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項 - (1) - 1) - ③ (国内移動選手の制限) には抵触しないものとする。

<例>○避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合

○他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

①卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

②災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記②の学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

<特例の対象者>

2024年度から2025年度(小学校は2028年度)までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

第 79 回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会 参加選手・監督【交代（変更）届・棄権届】

※手続きにあたっては、次ページの留意事項を参照すること

※「交代（変更）届」又は
「棄権届」のいずれかを
○で囲むこと

1 参加申込者

競技名		種別		部・種目別	
参加申込者名					

2 交代（変更）・棄権の理由（該当する番号に○をつけ、症状や具体的な内容をチェック又は記述）

1. 体調不良のため（症状：_____）
2. 怪我のため
3. その他（_____）

3 交代（変更）者 ※棄権の場合は記入不要

フリガナ		生年月日	(西暦)		
氏名			年	月	日生 (歳)
連絡先 (TEL)※1		連絡先 (メール)※1			
所属区分※2		所属の所在地※3			
プログラム掲載用所属					
特別大会 参加都道府県名		第78回大会 参加都道府県名		例外適用 ※4	
中央競技団体 登録の有無	有 ・ 無	有の場合 登録番号等			
その他の必要事項(身長、体重、記録等)					
JSP0 公認スポーツ指導者資格 ※監督交代の場合記入	資格名 登録番号	有効 期限	年	月	

※1 交代（変更）者が監督の場合は、連絡先を記入。

※2 第79回大会(都道府県予選会、ブロック大会)所属都道府県について、次のいずれを選択して参加したかを記入。

成年種別 (ア. 居住地を示す現住所 イ. 勤務地 ウ. ふるさと)

少年種別 (ア. 居住地を示す現住所 イ. 学校教育法第1条に規定する学校の所在地 ウ. 勤務地

エ. 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地)

※3 所在地は、市区町村名まで記入。ふるさとを選択した場合には「卒業学校名」を記入。

※4 今回(第79回大会)と第78回大会(不出場の場合は特別大会)の参加都道府県が異なる場合のみ記入。

(1. 新卒業者 2. 結婚又は離婚 3. ふるさと(成年) 4. 一家転住(少年) 5. JOCエリートアカデミー(少年)

6. 東日本大震災に係る特例措置 7. 能登半島地震に係る特例措置)

年 月 日

当該中央競技団体会長(代表者) 殿

第79回国民スポーツ大会冬季大会当該開催県実行委員会会長 殿

体育・スポーツ協会

会長(代表者)

協会・連盟

会長(代表者)

第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会 参加選手・監督交代（変更）・棄権手続きにあたっての留意事項

1 交代（変更）手続き

特別な事情で選手又は監督を交代（変更）する場合には、次の手続きを行うこと。ただし、交代（変更）を認めるか否かについては、当該中央競技団体の判断による。

- (1) 実施要項総則及び当該競技実施要項を参照し、交代（変更）する選手又は監督の参加資格を確認した上で、交代（変更）届に必要な事項を記入し、各競技が定める方法により提出すること。
- (2) 添付書類（診断書等）については、各競技の定めにより提出すること。
- (3) その他、競技により別に定める事項がある場合はそれに従うこと。

2 棄権手続き

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、次の棄権手続きをとること。

- (1) 当該選手又は監督は、所属都道府県の連絡責任者へ連絡すること。連絡を受けた都道府県連絡責任者（※1）は、棄権届に必要な事項を記入し、当該競技会責任者（※2）、当該開催県実行委員会（※3）宛に提出すること。なお、原本は提出後必ず保管し、下記3に従い、後日、公益財団法人日本スポーツ協会へ提出すること。
- (2) 中央競技団体への診断書等の添付は不要。
- (3) その他、競技により別に定める事項がある場合にはそれに従うこと。

3 大会終了後の手続き

大会終了後、都道府県体育・スポーツ協会並びに中央競技団体は、次の手続きを行うこと。

- (1) 都道府県体育・スポーツ協会は、大会終了後通知される公益財団法人日本スポーツ協会の案内に従い、交代（変更）手続き後の参加申込情報の修正を行うこと。ただし、棄権手続きの場合、参加申込情報の修正は不要。
- (2) 大会終了後2週間以内に、下記を公益財団法人日本スポーツ協会に提出すること。
 - ア 中央競技団体は、交代（変更）届（写し）及び棄権届（写し）
 - イ 都道府県体育・スポーツ協会は、棄権届（原本）及び棄権届提出一覧

※1 都道府県選手団連絡責任者に関する情報は、公益財団法人日本スポーツ協会が大会開催前に各都道府県体育・スポーツ協会に対し照会を行い、取りまとめの上、中央競技団体に通知する。

※2 競技会責任者及び指定連絡先は、公益財団法人日本スポーツ協会が大会開催前に各中央競技団体に対し照会を行い、取りまとめの上、都道府県体育・スポーツ協会に通知する。

※3 「1 交代（変更）届」と同様に「2 棄権届」についても、各競技が定める開催県実行委員会に提出すること。

各競技実施要項

◇ 正式競技 ◇

〔1〕スケート競技

1 期 日 2025年1月26日(日)から1月30日(木)まで(5日間)

実施競技	競技期間
スピード	2025年1月26日(日)から1月29日(水)まで(4日間)
ショートトラック	2025年1月27日(月)から1月28日(火)まで(2日間)
フィギュア	2025年1月27日(月)から1月30日(木)まで(4日間)

2 会場

会場地	実施競技	競技会場
群馬県渋川市	スピード	高崎健康福祉大学伊香保リンク
岡山県岡山市	ショートトラック	岡山国際スケートリンク
岡山県倉敷市	フィギュア	ヘルスピア倉敷アイスアリーナ

3 種別、種目及び参加人員

(1) 種別及び種目

ア スピード

種 別	種 目
成年男子	500m・1000m・1500m・5000m・2000mR
成年女子	500m・1000m・1500m・3000m・2000mR
少年男子	500m・1000m・1500m・5000m・10000m・2000mR
少年女子	500m・1000m・1500m・3000m・2000mR

イ ショートトラック

種 別	種 目
成年男子	500m・1000m・5000mR
成年女子	500m・1000m・3000mR
少年男子	500m・1000m
少年女子	500m・1000m

ウ フィギュア

種 別	種 目
成年男子	ショートプログラム フリースケーティング
成年女子	
少年男子	
少年女子	

(2) 参加人員

種別	監督	選手	都道府県	小計	合計
成年男子	12名以内	30名以内	47	1都道府県 66名以内	858名以内
成年女子					
少年男子		24名以内			
少年女子					

各都道府県は、監督12名、選手54名、計66名以内で編成し、各種別、各種目の参加者数は上記のとおりとする。ただし、総計858名を超える場合は、公益財団法人日本スケート連盟が調整する。成年選手が監督を兼任する場合、種別・種目を跨ぐ兼任は認めない。また、専任監督の種別の兼任は認めるが、種目を跨ぐ兼任は認めない。

ア スピード

(ア) 各都道府県のエントリーは、前年度の国民スポーツ大会で各種別の総合順位が1位から16位までの都道府県は各種別最大8名まで、17位以下の都道府県は各種別最大5名までとする。ただし、国民スポーツ大会開催県が17位以下の場合は16位に繰り上げる。

各都道府県の種別順位が16位までの中に得点が得られなかった場合、順位が決定している都道府県以下の順位の決定は、各種目予選から決勝までのレースごとにパフォーマンスポイントを1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点を与えて都道府県ごとの合計得点により以降の順位を決定する。この場合、長距離(3000m・5000m・10000m)に限り、1位12点、2位11点、3位10点、4位9点、5位8点、6位7点、7位6点、8位5点、9位4点、10位3点、11位2点、12位1点とする。

(イ) 1種目2名以内、1名2種目(リレーは除く。)以内とする。また、最大枠の中で各種目1名の補欠をエントリーできる。リレーのエントリーは1チーム6名以内とし、競技は4名で行う。

(ウ) エントリー後における選手の交代は、公益財団法人日本スケート連盟スピードスケート競技規則運用マニュアル 3-6 国スポの組合せに関する取扱いについて(2)に定める事由に準ずる。

(エ) スピードとショートトラックに重複してエントリーすることはできない。

(オ) 監督はスピード、ショートトラック、フィギュアを合わせて12名以内とする。

イ ショートトラック

(ア) 前年度の国民スポーツ大会で各種別の総合順位が1位から8位までの都道府県と、前年の全日本都道府県対抗競技会で、各種別の総合順位が上記8位までを除いた都道府県で、各種別それぞれ8位まで、計16の都道府県は、成年男女種別各5名以内、少年男女種別各2名以内とし、17位以下の都道府県は各種別1名とし、国民スポーツ大会開催県が17位以下の場合は16位に繰り上げ、以下の順位を繰り下げる。前年度の国民スポーツ大会の各都道府県の種別順位が8位までの中に得点が得られなかった場合は、全日本都道府県対抗競技会の成績による。

(イ) 1種目2名以内、1名2種目(リレーは除く。)以内とする。また、最大枠の中で各種目1名の補欠をエントリーできる。リレーのエントリーは1チーム5名以内とし、競技は4名で行う。

16位までの都道府県少年男女種別と17位以下の都道府県各種別については、エントリー後に病気、けが等で出場できない場合は、抽選会以前でレフェリーが認めた時に限り変更することができる。

(ウ) 上記以外のエントリー後における選手の交代は、公益財団法人日本スケート連盟スピードスケート競技規則運用マニュアル 4-7 国スポショートトラック競技の組合せに関する取扱いについて(2)に定める事由に準ずる。

(エ) ショートトラックとスピードに重複してエントリーすることはできない。

(オ) 監督はスピード、ショートトラック、フィギュアを合わせて12名以内とする。

ウ フィギュア

(ア) 参加人数は、各種別とも1都道府県1チーム2名とする。

参加都道府県は、aからcに該当する最大16チームである。

a 前年度国民スポーツ大会で、各種別の総合順位が上位8チームで今年度の予選参加申込締切日までに大会出場の意向を提出したチーム

b 第79回国民スポーツ大会冬季大会フィギュア競技予選会において出場権を得たチーム

c 開催都道府県で今年度の予選参加申込締切日までに大会出場の意向を提出したチーム

(イ) 監督はスピード、ショートトラック、フィギュアを合わせて12名以内とする。

4 競技上の規定及び競技方法

(1) スピード

ア 公益財団法人日本スケート連盟シングルトラックスピードスケート競技特別規則による。トラックは、「387.36m標準シングルトラック(Cタイプ)」を使用する。

イ 競技は個人及び都道府県対抗とし、種目ごとに予選及び決勝を行う。なお、予選及び決勝は、次の方法により行う。

(ア) 予選は、各都道府県からの出場申込記載順によりシードして組み合わせる。

(イ) 決勝出場者

a 8名以内(男女500m、男女1000m、男女1500m)

b 12名以内(男子5000m、男子10000m、女子3000m)

(ウ) 出場者数が上記の人数を超えた場合は予選を行う。ただし、申込者数が9名の場合は、予選を行わず決勝とする。

(エ) 男女500m、1000m、1500mについては、出場者数により準決勝を行うことができる。

(オ) 500mとリレー競技では、決勝A(1位～4位)及び決勝B(5位～8位)を行い、順位を決定する。ただし、参加者(チーム)が6名(チーム)以内の場合は決勝のみとする。

(カ) 組合せに当たっては、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本スケート連盟イベントコーディネーター、レフェリー及びスピード委員が立会い、責任をもって調整する。

ウ リレーの編成は、エントリー選手であれば予選と決勝で同一選手でなくてもよい。ただし、メンバー及び出走順の提出はリレー競技開始1時間前までとし、スケートの破損、選手の負傷等の特別な理由による変更の申し出は、リレー競技開始30分前までとする。

エ 責任先頭制の競技方法を採用する。

(ア) 責任先頭を課す距離及び回数は、次のとおりとする。

1000m(1回)、1500m(1回)、3000m(2回)、5000m(4回)、10000m(8回)

(イ) 責任先頭判定ラインは、両ストレートの中央に、走路に直角に引いた線とし、シングルトラック競技のフィニッシュの判定基準により行う。ただし、責任先頭の回数は、1000mを除きスタート後最

初の判定ラインを除外する。

(ウ) 責任先頭の負荷種目の順位は、責任先頭を完了した者を優先して、到着順で順位を決定する。

また、責任先頭を完了しなかった者は、取得した回数の多少にかかわらず到着順とする。ただし、男子 10000mにおいては、責任先頭を完了した者を優先して到着順に順位を決定し、次に回数未完了者の中で、取得回数の多い順に順位を付け、同回数の場合は到着順で決定する。さらに、未取得の者が到着順にこれに続く。

オ 抗議は、監督を通じてのみ行うことができる。

カ 出場選手の安全装具の装着について、下記の通り定める。

(ア) レーシングスーツはカットレジスタンス素材（部分的含む）が望ましい

(イ) ASTM 基準のヘルメットの着用

(ウ) 革製又はカットレジスタンス素材の手袋の着用

(エ) シンガード（脛あて）の着用

(オ) ネックプロテクションの着用

(カ) アンクルプロテクションの着用

(キ) ブレードの両端は最小半径 10mm で丸くされていること

キ 補欠選手との変更または棄権する場合は、当該種目の開始 1 時間前までに、所定の様式に必要事項を記入の上、文書で届け出を行うものとする。

(2) ショートトラック

ア 公益財団法人日本スケート連盟ショートトラックスピードスケート競技特別規則による。トラックは、標準ショートトラックを使用する。

イ 競技は個人及び都道府県対抗とする。

ウ 出場者をもって予選、準決勝、決勝、順位決定レースを行い、順位を決定する。なお、予選及び決勝は、次の方法により行う。

(ア) 各種目ともエリミネーション方式とし、ラウンド及び組数は、出場者数に基づいて設定する。

(イ) レフェリー救済者を除き、500m、1000mの準決勝及び決勝は 4 名までの編成とする。

(ウ) レフェリー救済者を除き、各レースの 1 位、2 位の者は次のラウンドに進出できる。

(エ) 同種別のレース間に最低 15 分間の休憩時間をおく。

(オ) 成年男子リレーの予選、準決勝は 3000mで行う。

エ 各種目とも、最初のラウンドの組合せは、各都道府県からの出場申込記載のブロック別とし、そのブロックにおけるラウンドの編成は、今年度全日本距離別ランキングに基づいて、次にバジテスト級により同一級の中で抽選して各組に配置する。

また、補欠を起用する場合は予選にのみ適用し、交代者の組に置き換えることとし、全体の組合せの変更は行わない。組合せにあたっては、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本スケート連盟イベントコーディネーター、レフェリー、コンペチターズスチュワード及び公益財団法人日本スケート連盟スピード委員が立会い、責任をもって調整する。

オ 補欠選手との変更または棄権する場合は、当該種目の開始 1 時間前までに、所定の様式に必要事項を記入の上、文書で届け出を行うものとする。

カ 順位は、決勝レース及び順位決定レースにより、1 位から 8 位を決定する。

(3) フィギュア

ア 2022年国際スケート連盟特別規程、技術規程に準ずる。採点はISUジャッジングシステムによる。

イ 各種別参加選手32名以内によってショートプログラムを行い、上位24名によるフリースケーティングを行い、2名の総合成績合計で各チームの順位を決定する団体競技とする。

数値が同じ場合は、個人成績の良い選手を含むチームが上位となる。

[注]①1名では参加できない。

②2名申込みの場合でも1名が棄権した場合は、そのチームは失格とする。

ウ 本大会においてショートプログラム終了以前に1名でも選手が棄権した場合は、そのチームは失格となる。ただし、フリースケーティングにおける棄権は、棄権した選手に対しフリースケーティングの最下位の順位が与えられる。

エ 予選チームと本大会出場チームは、有資格者であればメンバーが異なっても構わない。

オ 本選において選手の変更のある場合は、監督会議前に文書で届け出た場合のみ1名の変更を認めることができる。抽選後の変更は認められない。

カ 競技課題

ショートプログラムは、2022年国際スケート連盟技術規程第611条に基づき、少年はISUジュニア課題、成年はISUシニア課題とする。

フリースケーティングは、2022年国際スケート連盟技術規程第612条に基づき、少年はジュニア、成年はシニアのISU規則に準ずる。

キ 滑走時間

(ア) ショートプログラム滑走時間は、2分40秒±10秒とする。

(イ) フリースケーティング滑走時間は、成年男子・成年女子4分±10秒、少年男子・少年女子3分30秒±10秒とする。

ク 音楽は、CDを使用することとし、最初から再生できるものとする。また、必ず予備の音源も持参すること。

ケ 演技予定要素リストは、参加選手個人において2025年1月7日(火)までに公益財団法人日本スケート連盟ホームページ「マイページ」より登録すること。

登録手続きURL <https://www.skatingjapan.jp/mypage/> なお、登録できない場合は、都道府県単位でまとめて次の送付先へ提出すること。

【送付先】

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 内

公益財団法人 日本スケート連盟 E-mail: jsf@skatingjapan.or.jp

コ 滑走順抽選は監督会議において行う。

5 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

「2 実施要項総則」5に定めるもののほか、次のとおりとする。

(1) 監督

公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格制度に基づく公認スケートコーチ1、公認スケートコーチ2、公認スケートコーチ3、公認スケートコーチ4、又は公認スケート教師の資格を有すること。

(2) スピード

公益財団法人日本スケート連盟バッジテストB級以上（スピード・ショート）の資格を有する者（バッジテスト認定証は、必ず持参すること。）

(3) ショートトラック

公益財団法人日本スケート連盟バッジテストB級以上（スピード・ショート）の資格を有する者（バッジテスト認定証は、必ず持参すること。）

(4) フィギュア

各種別とも、公益財団法人日本スケート連盟フィギュアバッジテスト総合5級以上の資格を有する者。ただし、中学3年生が参加する場合は、バッジテスト総合6級以上とする。

6 総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点を合計し、その得点の多い都道府県順に1位から8位までを決定する。ただし、同得点の場合はその順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1) 競技得点の種類

ア 各種目に与える得点競技：スピード、ショートトラック

イ 種別に与える得点競技：フィギュア

(2) 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競 技 得 点
成年男子 成年女子	成年女子	スピード、ショートトラック：各種目（リレーを含む。）とも、1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点の競技得点を与える。
少年男子 少年女子	少年女子	フィギュア：各種別とも、1位24点、2位21点、3位18点、4位15点、5位12点、6位9点、7位6点、8位3点の競技得点を与える。

※同得点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

得点は、次の順位の得点を加え、当該都道府県で等分する。

(3) 参加得点

大会（ブロック大会等を含む。）に参加した都道府県に、参加得点10点を与える。ただし、第79回国民スポーツ大会冬季大会フィギュア競技予選会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

7 表 彰

(1) 男女総合成績及び女子総合成績の1位から8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(2) 男女総合成績1位の都道府県に、国民スポーツ大会会長トロフィーを授与する。

(3) 競技の各種別及び種目の1位から8位までに賞状を授与する。ただし、団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督含む。）の氏名を記載したものを都道府県用に1枚、さらに、その都道府県名と当該個人名を記載したもの又は都道府県と各チーム全員（監督を含む。）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

8 諸会議

(1) 組合せ抽選会

ア スピード

日 時 2025年1月12日(日) 13:30～

場 所 群馬県庁 28階 281-B会議室

電 話 027-226-4705

イ ショートトラック

日 時 2025年1月13日(月) 13:00～

場 所 岡山県庁 7階 環境文化部会議室

電 話 086-226-7475

(2) 監督会議

ア スピード

日 時 2025年1月25日(土) 15:30～

場 所 ホテル天坊 バンケットホール「インペリアル」

電 話 0279-72-3880

イ ショートトラック

日 時 2025年1月26日(日) 13:30～

場 所 岡山国際スケートリンク 2階ダンス室

電 話 086-225-4058

ウ フィギュア

日 時 2025年1月26日(日) 13:30～

場 所 ヘルスピア倉敷 多目的ホール

電 話 086-444-0888

(3) 競技役員会議

ア スピード

日 時 2025年1月25日(土) 13:00～

場 所 高崎健康福祉大学伊香保リンク

電 話 0279-72-3144

イ ショートトラック

日 時 2025年1月26日(日) 14:30～

場 所 岡山国際スケートリンク 2階ダンス室

電 話 086-225-4058

ウ フィギュア (レフェリー、テクニカル・コントローラー会議)

日 時 2025年1月26日(日) 12:30～

場 所 ヘルスピア倉敷 講義室

電 話 086-444-0888

9 その他

その他の事項については、総則の定めによる。

〔2〕アイスホッケー競技

1 期 日 2025年2月1日(土) から2月5日(水) まで(5日間)

種 別	2月1日(土)	2月2日(日)	2月3日(月)	2月4日(火)	2月5日(水)
成年男子	1回戦	2回戦	準々決勝	準決勝 順位決定戦	決勝 3位決定戦
少年男子		1回戦	準々決勝 順位決定戦	準決勝 順位決定戦	決勝 3位決定戦

2 会 場

会 場 地	競 技 会 場	住 所
岡山市	岡山国際スケートリンク	岡山市北区岡南町 2-3-30
倉敷市	ヘルスピア倉敷アイスアリーナ	倉敷市連島町西之浦 4141

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	参加都道府県数	小 計	合 計
成年男子	1	16	26	442	663
少年男子	1	16	13	221	

4 競技上の規定及び競技方法

- (1) アイスホッケー公式国際競技規則及び本大会要項による。
- (2) トーナメント方式により、1位から8位までを決定する。
- (3) 5位から8位までの順位決定戦の組合せ抽選は行わない。
- (4) 試合前の練習は、試合開始 25 分前から 10 分間とし、競技時間は、1 試合を第 1、第 2、第 3 ピリオドの 3 回に分け、ピリオド間にインターバルを挟む。
 成年 1 回戦、2 回戦、準々決勝、順位決定戦、少年 1 回戦、準々決勝、順位決定戦は各ピリオド正味 15 分、成年・少年ともに準決勝、3 位決定戦、決勝は、各ピリオド正味 20 分とし、インターバルは全ての試合 10 分とする。
- (5) 1・2 回戦、準々決勝、順位決定戦で第 3 ピリオド終了時に同点の場合は、直ちに 3 名によるペナルティショット・シュートアウトを行う。決しない場合は、1 名ずつのサドンデス方式によるペナルティショット・シュートアウトを行う。
 これ以外の試合で第 3 ピリオド終了時に同点の場合は、3 分間の休憩後、5 分間のサドンデス方式による「3 on 3 方式」の延長ピリオドを行う。決しない場合は、3 名によるペナルティショット・シュートアウトを行う。それでも決しない場合は、1 名ずつのサドンデス方式によるペナルティショット・シュートアウトを行う。
- (6) 全ての試合において、10 点差以上の得点差がついた時点で、次のフェイスオフ以降のゲームタイムは、ランニングタイムとする。
 ア 点差が縮まった場合でも、継続する。
 イ 次の場合は、時計を止めるものとする。
 (ア) 得点時一旦止めるが、レフェリーがオフィシャルに報告にきた時点で、直ちにスタートする。
 (イ) 反則発生時一旦止める。次のフェイスオフでスタートする。

- (ウ) 選手が負傷し交代に時間を要する場合やチームからの質問などで時間を要する場合などは、レフェリーの指示で時計を止める。次のフェイスオフでスタートする。
- ウ 反則時間終了時にプレーが止まっていたら、その選手は次のフェイスオフでパックがドロップされるまでペナルティーベンチから出られない。
- (7) 成年、少年とも大会登録は、大会中にゴールキーパー1名を含め、16名以内とする。なお、試合進行のために必要な員数を氷上に揃えることができなくなった時点で没収試合とし、0対15で当該チームの敗戦とする。
- (8) 各チームは、1試合（60分又は45分のレギュレーション・タイムと延長）の間に30秒のタイムアウトを1回取ることができる。

5 予選方法

- (1) 予選は都道府県大会及びブロック大会とする。
- (2) 都道府県大会は各都道府県スポーツ協会等の主催とし、ブロック大会は各ブロック内関係都道府県スポーツ協会等の共催、開催地連盟の主管とする。
- (3) ブロック大会の関係都道府県及び選出チーム数は次のとおりとする。

ブロック名	都道府県名	成年	少年
北海道	北海道	1	1
東北	青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	4	2
関東	茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨	5	4
北信越・東海	新潟・長野・富山・石川・福井・静岡・愛知・三重・岐阜	4	3
近畿	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山	4	
中国・四国	鳥取・島根・広島・山口・香川・徳島・愛媛・高知	3	2
九州	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	4	
開催地	岡山	1	1
計		26	13

6 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

- 「2 実施要項総則」5に定めるもののほか、次のとおりとする。
- (1) 2024-2025シーズンアジアリーグに出場したチームに所属登録された者は出場できない。
- (2) 本大会の参加人員は、「アイスホッケー競技要項」の3によるが、選手については、各都道府県大会及びブロック大会に出場した者のうちからメンバーを編成する。
- (3) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく公認アイスホッケーコーチ1、公認アイスホッケーコーチ3又は公認アイスホッケーコーチ4の資格を有すること。

7 参加申込、交代

- 「2 実施要項総則」8に定めるもののほか、次のとおりとする。
- (1) 本大会の参加申込は、監督1名、選手16名、予備登録選手9名以内とする。
- (2) 選手又は監督の交代届は、所定の様式により監督会議開始前までに提出するものとし、あわせて交代届の写しを監督会議に持参すること。
- (3) 選手の交代は、予備登録選手に限り認める。

- (4) 監督は、特別な事情がある場合、大会期間中の交代を認める。ただし、交代者は6(3)に掲げる監督要件を有する者に限る。

8 総合成績決定方法

総合成績(天皇杯得点)は、競技得点と参加得点を合計し、その得点の多い都道府県順に1位から8位までを決定する。ただし、同得点の場合はその順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1) 競技得点

天皇杯対象種別	競技得点
成年男子 少年男子	各種別の1位40点、2位35点、3位30点、4位25点、5位20点、6位15点、7位10点、8位5点の競技得点を与える。ただし、同順位の場合はその順位を共有し、次の順位を欠位とする。得点は次の順位の得点を加え、当該都道府県で等分する。

(2) 参加得点

大会(ブロック大会を含む。)に参加した都道府県に、参加得点10点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

(3) その他

ア 総合成績(天皇杯得点)の決定は、公益財団法人日本アイスホッケー連盟が行う。

イ 天候その他の事情により一部競技が中止になった場合の成績は、大会総務委員会と公益財団法人日本アイスホッケー連盟が協議する。

9 表彰

(1) 総合成績の1位から8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(2) 総合成績1位の都道府県に、国民スポーツ大会会長トロフィーを授与する。

(3) 各種別の1位から8位までに賞状を授与する。

賞状は、その都道府県名とチーム全員(監督を含む。)の氏名を記載したものを都道府県用に1枚、さらに、その都道府県名と当該個人名を記載したもの又は、都道府県名とチーム全員(監督を含む。)の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

10 参加上の注意

(1) 2025年1月7日(火)までにチームのホーム用及びビジター用ユニフォームの写真データをCDで郵送又はEメールで、次の送付先へ提出すること。

【送付先】

〒700-8570 岡山県岡山市北区内山下二丁目4番6号

第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(ショートトラック・フィギュア)・アイスホッケー競技会岡山県合同実行委員会事務局(岡山県環境文化スポーツ振興課国民スポーツ大会推進室内)

E-mail: kokuspo@pref.okayama.lg.jp

(2) 監督以外にベンチに入ることができるコーチは、ドクター資格又はトレーナー資格を有するコーチを含め6人以内とする。

(3) J.I.H.F.2021~2022発第312号[通知]に基づき、プレイヤーは、ユニフォームにタイダウンストラップを備え付けること。

- (4) J. I. H. F. 2021～2022 発第 226 号〔通達〕に基づき、マウスガードの着用について対応すること。
- (5) 少年に参加するプレイヤーは、J. I. H. F. 2021～2022 発第 226 号〔通達〕に基づき、適切な保護具を着用すること。
- (6) その他の事項は、「2 実施要項総則」15によるものとする。

11 諸会議

(1) 組合せ抽選会

- ア 日 時 2025 年 1 月 10 日 (金) 14:00～
- イ 場 所 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE
- ウ 電 話 03-5843-0375 (公益財団法人日本アイスホッケー連盟)

(2) 監督会議

- ア 日 時 2025 年 1 月 31 日 (金) 15:00～
- イ 場 所 ピュアリティまきび 2階「千鳥」
- ウ 電 話 086-232-0511

12 その他

その他の事項については、総則の定めによる。

宿泊要項

1 趣旨

この要項は、第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会（以下「大会」という。）に参加する選手・監督、都道府県選手団本部役員、大会役員、競技会役員、競技役員、視察員及び報道員（以下「大会参加者」という。）の宿泊等に関して、必要な事項を定める。

2 方針

第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（ショートトラック・フィギュア）・アイスホッケー競技会岡山県合同実行委員会は、第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（ショートトラック・フィギュア）・アイスホッケー競技会配宿センター（以下「配宿センター」という。）を設置し、緊密な連携のもと、相互に十分な連絡調整を行うとともに、関係する機関及び団体の協力を得て、大会参加者の宿泊について万全を期する。

3 業務の実施

配宿センターは、競技団体、旅館組合等の関係団体、宿泊施設等と連絡調整の上、大会参加者の宿舎の選定、確保、配宿等に関する業務にあたりるとともに、これに関する紛議が生じた場合は、調停及びあっせんを行う。

4 宿舎の選定及び確保

宿舎の選定及び確保については、次により行うものとする。

- (1) 大会参加者の宿泊は、原則として会場地市内の宿泊施設（旅館業法（昭和23年法律第138号）の許可を受けて営業を行う旅館・ホテル及び簡易宿所をいう。以下同じ。）を利用する。
- (2) 会場地市内の宿泊施設で大会参加者の収容が困難な場合は、近隣市町村の宿泊施設を利用する。
- (3) 風紀、衛生及び防災上支障があると認められる宿泊施設は利用しない。

5 配宿

大会参加者の配宿にあたっては、配宿センターが次の事項に留意して行うものとする。

- (1) 選手・監督の宿舎は、競技会場及び練習会場までの交通状況並びに都道府県別、競技別、種別及び男女別を可能な限り考慮して配宿する。
- (2) 選手・監督の宿舎は、原則として都道府県選手団本部役員、競技会役員及び競技役員とは別にする。
- (3) 競技会役員及び競技役員については、できる限り同一、又は近隣の宿舎に配宿する。
- (4) 1人の宿舎に要する広さは、3.3 m²（2畳）以上とする。

6 宿泊料金等

大会参加者の宿泊料金等は次のとおりとする。

(1) 宿泊及び素泊まり

ア 宿泊とは、入宿日の15時から、出発日の10時までの客室の使用をいうものとし、原則として1泊2食とする。

イ 素泊まりとは、食事を伴わない宿泊をいうものとする。

(2) 宿泊料金

宿泊料金は次の料金範囲内とする。ただし、定員未満での利用などを希望する場合は、この料金範囲を超えることがある。

区分	税率	宿泊料金		備考
		1泊2食	素泊まり	
営業 宿泊 施設	税抜	6,000円～16,000円※1	4,200円～11,200円※2	通常のサービス・奉仕料及び冷暖房料を含む
	10%	6,600円～17,600円	4,620円～12,320円	

※1 1泊2食の宿泊料金は、500円刻みとする。

※2 「素泊まり」料金は、「1泊2食」料金の70%相当額とする。

(3) 入湯税

入湯税については外税とし、宿泊料金とは別に支払うものとする。

(4) 欠食控除

欠食控除の適用は、朝食、夕食ともに前々日の12時までに申し出た場合に限る。ただし、夕食の場合、競技の進行状況により当該時刻までに申し出ることが困難な場合は、宿舎と協議して決定する。

ア 夕食を欠食した場合の宿泊料金

当該施設の宿泊料金から20%を控除した額とする。

イ 朝食を欠食した場合の宿泊料金

当該施設の宿泊料金から10%を控除した額とする。

区分	税率	夕食を欠食した場合	朝食を欠食した場合
営業 宿泊 施設	税抜	4,800円～12,800円	5,400円～14,400円
	10%	5,280円～14,080円	5,940円～15,840円

(5) 休憩料金

入宿日15時以前及び出発日の10時以降に客室を利用する場合の休憩料金は、各宿舎の規定に基づくものとする。

(6) 入浴料

宿泊者が宿舎からの要請により公衆浴場等を利用した時の入浴料は、当該宿舎が負担とする。

(7) 宿泊料金等の精算

宿泊料金等は、原則として各都道府県体育・スポーツ協会が、配宿センターに対して入宿前に事前振込することとし、宿泊責任者（宿泊申込代表者が宿泊者の中から定めた者。以下同じ。）が、各宿舎において宿泊者数の確認を行った上で、大会終了後に必要に応じて、配宿センターから各都道府県体育・スポーツ協会に差額を精算するものとする。

なお、振込手数料については、振込者が負担するものとする。

(8) 宿泊取消料

ア 大会参加の取りやめ等、やむを得ない理由により宿泊を取り消した場合の宿泊取消料は次のとおりとする。なお、素泊まりまたは欠食で申し込んだ場合は、その料金（税抜）を宿泊料金とする。

1 団体の 人数	旅行開始後の解除 または無連絡・不参加	当日	前日	2 日前	3 日前	4 日前	5 日前	6 日前	7 日前
1～14 名	100%	50%	20%			無 料			
15～30 名	100%	50%	20%					無 料	

(注) 荒天等による交通機関の不通で、宿舎への到着が困難な場合は、宿舎と協議して取消料を決定する。

※旅行開始後とは、ホテル、旅館等に1泊目の宿泊を開始した後（チェックイン後）を指す。

※上表の「1 団体の人数」の考え方は、スケート競技については各実施競技（ショートトラック、フィギュア）における各種別（成年男子、成年女子、少年男子、少年女子）、アイスホッケー競技については各種別（成年男子、少年男子）に対し、都道府県単位で申し込まれた選手・監督の人数を指す。なお、都道府県選手団本部役員、大会役員、競技会役員、競技役員、視察員及び報道員における取消料は、上表「1～14 名」を適用する。

イ 選手・監督が、荒天等による競技会会期の短縮決定又は競技敗退の理由により宿泊取消を申し出た場合の宿泊取消料は、前号の定めにかかわらず、特例として次のとおりとする。なお、この特例は選手・監督以外には適用しない。

申出区分	宿泊取消料	備考
敗退日当日又は競技会期短縮決定日 当日の宿泊取消し	宿泊料金（税抜）の 100%	素泊まり又は欠食で申し込んだ 場合は、その料金（税抜）を宿 泊料金とする。
敗退日翌日以降又は競技会期短縮決 定日の翌日以降の宿泊取消し	不要	

ウ 災害その他の事由（地震、風水害、感染症等）により、競技会（種目・種別）が中止となった場合は、入宿前後にかかわらず、上記アの例によるものとする。なお、この規定は、大会参加者すべてに適用するものとする。

エ 宿泊申込み後、変更・取消しの申出がないまま宿泊をしなかった場合の取消料は、上記ア、イの定めにかかわらず、宿泊料金（税抜）の全額とする。

オ アからエまでの宿泊取消料には、消費税に相当する金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）を加算するものとする。

カ 宿泊取消料は、宿泊責任者又は本人が配宿センターの指定する方法により支払うものとする。また、宿泊責任者又は本人が宿泊料金を支払うことができない場合は、宿泊申込代表者が最終責任を負う。

(9) 宿泊料金等の適用期間

宿泊料金等の適用期間は、2025年1月24日（金）15時から2025年2月6日（木）10時までとする。

7 宿泊の申込み

(1) 宿泊の申込みは、別に定める宿泊事務実施要領（以下「実施要領」という。）により、宿泊申込代表者がインターネットを利用して配宿センターに行うものとする。ただし、インターネットシステムの異常等により、インターネットによる申込みが困難な場合は、宿泊申込書に必要事項を記入のうえ、ファ

クシミリ又は郵便により行うことを認めるものとする。なお、効力の発生は、インターネットについては受信時、ファクシミリ等では到達した日時とする。

- (2) 選手・監督、都道府県選手団本部役員にあつては、第 79 回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会実施要項（以下「大会実施要項」という。）に定める人員を超える宿泊の申込みは認めない。
- (3) インターネット等による宿泊の申込みは、実施要領に定める申込期限までに行うものとする。
- (4) 選手・監督及び都道府県選手団本部役員については、申込期限までに宿泊の申込みがなかった場合は、大会実施要項の定めにより、大会への参加を認めない。

8 宿泊の変更及び取消し

- (1) 大会参加者の宿舍決定後の宿泊取消しについては、限られた宿泊施設を有効活用して配宿を行うことから、大会への参加取消し等の特別な事情のない限り認めない。なお、不適切な対応が発生した場合は、日本スポーツ協会国民スポーツ大会委員会において報告する。
- (2) 入宿前の変更及び取消しについては、実施要領の様式により、宿泊申込代表者がインターネットを利用して速やかに配宿センターに行くものとする。ただし、インターネットシステムの異常等により、インターネットによる変更や取消しが困難な場合は、ファクシミリや郵便により行うものとし、この場合にあつても、速やかに配宿センターへ連絡するものとする。なお、その効力の発生は、インターネットについては受信時、ファクシミリ等では到着した日時とする。
- (3) 入宿後にあつては、宿泊責任者が、直接当該宿舍へ速やかに申し出るものとし、その効力の発生は、当該申し出のあつた日時とする。
- (4) 配宿センターが指定する宿舍の変更は、原則として認めない。任意に変更したことによって生じたすべての損失は、任意に変更した者がその責任を負う。

9 食事

- (1) 大会参加者に提供する食事は、安全・安心で栄養バランスが良く、地元産の食材を取り入れた郷土色豊かな献立とし、関係者の協力を得て提供するものとする。
- (2) 昼食については、原則として自由調達とするが、あっせんを希望する場合は、配宿センターが定める弁当申込方法により申込みものとする。

なお、昼食（弁当）料金は次のとおりとする。

区分	消費税	料金
昼食弁当（お茶を含む）	税抜	1,000 円以内
	8%	1,080 円以内

10 アイスホッケー競技の用具保管場所

アイスホッケー競技の用具は、宿舍の指示に従い、指定された場所に保管する。

11 その他

- (1) この要項に定めるもののほか、宿泊業務の実施に関して必要な事項は、実施要領に定める。
- (2) 宿泊料金、昼食弁当料金ともに、消費税及び地方消費税の税率に変更があつた場合は、変更後の税率を適用する。

宿泊実績

【宿泊実績】

参加区分	1/24	1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31	2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	合計
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
選手		50	222	243	138	110	214	506	576	424	271	244	57	3,055
監督・コーチ		21	119	129	88	64	47	107	128	101	67	64	18	953
本部役員	2	17	126	136	91	58	12	49	87	86	49	49	9	771
大会役員		3	10	7	5	5		2	4	4	3	3		46
競技役員		21	74	76	32	24	1	43	50	46	40	30	3	440
視察員		3	9	7	5	7		2	5	4	1	1		44
報道員									1	1				2
招待者			5					2		1				8
合計	2	115	565	598	359	268	274	711	851	667	431	391	87	5,319

(選手)

競技	種別	1/24	1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31	2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	合計
		金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
ショートトラック	男子		30	90	91	19									230
	女子		15	60	60	11									146
	小計		45	150	151	30									376
フィギュア	男子		3	38	56	45	23								165
	女子		2	30	30	55	31								148
	小計		5	68	86	100	54								313
アイスホッケー	成年男子						52	151	377	411	253	153	126	25	1,548
	少年男子			4	6	8	4	63	129	165	171	118	118	32	818
	小計			4	6	8	56	214	506	576	424	271	244	57	2,366
合計		50	222	243	138	110	214	506	576	424	271	244	57	3,055	

弁当実績

【斡旋弁当実績】

弁当配付場所		1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31	2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	合計
		土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
岡山国際スケートリンク	昼			89	75			21	58	41	41	22	1	348
	夜													
	小計			89	75			21	58	41	41	22	1	348
ヘルスピア倉敷	昼			9	5		1	37	47	88	132	113	77	509
	夜		4	8	1									13
	小計		4	17	6		1	37	47	88	132	113	77	522
岡山芸術創造劇場ハレノワ	昼													
	夜													
	小計													
合計			4	106	81		1	58	105	129	173	135	78	870

【支給弁当実績】

弁当配付場所		1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31	2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	合計
		土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
岡山国際スケートリンク	昼	19	56	83	80		1	1	52	49	54	50	56	501
	夜		17	33	5		1	1	52	49	52	52		262
	小計	19	73	116	85		2	2	104	98	106	102	56	763
ヘルスピア倉敷	昼		35	62	66	71	45	1	60	48	48	47	48	531
	夜		32	40	50	60		1	51	48	47	47		376
	小計		67	102	116	131	45	2	111	96	95	94	48	907
岡山芸術創造劇場ハレノワ	昼		254											254
	夜													
	小計		254											254
合計		19	394	218	201	131	47	4	215	194	201	196	104	1,924

輸送交通要項

1 趣旨

この要項は、第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会（以下「大会」という。）に参加する選手・監督、都道府県選手団本部役員、大会役員、競技会役員、競技役員、視察員、報道員、その他関係者（以下「大会参加者」という。）及び一般観覧者の輸送・交通に関して必要な事項を定める。

2 基本方針

第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(スピード)群馬県実行委員会（以下「群馬県実行委員会」という。）、第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(スピード)渋川市実行委員会（以下「渋川市実行委員会」という。）及び第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（ショートトラック・フィギュア）・アイスホッケー競技会岡山県合同実行委員会（以下「岡山県合同実行委員会」という。）は、関係機関及び関係団体等（以下「関係機関等」という。）の協力を得て、大会参加者及び一般観覧者の安全・確実かつ円滑な輸送を行う。

3 輸送方法

(1) 大会参加者の輸送

ア 全国輸送

全国から来県する大会参加者の集合及び解散については、自由集合・自由解散とし、必要に応じて関係機関等の協力を得て、円滑な輸送の確保を図る。

イ 開始式・表彰式の輸送

開始式、表彰式における大会参加者の輸送については、原則として自由集合・自由解散とする。ただし、会場周辺の公共交通機関の状況や、最寄り駅から会場までの距離等を勘案し、必要に応じてシャトルバス等の措置を講じる。

ウ 競技会場の輸送

競技会場における大会参加者の輸送については、原則として自由集合・自由解散とする。ただし、会場周辺の公共交通機関の状況や、最寄り駅から会場までの距離等を勘案し、必要に応じてシャトルバス等の措置を講じる。

エ 各種会議の輸送

各種会議における大会参加者の輸送については、原則として自由集合及び自由解散とする。ただし、必要に応じてシャトルバス運行等の措置を講じる。

オ 指定集合地の設定

開始式、表彰式及び競技会場他における大会参加者の輸送を円滑に行うため、宿舍の分布、参加人員及び道路交通事情等を考慮し、バス等の乗降場として、必要に応じて指定集合地を設ける。

(2) 一般観覧者の輸送

原則として公共交通を利用する。ただし、会場周辺の公共交通機関の状況や最寄り駅から会場までの距離等を勘案し、必要に応じてシャトルバス運行等の措置を講じる。

(3) 駐車場の指定等

各会場における駐車場については、関係機関等の協力を得て、十分な確保に努め、効率的な利用を図

ることとし、駐車場利用者は、係員の指示に従い、指定された駐車場を利用する。

4 交通安全対策

群馬県実行委員会、渋川市実行委員会及び岡山県合同実行委員会は、大会期間中における交通安全の確保と交通混雑の緩和を図るため、関係機関等はもとより、広く県民に協力を求め、実情に応じて適切な対策を講じる。

5 その他

この要項に定めるもののほか、輸送・交通に関して必要な事項は、群馬県実行委員会、渋川市実行委員会及び岡山県合同実行委員会が別に定める。

輸送交通実績

1 シャトルバス

(単位:台)

路線		1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31	2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	合計
岡山駅 ～ 岡山国際 スケートリンク	往路		5	5				1	1	1	1	1	15
	復路								1				1
	小計		5	5				1	2	1	1	1	16
倉敷駅 ～ ヘルスパイア倉敷	往路	4	4	9	8	6		6	6	6	6	3	58
	復路	4	4	9	8	6		6	6	6	6	3	58
	小計	8	8	18	16	12		12	12	12	12	6	116
合計		8	13	23	16	12		13	14	13	13	7	132

2 アイスホッケー選手輸送

(単位:台)

路線		1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31	2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	合計
岡山宿舎 (岡山駅) ～ 競技会場	往復					4	4	4	4	4	4	2	26
	小計					4	4	4	4	4	4	2	26
倉敷宿舎 (児島駅) ～ 競技会場	往復						6	8	8	8	6	2	38
	小計						6	8	8	8	6	2	38
合計						4	10	12	12	12	10	4	64

3 学校招待バス

(単位:台)

路線		1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31	2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	合計
倉敷市内小学校 ・支援学校 ～ ヘルスパイア倉敷	往復									3	2		5
	小計									3	2		5
合計										3	2		5

医療救護要項

1 趣旨

この要項は、第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会（以下「大会」という。）における医療救護に関して、必要な事項を定める。

2 基本方針

第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（スピード）群馬県実行委員会事務局（以下「群馬県実行委員会」という。）、第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（スピード）渋川市実行委員会（以下「渋川市実行委員会」という。）及び第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（ショートトラック・フィギュア）・アイスホッケー競技会岡山県合同実行委員会（以下「岡山県合同実行委員会」という。）は、医療機関、関係団体等の協力を得て、医療救護を実施する。

3 医療救護対策

(1) 救護本部及び救護所の設置

- ア 医療救護業務を統括するために救護本部を設置する。
- イ 開始式・表彰式会場には、必要に応じて救護所を設置する。
- ウ 各競技会場には、大会期間中、救護所を設置する。
- エ 救護所は、医師、歯科医師、看護師、保健師、事務職員、アスレティックトレーナー等により必要に応じた編成を行う。
- オ 救護所では、応急処置を行い、状況に応じて医療機関に移送する。

(2) 医薬品の配備、救急自動車等の手配

救護所には、応急処置の万全を期すため、医薬品、医療器具、AED（自動体外式除細動器）、その他必要物品を配備する。なお、ドーピング禁止物質を含有する医薬品は配備しない。

(3) 宿舎における医療救護

- ア 宿泊する旅館・ホテル等で負傷や発症し、医療機関で受診する場合は、宿舎に申し出た上、監督又は引率責任者若しくは関係者が医療機関へ連絡すること。
- イ 練習中等で救護関係者がいない場所で負傷や発病した場合は、競技会場等の係員に申し出ること。

4 医療費の負担

救護所及び救急自動車等において要した経費を除き、医療費は全て受診者が負担する。

5 業務の分担

- (1) 渋川市が行う競技会場及び宿舎における医療救護は、渋川市実行委員会が担当する。
- (2) 岡山県が行う開始式・表彰式会場、競技会場及び宿舎における医療救護は、岡山県合同実行委員会が担当する。

6 その他

この要項に定めるもののほか、医療救護の実施に関して必要な事項は、別に定める。

医療救護実績

会場名		岡山国際スケートリンク			ヘルスピア倉敷			傷病毎計	備 考
参加区分 傷病名		選手・ 監督	役員	その他	選手・ 監督	役員	その他		
		胃腸障害	男						
女									
感冒	男				2 ()			2 ()	
	女								
頭痛	男								
	女								
内科系 その他	男								
	女								
外傷	男	2 (2)			1 (1)	1 ()		4 (3)	
	女		1 (1)					1 (1)	
脳震盪	男	1 (1)						1 (1)	
	女			1 ()				1 ()	
骨折脱臼	男	1 (1)						1 (1)	
	女			1 ()				1 ()	
筋腱断裂	男								
	女								
打撲捻挫	男	3 ()			2 ()			5 ()	
	女					1 ()		1 ()	
口唇内 裂傷等	男	1 ()						1 ()	
	女								
外科系 その他	男	1 (1)						1 (1)	地元病院へ 転院
	女								
合計	男	9 (5)			5 (1)	1 ()		15 (6)	
	女		1 (1)	2 ()		1 ()		4 (1)	
	計	9 (5)	1 (1)	2 ()	5 (1)	2 ()		19 (7)	

取扱患者のうち医療機関へ移送したものは()で記入

ホームページ・SNS・国スポチャンネル実績

1 ホームページ

令和6年10月9日（水）～令和7年2月28日（金）

- ・訪問者数（ユーザー数） 108,909
- ・閲覧数（PV数） 540,026

2 SNS

フォロワー最大値

- ・Instagram 1,586
- ・X（旧Twitter） 3,278

インプレッション数（投稿自体の表示回数（閲覧数）を示す値）

- ・Instagram（12/1～2/5） 220,099

3 国スポチャンネル

令和7年1月26日（日）～2月5日（水）

- ・訪問者数（ユーザー数） 48,328
- ・閲覧数（PV数） 568,929

第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(ショートトラック・
フィギュア)・アイスホッケー競技会岡山県合同実行委員会

(順不同・敬称略)

会 長	伊原木隆太				
副 会 長	大森 雅夫 荒木 竜二 小嶋 光信	伊東 香織 笠原 和男 逢沢 一郎	久徳 大輔 中村 正芳	田口 裕士 越宗 孝昌	
顧 問	逢沢 一郎 平沼正二郎 小野田紀美	あべ 俊子 山下 貴司 川合 孝典	加藤 勝信 柚木 道義 柴田 巧	津村 啓介 石井 正弘 谷合 正明	
参 与	波多 洋治 増川 英一 高橋 徹 乙倉 賢一 鈴木 一史 小田 圭一 柳田 哲 井出 妙子 千田 博通 二嶋 宣人 中島 純 生水 耕二	太田 正孝 森脇 久紀 笹井 茂智 中川 雅子 荒島 俊造 蓮岡 靖之 鳥井 良輔 角屋 忍 大月 晴一 岡崎 隆 瀧本 寛 小郷ひな子	高原 俊彦 蜂谷 弘美 氏平三穂子 木口 京子 千田 博通 遠藤 康洋 秋山 正浩 須増 伸子 松田 安義 森山 幸治 森 守	大塚 愛 小倉 弘行 福島 恭子 大橋 和明 渡辺 英気 中塚 周一 吉田 徹 佐古 一太 和氣 健 前島 慶太 矢野 周子	
委 員	福田 司 山崎 親男 梶川 政文 古矢 博通 山本 圭司 小嶋 光信 松田 久 田村 正敏 宮本 由佳	太田 栄司 岡崎 彬 大熊 重行 松井 守 那須 拓孝 永山久仁彦 野崎 泰彦 石井 清裕 關 孝宏	日向 豊 岡崎 助一 千田 博通 藤原 利章 松山 正春 峯平 晃行 梶谷 俊介 大熊 重行 岩田 修	栗山 康彦 中村 正芳 千原多美子 芳野 俊 二宮 一枝 中島 基善 晝田 眞三 梅木 和宣 別府 正樹	
監 事	水田 一弘	渡邊 功			

第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会 (ショートトラック・フィギュア)・アイスホッケー競技会 岡山県合同実行委員会会則

第1章 総 則

(名 称)

第1条 この会は、第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（ショートトラック・フィギュア）・アイスホッケー競技会岡山県合同実行委員会（以下「本会」という。）と称する。

(事務所)

第2条 本会の事務所は、岡山県環境文化部スポーツ振興課国民スポーツ大会推進室内（岡山県岡山市北区内山下二丁目4番6号）に置く。

(目 的)

第3条 本会は、第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（ショートトラック・フィギュア）・アイスホッケー競技会（以下「大会」という。）を開催するために必要な事業を行うことを目的とする。

(事 業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1)大会運営に必要な総合企画に関すること。
- (2)公益財団法人日本スポーツ協会、文部科学省、関係競技団体、その他関係機関及び団体との連絡調整に関すること。
- (3)競技の運営に関すること。
- (4)式典の企画及び運営に関すること。
- (5)役員、選手団等の宿泊、輸送に関すること。
- (6)広報及び報道に関すること。
- (7)警備、防災及び保健医療に関すること。
- (8)前各号に掲げるもののほか、大会の開催に必要な事項に関すること。

第2章 組 織

(委 員)

第5条 本会は、次に掲げる者のうちから会長が委嘱した委員（以下「委員」という。）をもって構成する。

- (1)岡山県、岡山市及び倉敷市の役職員
- (2)競技団体、その他の関係機関及び団体の役職員
- (3)前各号に掲げる者のほか、大会運営に関係のある者

2 前項第1号及び第2号の委員は、その役職にある者をもって委嘱し、その役職員に異動があった場合は、その後任者を委嘱する。

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 監事 若干名

(役員を選任)

第7条 会長は、岡山県知事をもって充てる。

2 副会長及び監事は、委員のうちから会長が委嘱する。

(役員職務)

第8条 会長は、本会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、あらかじめ会長が指名した副会長がその職務を代理する。

3 監事は、本会の業務及び会計を監査する。

(任期)

第9条 委員及び役員の任期は、委嘱されたときから本会の目的が達成されたときまでとする。

(顧問及び参与)

第10条 本会に、顧問及び参与を置くことができる。

2 顧問及び参与は、会長が委嘱する。

3 顧問は、会務の重要な事項について、会長の諮問に応ずる。

4 参与は、重要な会務に参加する。

5 前条の規定は、顧問及び参与について準用する。

第3章 会 議

(会議の種類)

第11条 本会に、次の会議を置く。

- (1) 総会
- (2) 常任委員会

(総会)

第12条 総会は、会長及び委員をもって構成する。

2 総会は、会長が召集し、その議長となる。

3 総会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 会則の制定及び改廃に関すること。
- (2) 事業計画及び事業報告に関すること。
- (3) 予算及び決算に関すること。
- (4) 常任委員会に委任する事項に関すること。
- (5) その他重要な事項に関すること。

- 4 総会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長が決定する。
- 5 総会に出席できない委員は、あらかじめ通知された事項について、代理人にその議決に係る権限を委任し、又は書面をもって議決に加わることができる。

(常任委員会)

第13条 常任委員会は、第5条の委員のうちから会長が委嘱した常任委員会委員長のほか、次に掲げる者のうちから会長が委嘱した常任委員会副委員長及び常任委員会委員をもって構成する。

(1)委員

(2)大会に係る機関又は団体の役職員

(3)前各号に掲げる者のほか、大会運営に係る者

2 前項第2号の委員は、その役職にある者をもって委嘱し、その役職員に異動があった場合は、その後任者を委嘱する。

3 委員長は常任委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した副委員長がその職務を代理する。

5 常任委員会は、必要に応じて会長が招集し、委員長がその議長となる。

6 常任委員会は、次に掲げる事項について審議し決定する。

(1)総会から委任された事項に関する事。

(2)総会を招集するいとまがない場合における緊急な事項に関する事。

(3)その他会長が必要と認める事項に関する事。

7 前条第4項及び第5項の規定は、常任委員会において準用する。

第4章 専決処分

(会長の専決処分)

第14条 会長は、総会及び常任委員会（以下「総会等」という。）の権限に属する事項について、総会等を招集するいとまがないと認められるときは、これを専決処分することができる。

2 前項の規定により専決処分したときは、会長はこれを次の総会等において報告し、承認を求めなければならない。

第5章 事務局

(事務局)

第15条 本会の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第6章 会計

(経費)

第16条 本会の経費は、負担金、補助金及びその他の収入をもってこれに充てる。

(会計年度)

- 第17条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。
- 2 本会の会計に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第7章 解 散

(解 散)

- 第18条 本会は、その目的が達成されたときに解散する。
- 2 本会が解散した場合において残余財産が生じたときは、岡山県、岡山市及び倉敷市に帰属するものとする。

第8章 補 則

(委 任)

- 第19条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

- 1 この会則は、令和5年5月26日から施行する。
- 2 第17条の規定にかかわらず、令和5年度の会計年度は、施行の日に始まり翌年の3月31日に終わるものとする。
- 3 この会則施行の際、現に第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（ショートトラック・フィギュア）・アイスホッケー競技会岡山県準備委員会会則に基づいて決定された事項又は行われた行為については、この会則により決定され、又は行われたものとみなす。

**第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会
(ショートトラック・フィギュア)・アイスホッケー競技会
岡山県合同実行委員会事務局規程**

第1章 総 則

(目 的)

第1条 この規程は、第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（ショートトラック・フィギュア）・アイスホッケー競技会岡山県合同実行委員会会則第15条第2項の規定に基づき、第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（ショートトラック・フィギュア）・アイスホッケー競技会岡山県合同実行委員会事務局（以下「事務局」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

第2章 事務局

(業 務)

第2条 事務局は、第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（ショートトラック・フィギュア）・アイスホッケー競技会に関する事務を処理する。

(組 織)

第3条 事務局の組織は、別表第1のとおりとする。

(職 員)

第4条 事務局は、岡山県環境文化部スポーツ振興課国民スポーツ大会推進室内（岡山県岡山市北区内山下二丁目4番6号）に置き、次の職員を置く。

- (1) 事務局長
- (2) 事務局次長
- (3) 事務局員

2 前項の職員は、岡山県職員、岡山市職員及び倉敷市職員をもって充てる。

3 職員の任命は会長が行い、前項に定めるもののほか、特に必要と認められるときは、職員を任命又は委嘱することができる。

4 前項の規定により任命又は委嘱された者の服務、旅行に係る取り扱いには会長が別に定める。

(職 務)

第5条 事務局長は、会長の命を受け、事務局の事務を統括し、職員を指揮監督する。

2 事務局次長は、上司の命を受け、事務局長を補佐し、事務局長に事故あるときは、その職務を代理する。

3 事務局員は、上司の命を受け、事務に従事する。

第3章 事務の決裁

(専 決)

第6条 会長の権限に属する事務のうち、事務局長、事務局次長（岡山県職員の事務局次長をいう。以下同じ。）は、別表第2に掲げる事項を専決することができる。

2 別表第2によるほかは、岡山県事務処理規則（昭和44年岡山県規則第55号）を準用し、同表中「知事、副知事、部長」とあるのは「事務局長」と、「次長、課長」とあるのは「事務局次長」とする。

(代 決)

第7条 会長が不在のときは、事務局長が、会長及び事務局長がともに不在のときは、事務局次長が事務を代決する。

2 前項の規定にかかわらず、代決権者において重要若しくは異例又は疑義のあるものと認められる事項については、代決してはならない。ただし、あらかじめ処理の方針を示されたもの又は緊急やむを得ない事項については、この限りではない。

3 第1項又は第2項の規定により代決した者は、その代決した事務で特に必要があると認めるものについては、事後すみやかに当該決裁権者に報告しなければならない。

第4章 文書の取扱い

(記号及び番号等)

第8条 文書には、記号及び番号を付さなければならない。ただし、軽易な文書については、これを省略することができる。

2 記号は、「国岡実」とする。

3 番号は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる一連番号とする。なお、合同実行委員会設立の日から起こすものとする。

4 前項に規定する番号は、備え付けの文書処理簿に記載しなければならない。

(文書の処理)

第9条 この章に定めるもののほか、文書事務の処理については、岡山県庁文書規程(昭和38年岡山県訓令第18号)による。

第5章 公 印

(公印の種類及び保管者)

第10条 事務局で使用する公印は、別表第3のとおりとする。

2 前項に定める公印の保管者は、事務局次長とする。

第6章 服務及び旅費

(服 務)

第11条 職員の服務は、岡山県職員の例による。

(旅 行)

- 第12条 会長は、業務上必要があるときは、職員に旅行を命ずることができる。
- 2 会長は、業務上必要があるときは、役員、委員及び常任委員会の委員等（以下「役員等」という。）に旅行を依頼することができる。

(旅 費)

- 第13条 職員の旅行に関する旅費の額及びその支給方法は、岡山県職員の例による。
- 2 役員等が業務のため旅行したときは、費用弁償として旅費を支給することができる。
- 3 前項の規定による旅費の額及びその支給方法は、岡山県職員の例による。

第7章 財 務

(予算編成)

- 第14条 事務局長は、予算案を作成し、総会に諮りその承認を得なければならない。
- 2 事務局長は、予算に変更の必要が生じたときは、会長の承認を受けて補正予算案を作成しなければならない。

(会計事務)

- 第15条 事務局に現金の出納、保管及びその他会計事務をつかさどる出納員及び出納事務担当者を置く。
- 2 出納員は事務局次長をもって充てる。

(決 算)

- 第16条 出納員は、出納に関する事務を完了したときは、毎会計年度終了後すみやかに（令和6年度にあつては、3月31日までに）決算書を作成し、証拠書類を整備して事務局長に報告するとともに、会長に当該書類を提出しなければならない。
- 2 会長は、決算書及び前項の書類を監事の監査に付し、総会に諮り、その承認を得なければならない。

(準 用)

- 第17条 財務に関する取扱いについては、第14条から第16条に規定するもののほか、岡山県財務規則（昭和61年岡山県規則第8号）及びその他岡山県の財務に関する諸規程の例による。

第8章 補 則

(補 則)

- 第18条 この規程に定めるもののほか、事務局の運営に関しては、岡山県の事務処理に関する諸規則等の例による。
- 2 この規程に定めるもののほか、必要な事項は事務局長が別に定める。

附 則

この規程は、令和5年5月26日から施行する。

別表第1（第3条関係）



別表第2（第6条関係）

職員	専決事項
事務局長	1 事業の実施計画、実施方針及び進行管理に関すること。 2 予算の執行に関すること。 3 契約の締結及び助成金等に関すること。 4 予算の流用に関すること。 5 収入に関すること。 6 支出に関すること。 7 事務局次長以上の職員の服務及び旅行命令に関すること。 8 通知、申請、照会、回答、依頼等に関すること。 9 出納事務担当者に関すること。 10 前各号に掲げるもののほか、会長名をもってする事項
事務局次長	1 事務局員の服務及び旅行命令に関すること。 2 前各号に掲げるもののほか、事務局長名をもってする軽易な事項

別表第3（第10条関係）

名称	形状	寸法	書体
第79回国民スポーツ大会冬季大会岡山県合同実行委員会会長印	正方形	27mm	てん書
第79回国民スポーツ大会冬季大会岡山県合同実行委員会事務局長印	正方形	24mm	てん書

開催基本方針

1 基本方針

これまでの国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（ショートトラック・フィギュア）・アイスホッケー競技会の開催の歴史の中で、西日本で初めて開催される大会として、本県の多彩な魅力を全国に発信するとともに、簡素・効率化に努め、今後の国民スポーツ大会冬季大会の全国展開に向けた先鞭をつける大会の実現を目指します。

また、この大会を通じて県民が「する」「みる」「ささえる」という様々な形でスポーツの楽しさや感動を分かち合える機会を創出し、「スポーツ立県おかやま」宣言に謳う「夢、勇気、感動を創出できる岡山の実現」を目指します。

2 実施目標

（１）大会の成功

岡山県、岡山市、倉敷市、関係機関及びスポーツ団体との緊密な連携のもとに、大会の運営に万全を期し、大会の成功につなげます。

（２）本県の魅力を全国に発信する大会

全国からの参加者をおもてなしと感謝の心を持って歓迎し、豊かな自然、歴史史跡、アートスポットや自慢の逸品など、温暖な気候に恵まれた岡山の魅力発信や地域の活性化につなげる大会を目指します。

（３）今後の冬季大会のモデルを目指した大会

既存施設の有効活用や効率的な大会運営など、過去の例にとらわれず、不足するリソースを新たな視点や工夫によって補うことで、今後の冬季大会の開催が全国各地へと広がる新しいモデルとなる大会を目指し、冬季スポーツの普及・振興に寄与します。

（４）「スポーツ立県おかやま」の実現に資する大会

本県の競技力向上を図るとともに、冬季スポーツに親しんでもらう機会の創出や魅力のPRにより、スポーツの振興と健康で活力に満ちた社会の実現に寄与します。

第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（ショートトラック
・フィギュア）・アイスホッケー競技会 標章等使用取扱規程

（趣旨）

第1条 この規程は、第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（ショートトラック・フィギュア）・アイスホッケー競技会（以下「大会」という。）の開催にあたり、公益財団法人日本スポーツ協会（以下「JSP0」という。）が「公益財団法人日本スポーツ協会国民スポーツ大会関係標章の使用に関する規程」（平成23年6月24日制定）に定める標章及び第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（ショートトラック・フィギュア）・アイスホッケー競技会岡山県合同実行委員会（以下「合同実行委員会」という。）が定めるスローガン及びマスコットを使用する場合の取扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。

（標章等の定義）

第2条 この規程において「標章」とは、次に掲げるものをいう。

- （1）JSP0が定める国民スポーツ大会マーク（JAPAN GAMES マーク／以下、「J.G. マーク」という）、及びブランドロゴ（J.G. マークと「JAPAN GAMES」のロゴタイプを併せて使用するもの）。
 - （2）合同実行委員会が作成するシンボルマーク（図形）
 - （3）「国民スポーツ大会」、「国スポ」、「JAPAN GAMES」及びこれらの表示を平仮名、片仮名又はローマ字の文字に変更するものであって、同一の称呼及び観念を生ずるもの。またこれらの文字標章を含む結合語又は造語
 - （4）合同実行委員会が定める大会テーマ「晴れて輝け！おかやま国スポ」
- 2 この規程において「スローガン」とは、合同実行委員会が定めた大会のスローガン「輝く君は氷上の華」をいう。
- 3 この規程において「マスコット」とは、合同実行委員会が定めた大会のマスコットをいう。

（使用許可権限の行使）

第3条 前条第1項各号に規定する標章については、合同実行委員会がJSP0から委任を受けた使用許可権限を行使する。ただし、前条第1項第1号及び第3号を商業目的で使用する場合には、「公益財団法人日本スポーツ協会国民スポーツ大会関係標章の使用に関する規程」（平成23年6月24日制定）に従う。

2 前条第2項に規定するスローガン及び第3項に規定するマスコットについては、合同実行委員会が使用許可権限を有し、自ら行使する。

（公共目的による使用）

第4条 標章、スローガン及びマスコット（以下「標章等」という。）の使用について、その内容が次の各号のいずれかに該当する場合は、合同実行委員会会長（以下「会長」という。）は公共目的と認め、無償で使用させることができる。

- (1) 資料又は無償で交付される記念品等についての使用であって、スポーツ活動又は大会の開催に寄与すると認められるとき。
- (2) 出版物についての使用であって、スポーツの歴史や記録などスポーツ及び大会に関する啓発内容を掲載すると認められるとき。
- (3) 一般へのスポーツ又は大会に対する理解や普及を図るため、その普及資料等を展示するものと認められるとき。
- (4) 合同実行委員会からの広報啓発活動への協力依頼に基づき使用するとき。
- (5) その他会長がスポーツ活動及び大会開催に寄与すると認めるとき。

(公共目的による使用の申請及び報告)

第5条 標章等を公共目的により使用しようとする者は、あらかじめ「公共目的使用許可申請書」(様式第1号)を会長に提出し、その許可を受けなければならない。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、これを省略することができる。

- (1) 合同実行委員会が使用するとき。
- (2) 国、地方公共団体、JSP0、公益財団法人岡山県スポーツ協会、岡山県内各市町村体育・スポーツ協会及び岡山県内各競技団体が使用するとき。
- (3) 大会においてイベント事業を実施する団体が使用するとき。
- (4) 保育所又は学校教育法(昭和22年法律第26号)に掲げる学校が使用するとき。
- (5) 報道機関が報道又は広報の目的で使用するとき。
- (6) その他会長が特に認めたとき。

2 前項の規定により、許可を得た者及び第1号から第4号、第6号のいずれかに該当する者が標章等を公共目的として使用したときは、各年度終了後30日以内又は使用期間終了後30日以内のいずれか早い期日までに「使用報告書」(様式第2号)を会長に提出しなければならない。

(公共目的による使用の許可)

第6条 会長は、前条の規定による許可申請があった場合は、その内容が次の各号のいずれかに該当する場合を除き、許可するものとする。

- (1) スポーツ及び大会の品位を傷つけ、又は正しい理解の妨げになるとき。
- (2) 標章等を正しい使用方法に従って使用しないとき。
- (3) 自己の商標や意匠とするなど、独占的に使用し、又は使用するおそれのあるとき。
- (4) 法令、公序良俗に反する、又は反するおそれのあるとき。
- (5) 特定の個人、政党、宗教団体を支援し、又は公認しているような誤解を与え、若しくは与えるおそれのあるとき。
- (6) 使用目的が明らかでないとき。
- (7) 大会協賛企業の協賛権利を侵害するおそれのあるとき。
- (8) その他会長が不相当と認めたとき。

2 前項の規定による許可は、許可番号を付した上で「公共目的使用許可書」(様式第3号)をもって行うものとする。

(商業目的による使用)

第7条 大会のテーマ、スローガン、シンボルマーク及びマスコット(以下「テーマ等」という。)を商品、景品、広告宣伝等に使用する場合は、商業目的と認め、有償で使用できるものとする。

(商業目的による使用の申請及び報告)

第8条 商業目的により、テーマ等を使用しようとする者は、あらかじめ「商業目的使用許可申請書」(様式第4号)を会長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 前項の規定により許可を受けて、テーマ等を使用した者は、各年度終了後30日以内又は使用期間終了後30日以内のいずれか早い期日までに「使用報告書」(様式第2号)を会長に提出しなければならない。

(商業目的による使用の許可)

第9条 会長は、前条の規定による許可申請があった場合は、その内容が第6条第1項各号のいずれかに該当する場合を除き、テーマ等の商業目的による使用を許可するものとする。

2 前項の規定による許可は、許可番号を付した上で「商業目的使用許可書」(様式第5号)をもって行うものとする。

3 会長は、第1項の規定による許可に際し、条件を付することができる。

(商業目的による使用に係る使用料)

第10条 テーマ等の商業目的による使用の許可を受けた者は、別表に定めるところにより算定した額を使用料として合同実行委員会に納付しなければならない。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、会長は使用料を免除することができる。

(1)第5条第1項第1号から第4号までに規定する団体が使用するとき。

(2)その他会長が特別な事情により必要があると認めたとき。

2 前項の規定により使用料の免除を受けようとする者は、第8条に規定する許可申請の際に、「使用料免除申請書」(様式第6号)を会長に提出しなければならない。

3 第1項の規定に基づく使用料は、前条第2項に規定する通知の日から起算して、30日以内(振込期限の日が金融機関の休業日の場合はその翌日)に会長が指定する金融機関の口座に振り込むものとする。なお、振込手数料については当該許可を受けた者が負担するものとする。

4 合同実行委員会は、収納した使用料を開催準備の経費に充てるものとする。

5 納入された使用料は返還しない。

(使用上の遵守事項)

第11条 標章等を使用する者(以下「使用者」という。)は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1)許可された用途にのみ使用し、許可条件に従うこと。

(2)使用权を第三者に譲渡し、又は転貸しないこと。

(3)定められた色、形等を正しく使用し、規格外の展開など応用使用はしないこと。

- (4)原則として、標章等を使用する物件に許可番号を付記すること。ただし、その形状等から許可番号を付記することが困難な場合はこの限りではない。
- (5)標章等を使用する物件の完成見本を速やかに会長に提出すること。ただし、完成見本の提出が困難なものについては、その写真の提出をもって代えることができるものとする。
- (6)使用許可された物件について、商標又は意匠登録の出願をしないこと。
- (7)当該物件の使用にあたっては、事故等が発生しないよう万全の配慮を行うこと。事故、苦情等が発生した場合は、誠意をもって必要な措置を講じた上、直ちに会長に報告すること。なお、当該物件を原因とする事故に対しては、合同実行委員会は一切の責任を負わない。

(許可内容の変更)

- 第12条 使用者が、許可された内容について変更しようとする場合は、あらかじめ「使用内容変更申請書」(様式第7号)を会長に提出し、その許可を受けなければならない。
- 2 会長は、使用を許可した内容の変更を許可するときは、「使用内容変更許可書」(様式第8号)により、当該使用者に通知するものとする。
 - 3 第1項の申請については、第4条から前条までの規定を準用する。

(実地調査等)

- 第13条 会長は、使用者に対し、使用状況について実地調査を行い、又はその使用状況を証する書類の提出を求めることができる。

(違反に対する処置)

- 第14条 会長は、標章等の使用がこの規程又は許可内容に違反していると認められる場合は、使用状況の変更を求めるほか、当該許可を取り消し、当該許可に係る物件の回収を命ずることができる。
- 2 前項の規定による許可の取り消しは、「使用許可取消書」(様式第9号)をもって行うものとする。
 - 3 第1項の規定により許可を取り消された者は、当該許可に係る物件を使用してはならない。
 - 4 第1項の規定により当該許可に係る物件の回収を命ぜられた者は、速やかに当該許可に係る物件を回収しなければならない。
 - 5 会長は、許可を得ずに標章等を使用している者又は使用しようとしている者に対して、その標章等の使用停止及び使用に係る物件の回収を求める等適切な措置を取ることができる。
 - 6 合同実行委員会は、前各項の規定による許可の取消し等により使用者等に生じた損害について、一切の責任を負わないものとする。

(経費等の負担)

- 第15条 合同実行委員会は、この規程による使用許可の申請に要した費用、実施に係る経

費及び役務を負担しない。

2 合同実行委員会は、標章等の使用に係る損失補償等の一切の責任を負わないものとする。

(補則)

第16条 この規程に定めるもののほか、標章等の使用の取扱いについて必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この規程は、令和6年6月3日から施行する。

別表 (第10条関係)

1 販売を目的とするもの (商品)	小売価格 (消費税等賦課前) × 製造個数 × 5%
2 販売以外を目的とするもの (1) 景品、有償貸出など (2) 広告宣伝	製造価格 × 製造個数 × 5% 使用する媒体の広告料 × 5% ただし、自社媒体での展開や自社で配布するなど、媒体費用が発生しない場合は協議により決定
3 その他営利を目的とするもの	協議により決定

※算出により使用料の額が1,000円未満となった場合は、原則として1,000円とする。

開催経過概要

令和4年(2022年)

- 4月25日 (公財)日本スポーツ協会会長及び文部科学大臣が「開催要請書」により、岡山県、岡山県教育委員会、(公財)岡山県スポーツ協会に対し、第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(ショートトラック・フィギュア)及びアイスホッケー競技会の開催を要請。
- 5月 岡山県から岡山市及び倉敷市に対し、第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(ショートトラック・フィギュア)及びアイスホッケー競技会の開催を要請。
- 5月24日 岡山市及び倉敷市が第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(ショートトラック・フィギュア)及びアイスホッケー競技会の開催を了承。
- 6月10日 岡山県、岡山県教育委員会、(公財)岡山県スポーツ協会が連名により、第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(ショートトラック・フィギュア)及びアイスホッケー競技会の「開催受諾書」を(公財)日本スポーツ協会会長及び文部科学大臣に提出。
- 7月4日 (公財)日本スポーツ協会副会長が来県し、岡山県知事、岡山県教育委員会教育長、(公財)岡山県スポーツ協会会長に対し、第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(ショートトラック・フィギュア)及びアイスホッケー競技会の開催について、(公財)日本スポーツ協会会長及び文部科学大臣連名の「開催決定書」を手渡し、正式に開催が決定。
- 7月20日 第2回関係者連絡会議を開催。
- 10月20日 岡山県準備委員会設立総会及び第1回総会を開催し、「開催基本方針(骨子)」、「テーマ、スローガン、シンボルマークの募集要項」等を決定。
- 11月1日 大会のテーマ・スローガン・シンボルマークの募集を開始。
(令和4年11月1日～令和5年2月28日)
- 12月9日 (公財)日本スポーツ協会第3回国民体育大会委員会において、開始式及び表彰式の会場を除く競技会会期及び競技会場が承認。

令和5年(2023年)

- 3月22日 大会テーマ等審査委員会を開催し、テーマ・スローガン・シンボルマークを選考。
- 4月1日 岡山県環境文化部スポーツ振興課内に国民スポーツ大会推進室を設置。
第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(ショートトラック・フィギュア)・アイスホッケー競技会競技役員等育成事業補助金交付要綱及び要領の制定及び令和5年度交付申請受付開始。
- 4月18日 第3回関係者連絡会議を開催。
- 5月26日 第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(ショートトラック・フィギュア)・アイスホッケー競技会設立総会及び第1回総会を開催。

- 6月 6日 (公財) 日本スポーツ協会第1回国民スポーツ大会委員会において、大会テーマ、スローガン、シンボルマークが承認。
- 6月 30日 大会テーマ・スローガン・シンボルマークの最優秀賞受賞者に対する表彰式を開催。
- 8月 18日 第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(ショートトラック・フィギュア)・アイスホッケー競技会第1回常任委員会を開催。
- 8月 24日 (公財) 日本スポーツ協会第2回国民スポーツ大会委員会において、会期及び会場(開始式、表彰式関係)、宿泊料金が承認。
- 10月 25日 (公財) 日本スポーツ協会と第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(ショートトラック・フィギュア)・アイスホッケー競技会企業協賛に関する契約書を締結。
- 11月 6日 企業協賛の募集を開始。
(令和5年11月6日～令和6年11月30日)
- 11月 9日 第4回関係者連絡会議(スケート)を開催。
- 11月 10日 第4回関係者連絡会議(アイスホッケー)を開催。
- 11月 28日 第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(ショートトラック・フィギュア)・アイスホッケー競技会第2回常任委員会を開催。
- 12月 8日 (公財) 日本スポーツ協会第3回国民スポーツ大会委員会において、ポスター図案及びテーマの規定書体が承認。

令和6年(2024年)

- 2月 9日 第5回関係者連絡会議(スケート)を開催。
- 2月 14日 第5回関係者連絡会議(アイスホッケー)を開催。
- 2月 21日 大会公式SNS(X, Instagram)を開設。
- 3月 1日 第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(ショートトラック・フィギュア)・アイスホッケー競技会第3回常任委員会を開催。
- 3月 5日 (公財) 日本スポーツ協会第4回国民スポーツ大会委員会において、大会マスコットを報告。
- 3月 15日 令和5年度都道府県体育・スポーツ協会国スポ連絡会議で輸送計画(案)について説明。
- 3月 19日 開催300日前 SNS応援コメントキャンペーンを実施。
(令和6年3月19日～5月19日)

- 3月26日 第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（ショートトラック・フィギュア）・アイスホッケー競技会第2回総会を開催
- 4月1日 （公財）日本スポーツ協会とJSPOTV国スポチャンネル業務委託契約を締結。第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（ショートトラック・フィギュア）・アイスホッケー競技会競技役員等育成事業令和6年度交付申請受付開始。
- 4月17日 第6回関係者連絡会議（スケート）を開催。
- 4月22日 第6回関係者連絡会議（アイスホッケー）を開催。
- 4月26日 第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（ショートトラック・フィギュア）・アイスホッケー競技会第3回総会を书面開催。
（令和6年4月26日～5月10日）
- 5月23日 第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（ショートトラック・フィギュア）・アイスホッケー競技会第4回常任委員会を開催。
- 5月24日 国民スポーツ大会標章等使用許可権（営利目的、非営利目的）の委任申請
- 5月31日 群馬県実行委員会との共同実施事業に係る協定書の締結。
- 6月4日 （公財）日本スポーツ協会第1回国民スポーツ大会委員会において、実施要項、中央競技役員数及び所要経費基準が承認。
- 7月26日 （公財）ミズノスポーツ振興財団助成金受領式を開催。
半年前 SNS 応援コメントキャンペーンを実施。
（令和6年7月26日～9月26日）
- 8月16日 第1回来会調査を実施。
- 9月10日 第7回関係者連絡会議を開催。
- 10月9日 大会公式ホームページ、大会PR動画の公開。
- 10月18日 おかやま国スポ開催100日前 SNS 応援コメントキャンペーンを実施。
（令和6年10月18日～12月18日）
- 11月20日 第2回来会調査を実施。
- 11月28日 「晴れて輝け！おかやま国スポ」開始式における一般観覧者の募集を開始。
（令和6年11月28日～12月17日）
- 11月30日 「開催直前！晴れて輝け！おかやま国スポフェア」を開催。

令和7年（2025年）

- 1月10日 アイスホッケー競技組合せ抽選会を開催。

- 1月10日 晴れて輝け！おかやま国スポ 岡山県選手団壮行イベント～全員で歴史をつくれ～を開催。
- 1月13日 ショートトラック競技組合せ抽選会を開催。
- 1月14日 第8回関係者連絡会議を開催。
- 1月16日 全国代表者会議を書面開催。
(令和7年1月16日～23日)
- 1月17日 全国報道員会議を書面開催。
(令和7年1月17日～24日)
- 1月21日 競技別プログラムを公開。
- 1月26日 開始式を開催。
ショートトラック競技監督会議及び競技役員会議を開催。
フィギュア競技監督会議及び抽選会を開催。
公共施設等での国スポチャンネルの配信(つながるプロジェクト)の実施。
(令和7年1月26日～2月5日)
- 1月27日 ショートトラック競技開始。
(令和7年1月27日～28日)
フィギュア競技を開始及びパブリックビューイングを開催。
(令和7年1月27日～30日)
おもてなし事業の実施。
(令和7年1月27日～30日、2月1日～7日)
岡山県薬剤師会によるアンチ・ドーピング啓発活動を実施。
「おかやま国スポ FUN!FUN!FAN!」 in 津山を開催。
(令和7年1月27日～2月7日)
- 1月30日 スケート競技会表彰式を開催。
- 1月31日 アイスホッケー競技監督会議を開催。
- 2月1日 アイスホッケー競技開始。
(令和7年2月1日～5日)
「おかやま国スポ FUN!FUN!FAN!」 in 倉敷を開催。
(令和7年2月1日、2日)
- 2月5日 アイスホッケー競技会表彰式を開催
- 3月4日 (公財)日本スポーツ協会第4回国民スポーツ大会委員会において、大会終了を報告。
- 3月25日 第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(ショートトラック・フィギュア)・アイスホッケー競技会第4回総会を開催。

スポーツくじ



スポーツ振興くじ助成事業